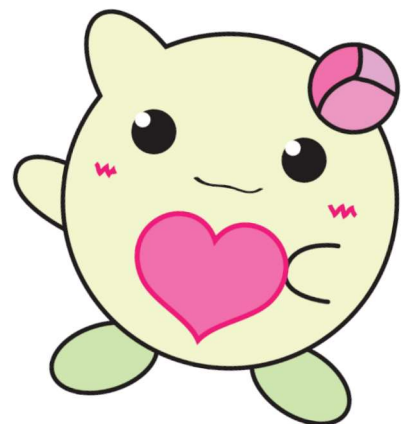


第三次 防府市地域福祉計画 防府市地域福祉活動計画

【別冊】
市民アンケート調査及び
地区座談会報告書



令和3年3月

防 府 市
防府市社会福祉協議会

目 次

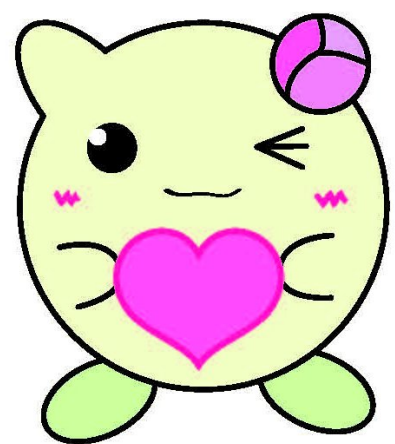
○市民アンケート

- 1 アンケート調査結果・・・・・・・・・・P. 1
- 2 市民アンケート・・・・・・・・・・P. 67

○地区座談会

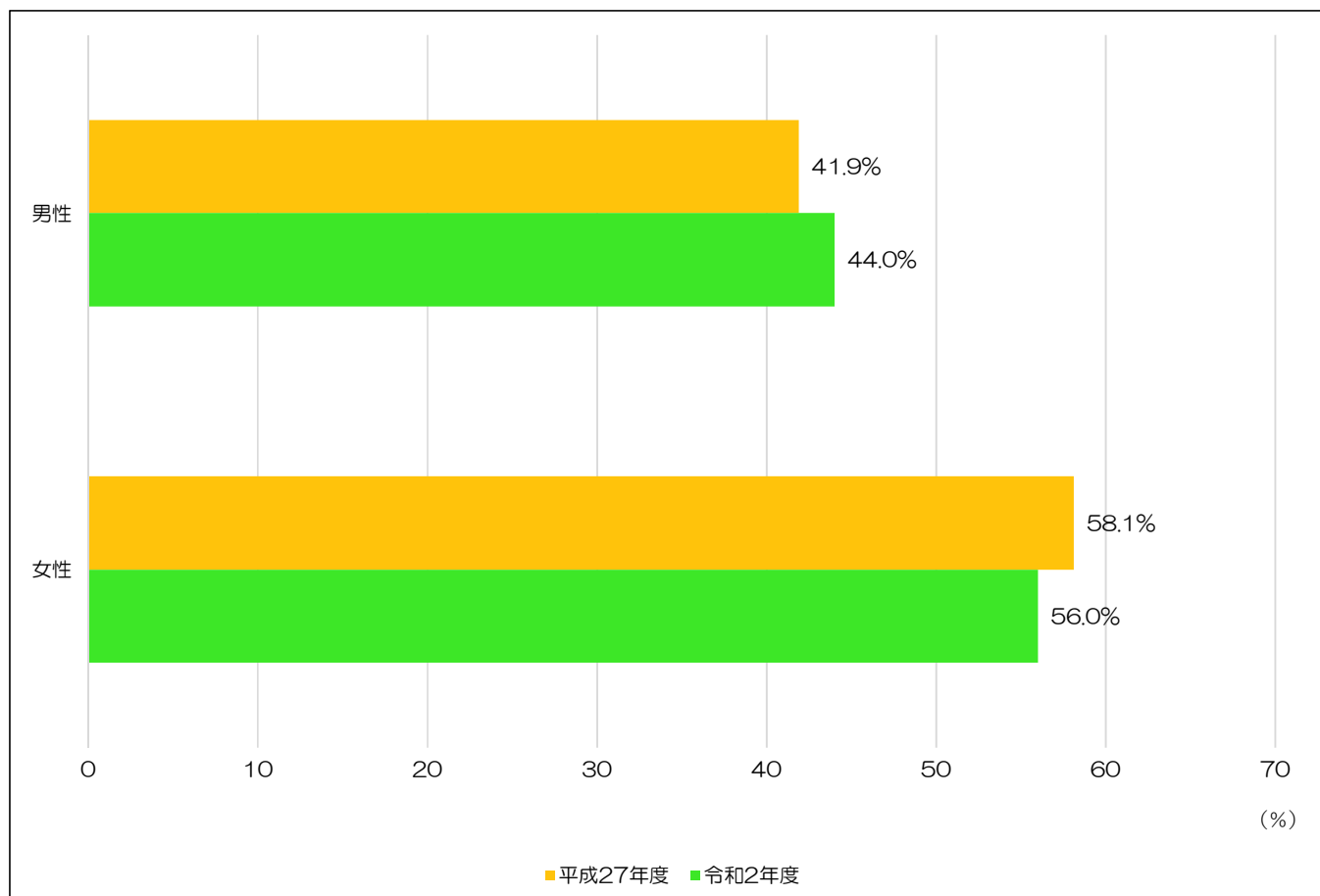
- 1 概要と考察・・・・・・・・・・P. 84
- 2 課題の現状・・・・・・・・・・P. 89
- 3 課題の解決・・・・・・・・・・P. 99

市民アンケート調査結果



問1 性別について

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
男性	524	384	41.9%	44.0%
女性	728	488	58.1%	56.0%
合計	1,252	872	100.0%	100.0%



〔概要〕

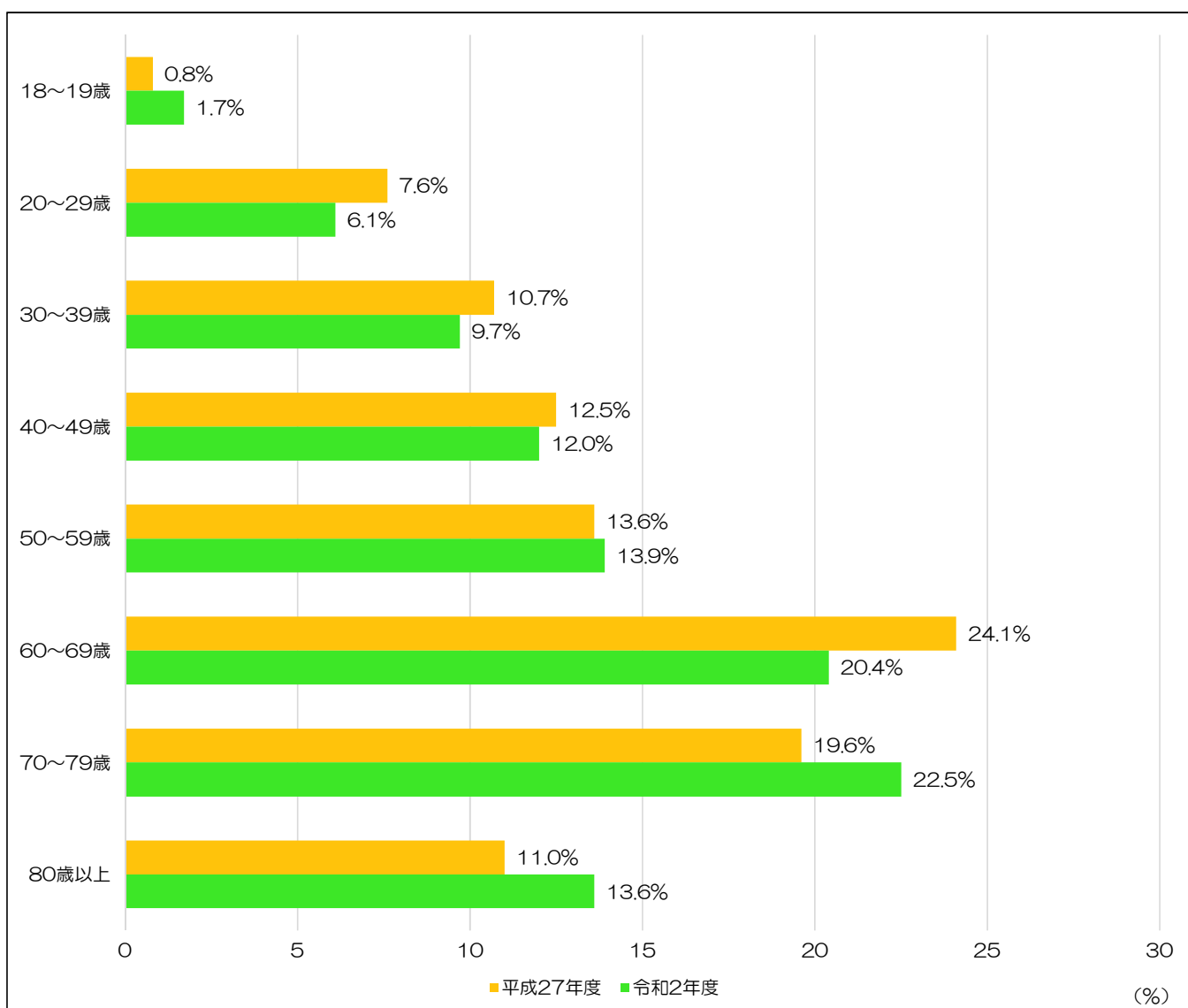
「女性」が56%と、「男性」の44%に比べ12ポイント多くなっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

問2 年齢について

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
18～19歳	10	15	0.8%	1.7%
20～29歳	97	53	7.6%	6.1%
30～39歳	136	85	10.7%	9.7%
40～49歳	158	105	12.5%	12.0%
50～59歳	173	121	13.6%	13.9%
60～69歳	306	178	24.1%	20.4%
70～79歳	249	196	19.6%	22.5%
80歳以上	140	119	11.0%	13.6%
合計	1,269	872	99.9%	99.9%



〔概要〕

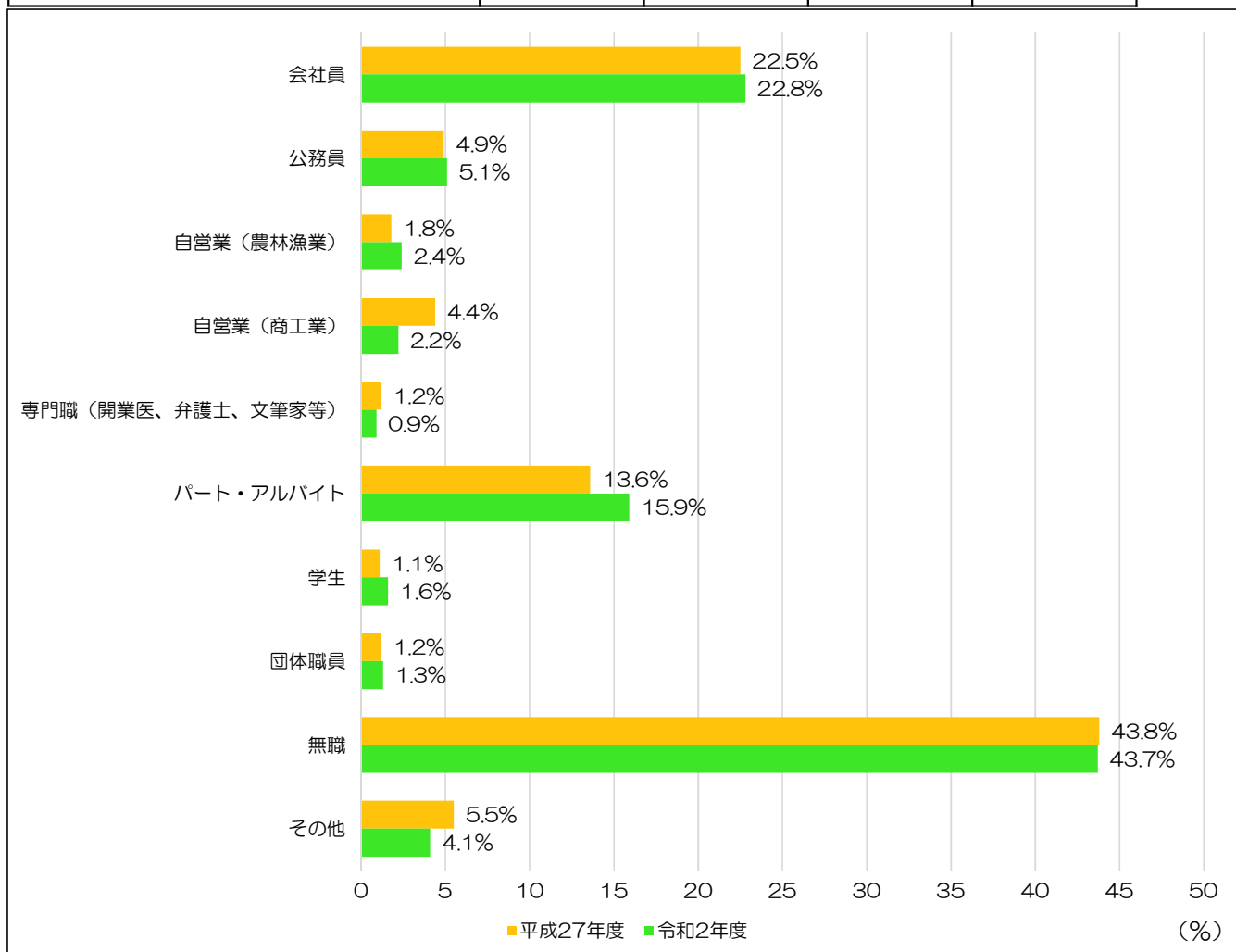
「70代」が22.5%と最も多く、次いで「60代」が20.4%となっている。
60歳以上が全体の56.5%となっている。

〔前回調査との比較〕

「70代以上」が5.5ポイント増加している。

問3 職業について

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
会社員	282	196	22.5%	22.8%
公務員	61	44	4.9%	5.1%
自営業（農林漁業）	23	21	1.8%	2.4%
自営業（商工業）	55	19	4.4%	2.2%
専門職（開業医、弁護士、文筆家等）	15	8	1.2%	0.9%
パート・アルバイト	171	137	13.6%	15.9%
学生	14	14	1.1%	1.6%
団体職員	15	11	1.2%	1.3%
無職	549	376	43.8%	43.7%
その他	69	35	5.5%	4.1%
合計	1,254	861	100.0%	100.0%



〔概要〕

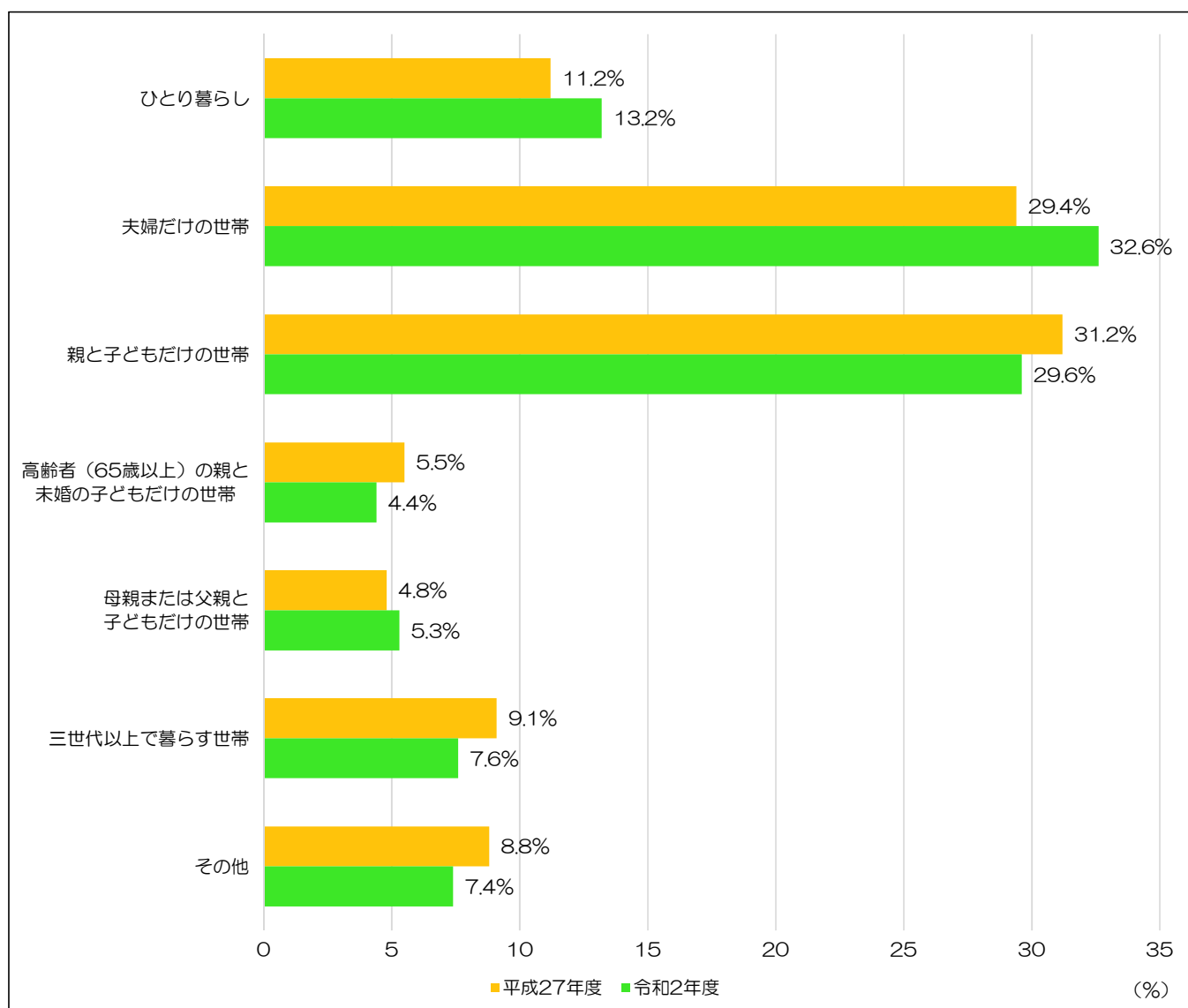
「無職」が43.7%と最も多く、次いで「会社員」が22.8%となっている。

〔前回調査との比較〕

「自営業（商工業）」が2.2ポイント減少しており、「パート・アルバイト」が2.3ポイント増加している。

問4 現在の世帯構成について

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
ひとり暮らし	140	113	11.2%	13.2%
夫婦だけの世帯	368	279	29.4%	32.6%
親と子どもだけの世帯	391	254	31.2%	29.6%
高齢者（65歳以上）の親と未婚の子どもだけの世帯	69	38	5.5%	4.4%
母親または父親と子どもだけの世帯	60	45	4.8%	5.3%
三世代以上で暮らす世帯	114	65	9.1%	7.6%
その他	110	63	8.8%	7.4%
合計	1,252	857	100.0%	100.1%



〔概要〕

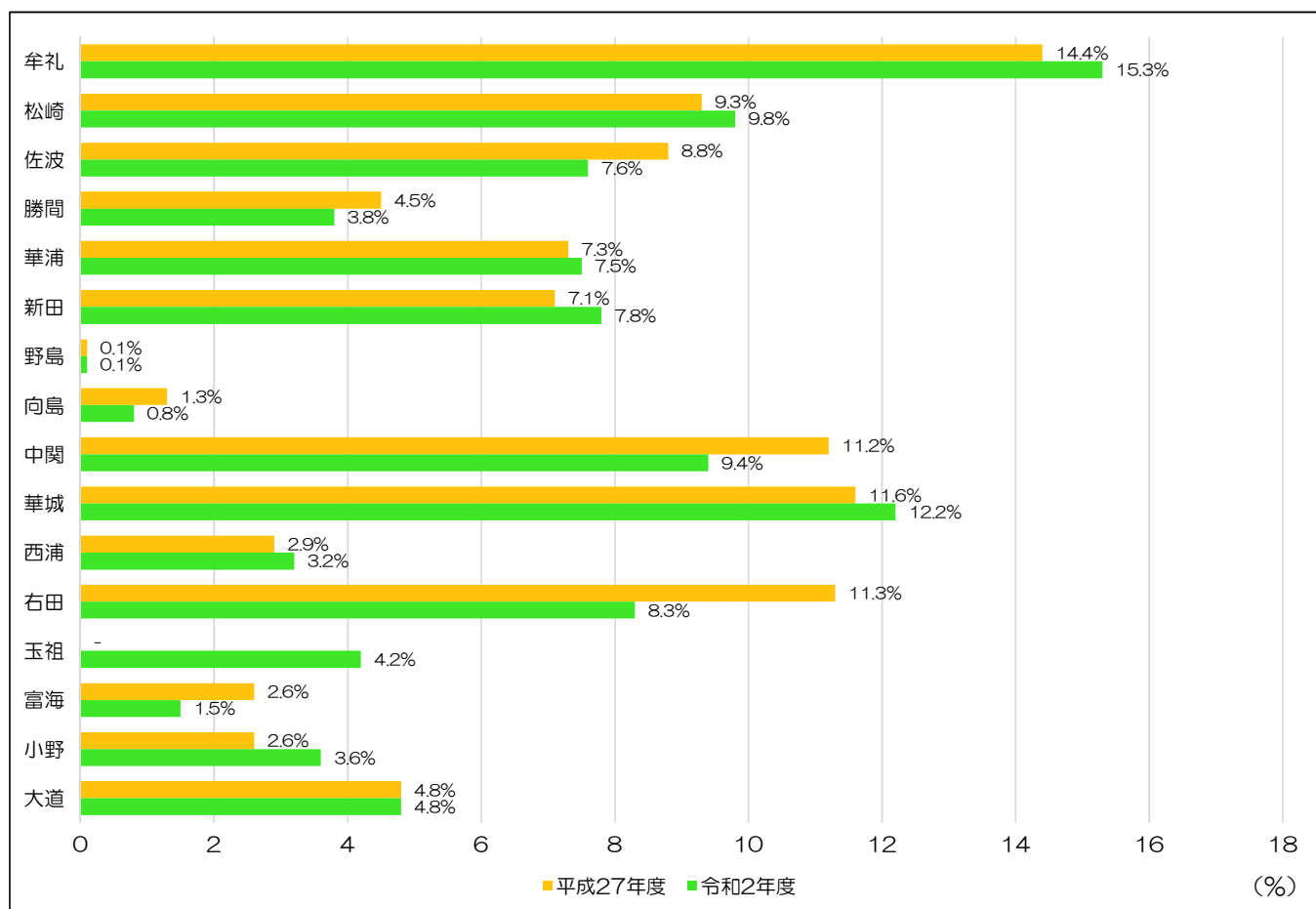
「夫婦だけの世帯」が32.6%と最も多く、次いで「親と子どもだけの世帯」が29.6%となっている。

〔前回調査との比較〕

「ひとり暮らし」、「夫婦だけの世帯」、「母親または父親と子どもだけの世帯」の割合が増加している。

問5 お住いの地区は

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
牟礼	180	132	14.4%	15.3%
松崎	116	85	9.3%	9.8%
佐波	110	66	8.8%	7.6%
勝間	56	33	4.5%	3.8%
華浦	91	65	7.3%	7.5%
新田	89	67	7.1%	7.8%
野島	1	1	0.1%	0.1%
向島	16	7	1.3%	0.8%
中関	140	81	11.2%	9.4%
華城	145	105	11.6%	12.2%
西浦	36	28	2.9%	3.2%
右田	141	72	11.3%	8.3%
玉祖	-	36	-	4.2%
富海	33	13	2.6%	1.5%
小野	33	31	2.6%	3.6%
大道	60	41	4.8%	4.8%
合計	1,247	863	99.8%	99.9%



〔概要〕

「牟礼」が15.3%と最も多く、次いで「華城」が12.2%となっている。

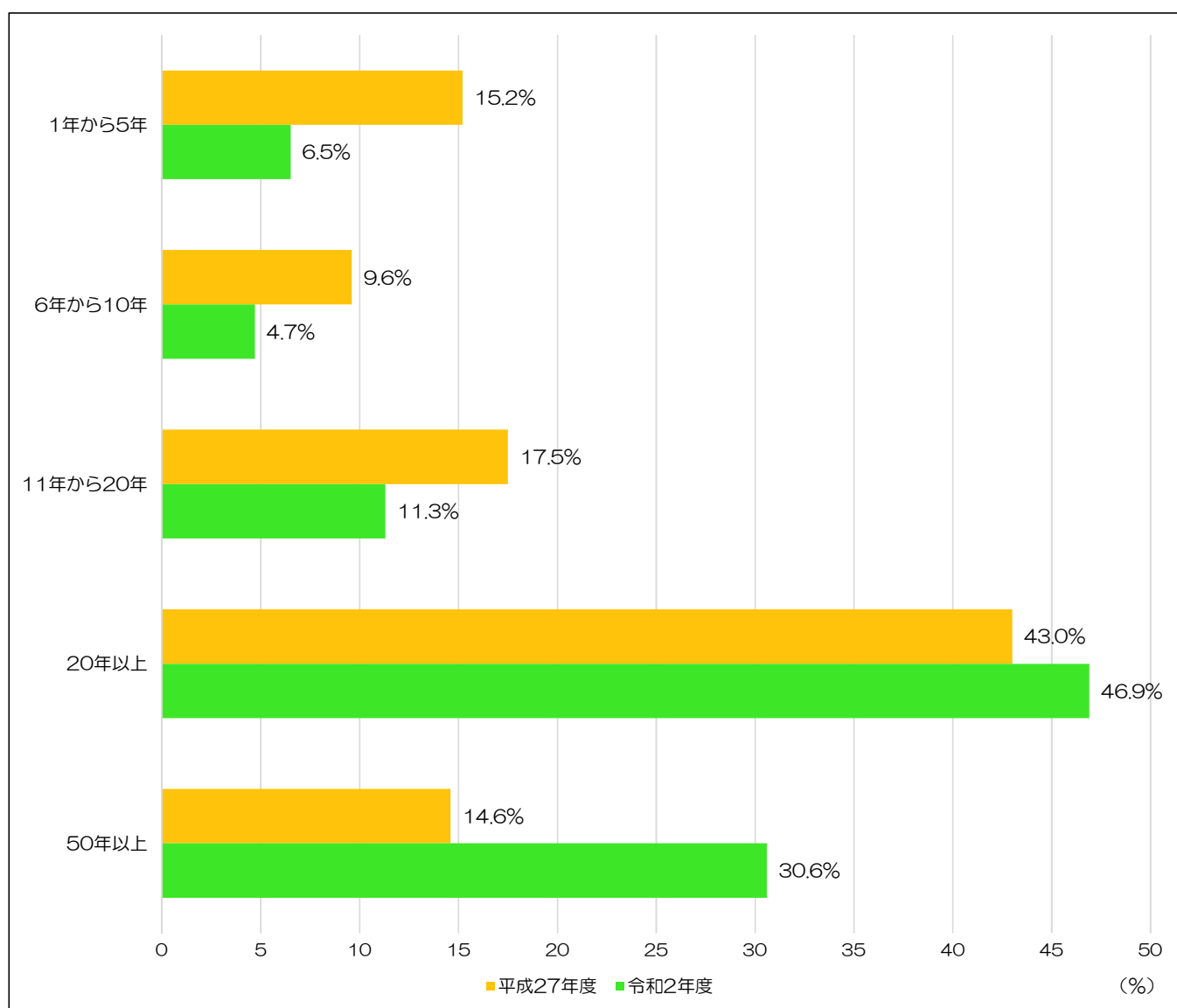
〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

※「玉祖」は、前回調査時「右田」に含む。

問6－（１） 防府市に住んで何年ですか

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
1年から5年	161	52	15.2%	6.5%
6年から10年	102	38	9.6%	4.7%
11年から20年	185	91	17.5%	11.3%
20年以上	455	378	43.0%	46.9%
50年以上	154	247	14.6%	30.6%
合 計	1,057	806	99.9%	100.0%



〔概要〕

「20年以上」が46.9%と最も多く、次いで「50年以上」が30.6%となっている。

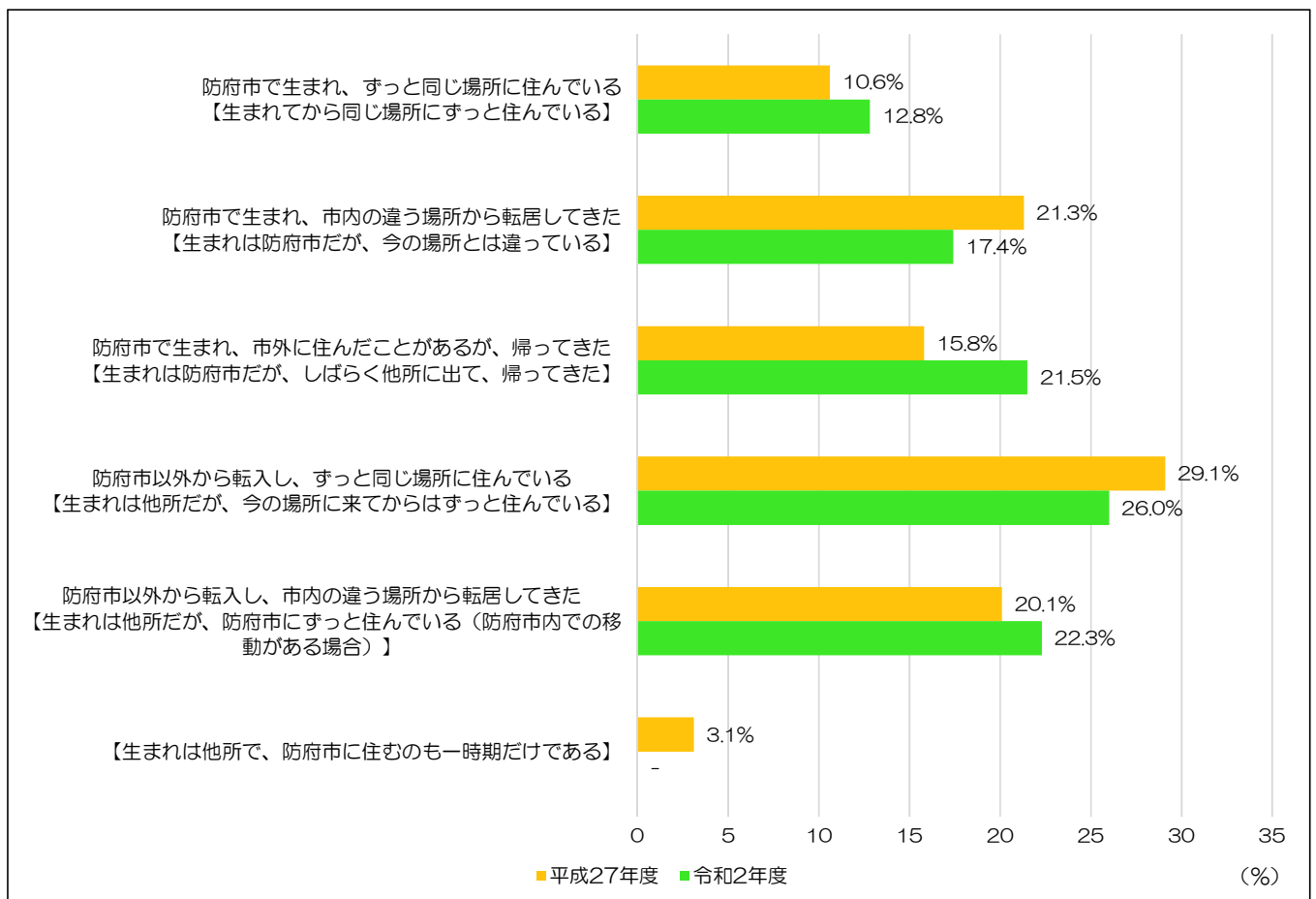
約8割（77.5%）の人が20年以上防府に住まれている。

〔前回調査との比較〕

「11年から20年」が減少し、「20年以上」が増加している。

問6－（２） 下記についてお答えください。（あてはまるものに1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
防府市で生まれ、ずっと同じ場所に住んでいる 【生まれてから同じ場所にずっと住んでいる】	129	109	10.6%	12.8%
防府市で生まれ、市内の違う場所から転居してきた 【生まれは防府市だが、今の場所とは違っている】	260	148	21.3%	17.4%
防府市で生まれ、市外に住んだことがあるが、帰ってきた 【生まれは防府市だが、しばらく他所に出て、帰ってきた】	193	183	15.8%	21.5%
防府市以外から転入し、ずっと同じ場所に住んでいる 【生まれは他所だが、今の場所に来てからはずっと住んでいる】	355	221	29.1%	26.0%
防府市以外から転入し、市内の違う場所から転居してきた 【生まれは他所だが、防府市にずっと住んでいる（防府市内での移動がある場合）】	245	190	20.1%	22.3%
【生まれは他所で、防府市に住むのも一時期だけである】	38	-	3.1%	-
合 計	1,220	851	100.0%	100.0%



〔概要〕

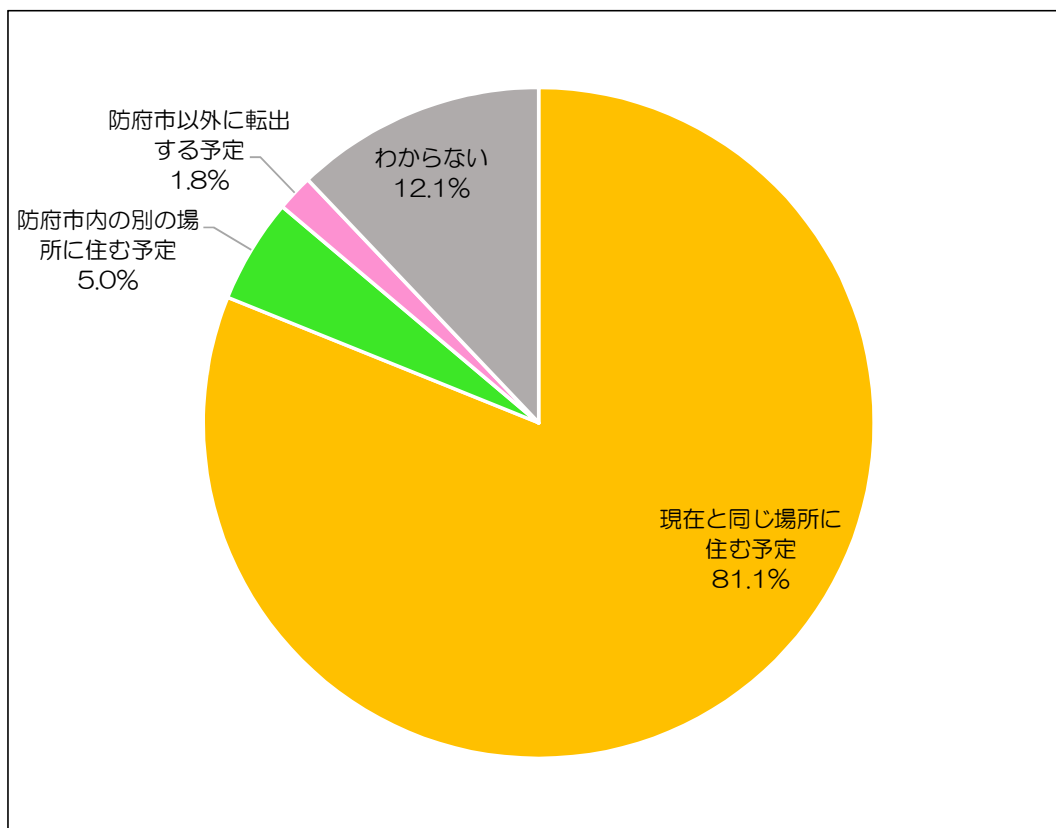
「防府市以外から転入し、ずっと同じ場所に住んでいる」が26%と最も多く、次いで「防府市以外から転入し、市内の違う場所から転居してきた」が22.3%となっている。

〔前回調査との比較〕

「防府市で生まれ、市外に住んだことがあるが、帰ってきた。」が5.7ポイント増加している。

問6－（3） 今後の住まいの予定についてお答えください。（あてはまるものに1つに○）

項 目	回答数	回答割合
現在と同じ場所に住む予定	691	81.1%
防府市内の別の場所に住む予定	43	5.0%
防府市以外に転出する予定	15	1.8%
わからない	103	12.1%
合計	852	100.0%

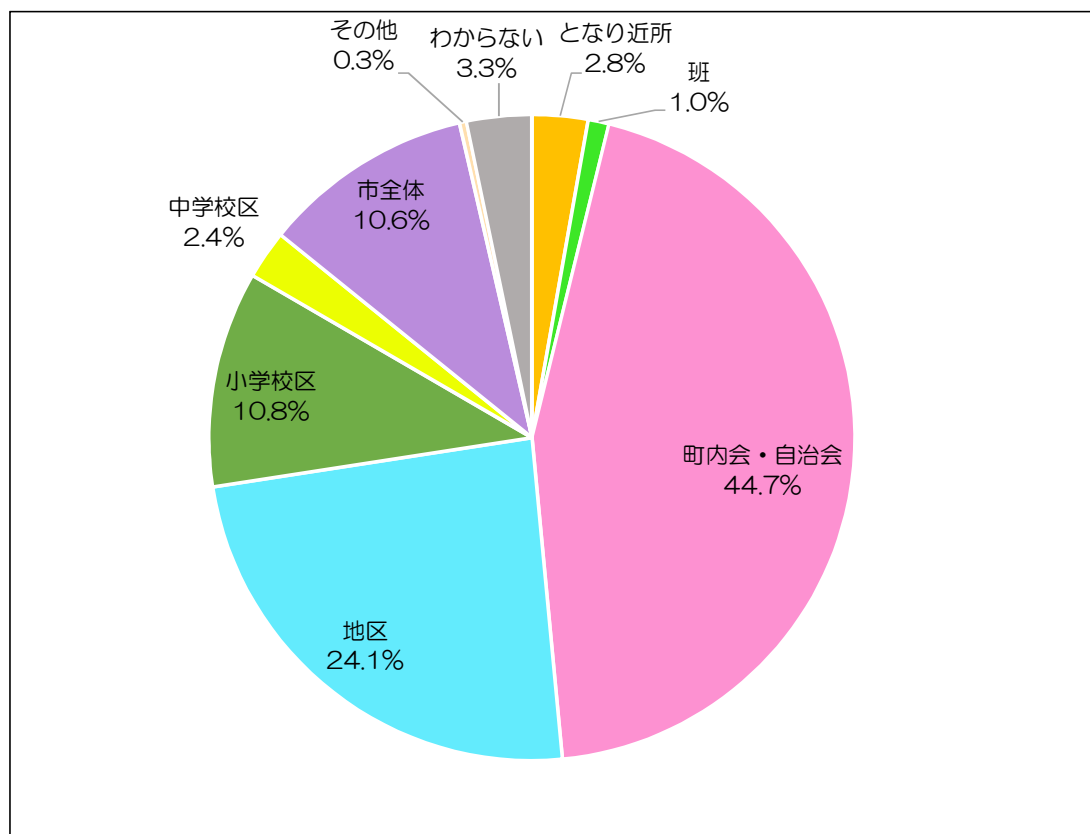


〔概要〕

「現在と同じ場所に住む予定」が81.1%と最も多い。

問7 「地域」とはどういった範囲のことだと思いますか。（あてはまるものに1つに○）

項 目	回答数	回答割合
となり近所	24	2.8%
班	9	1.0%
町内会・自治会	384	44.7%
地区	207	24.1%
小学校区	93	10.8%
中学校区	21	2.4%
市全体	91	10.6%
その他	3	0.3%
わからない	28	3.3%
合計	860	100.0%

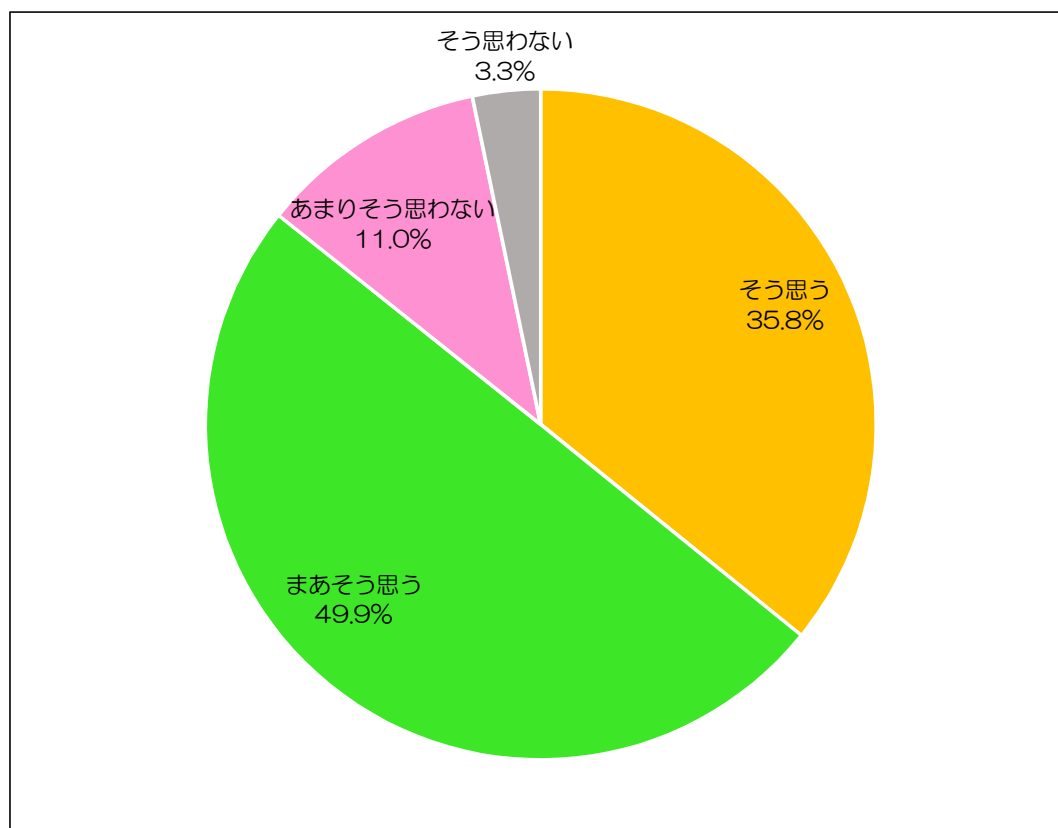


〔概要〕

「町内会・自治会」が44.7%と最も多く、次いで「地区」が24.1%となっている。

問8－(1) 住んでいる地域が好き。(あてはまるもの各1つに○)

項 目	回答数	回答割合
そう思う	306	35.8%
まあそう思う	426	49.9%
あまりそう思わない	94	11.0%
そう思わない	28	3.3%
合計	854	100.0%



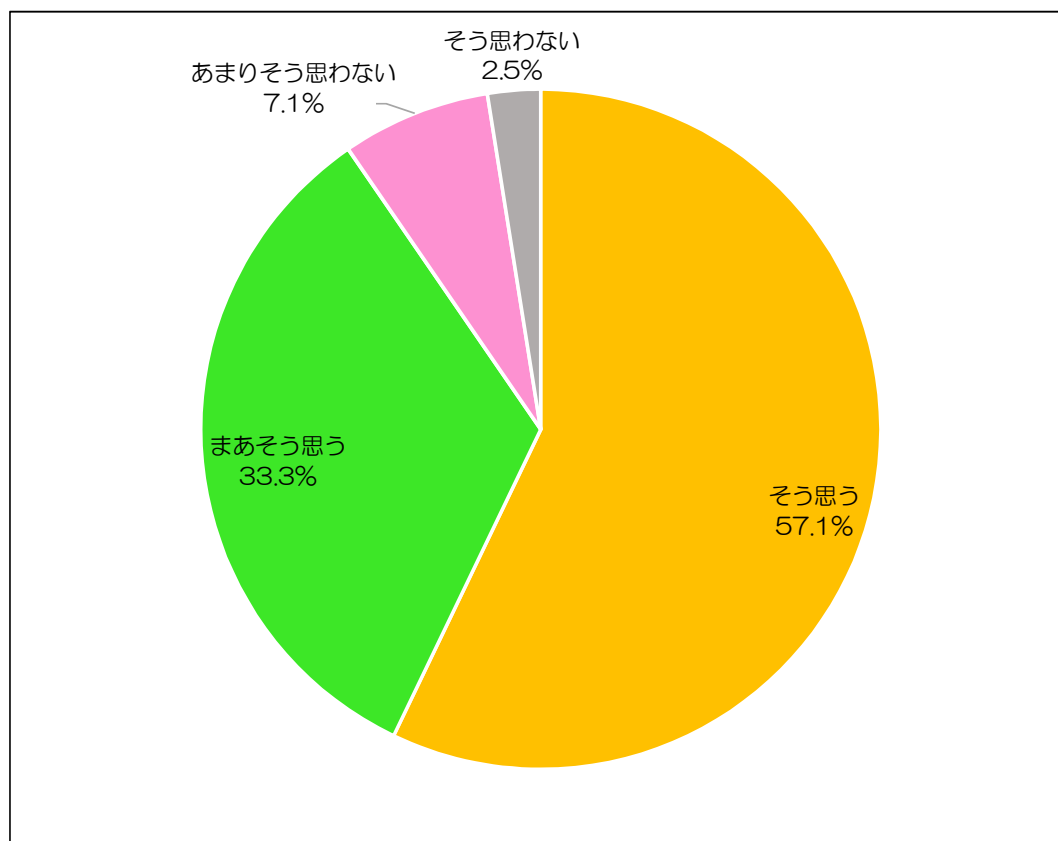
〔概要〕

「まあそう思う」が49.9%と約半数を占めており、次に「そう思う」が35.8%となっている。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は約9割（85.7%）となっている。

問8－（2） 今後も防府市に住み続けたい。（あてはまるもの各1つに○）

項 目	回答数	回答割合
そう思う	477	57.1%
まあそう思う	278	33.3%
あまりそう思わない	59	7.1%
そう思わない	21	2.5%
合計	835	100.0%



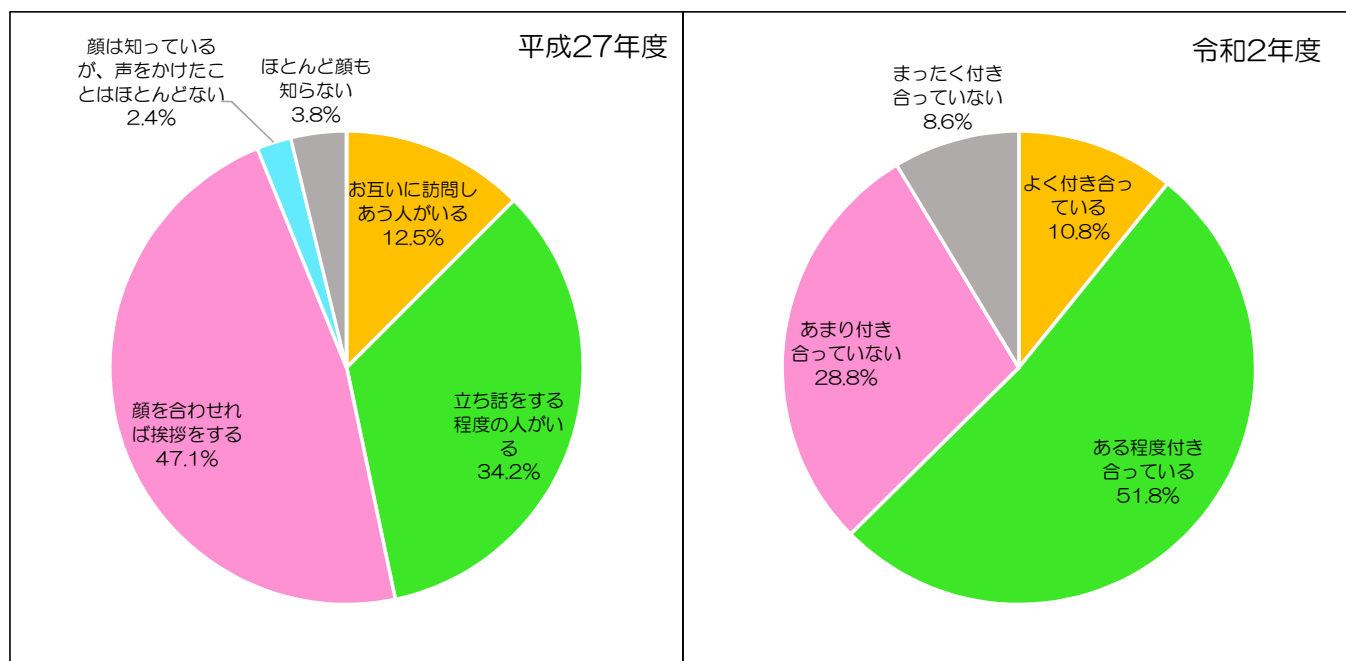
〔概要〕

「そう思う」が57.1%と過半数を占めており、次に「まあそう思う」が33.3%となっている。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は約9割（90.4%）となっている。

問9 地域での付き合いは、どの程度していますか。（あてはまるもの1つに○）

平成27年度			令和2年度		
項 目	回答数	回答割合	項 目	回答数	回答割合
お互いに訪問しあう人がいる	138	12.5%	よく付き合っている	94	10.8%
立ち話をする程度の人がいる	378	34.2%	ある程度付き合っている	450	51.8%
顔を合わせれば挨拶をする	521	47.1%	あまり付き合っていない	250	28.8%
顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない	26	2.4%	まったく付き合っていない	75	8.6%
ほとんど顔も知らない	42	3.8%	合計	869	100.0%
合計	1,105	100.0%			



〔概要〕

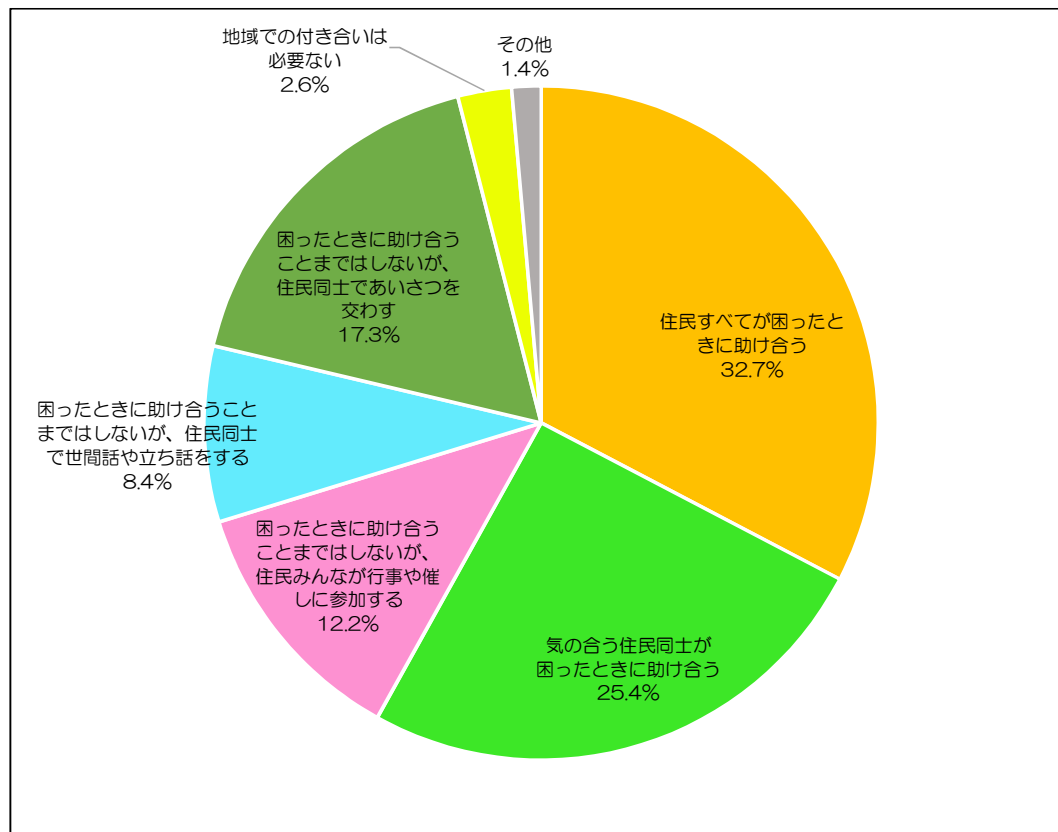
「ある程度付き合っている」が51.8%と過半数を占めており、「あまり付き合っていない」が28.8%となっている。

「よく付き合っている」（10.8%）と「ある程度付き合っている」（51.8%）を合わせた割合は、約6割（62.6%）となっている。

※前回調査は「関係性」、今回調査は「程度の度合い」に回答項目を変更

問１０ 地域での付き合いは、どの程度が望ましいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
住民すべてが困ったときに助け合う	279	32.7%
気の合う住民同士が困ったときに助け合う	217	25.4%
困ったときに助け合うことまではしないが、住民みんなが行事や催しに参加する	104	12.2%
困ったときに助け合うことまではしないが、住民同士で世間話や立ち話をする	72	8.4%
困ったときに助け合うことまではしないが、住民同士であいさつを交わす	148	17.3%
地域での付き合いは必要ない	22	2.6%
その他	12	1.4%
合計	854	100.0%

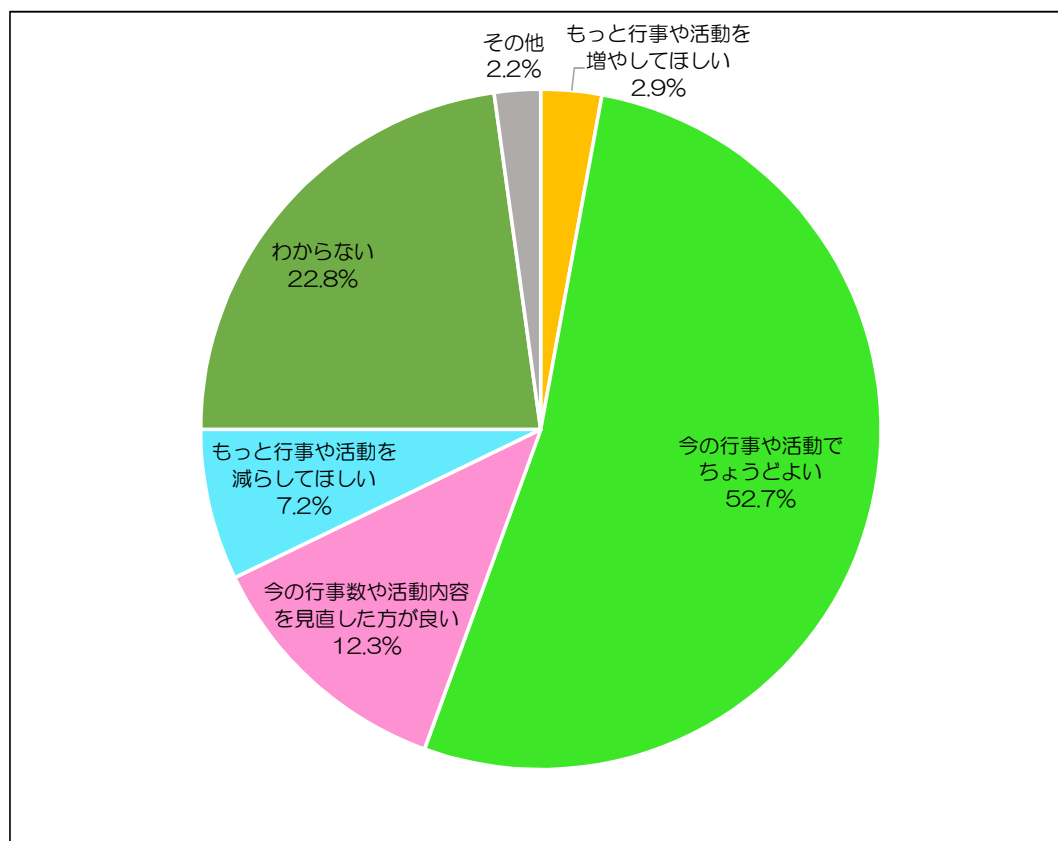


〔概要〕

「住民すべてが困ったときに助け合う」が32.7%と最も多く、次に「気の合う住民同士が困ったときに助け合う」が25.4%となっている。

問１１ 地域の行事や活動についてどのように感じていますか。（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
もっと行事や活動を増やしてほしい	25	2.9%
今の行事や活動でちょうどよい	455	52.7%
今の行事数や活動内容を見直した方がよい	106	12.3%
もっと行事や活動を減らしてほしい	62	7.2%
わからない	197	22.8%
その他	19	2.2%
合計	864	100.1%

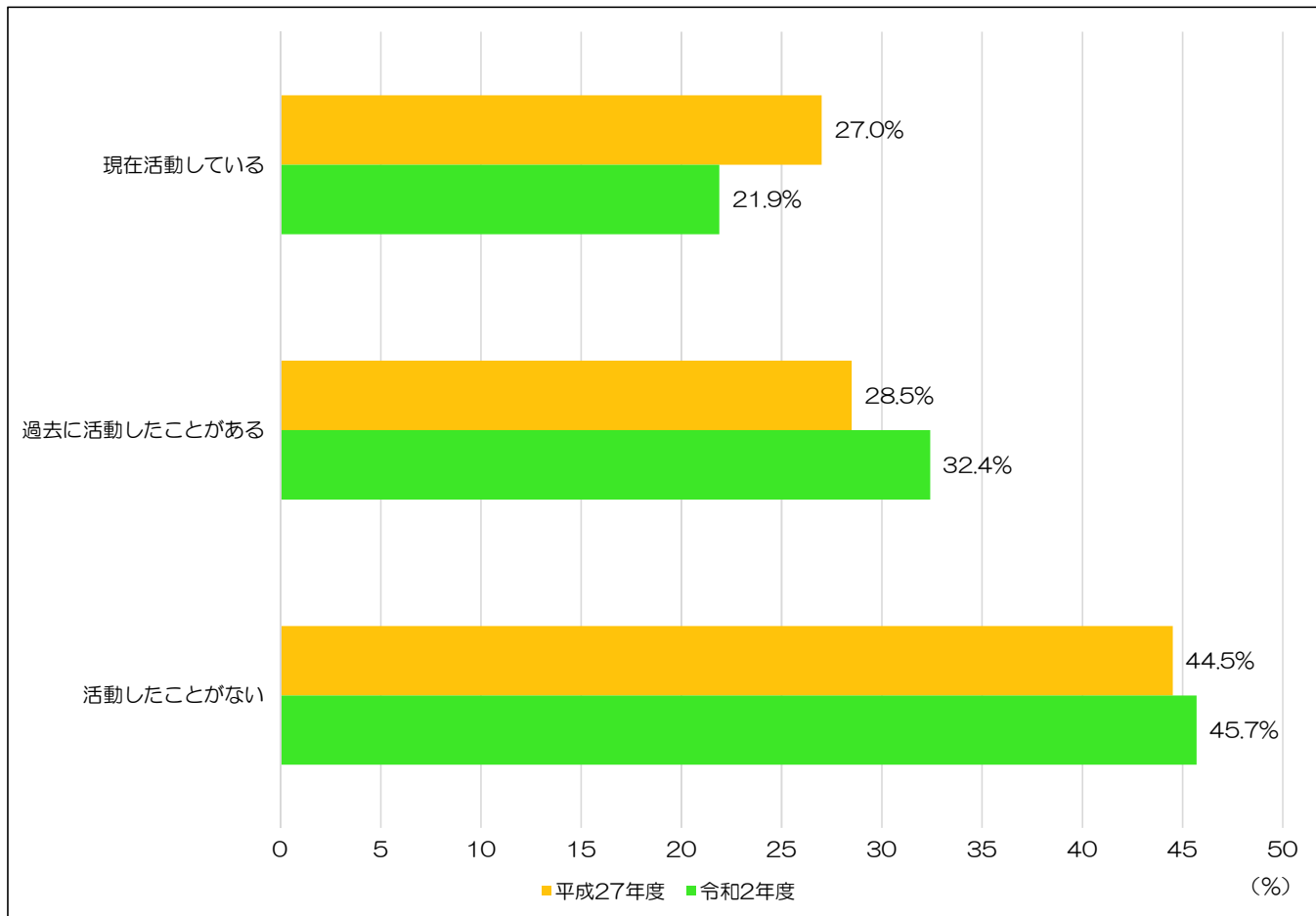


〔概要〕

「今の行事や活動でちょうどよい」が52.7%と過半数を占めており、「もっと行事や行動を増やしてほしい」は2.9%と最も少ない。

問12 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
現在活動している	325	138	27.0%	21.9%
過去に活動したことがある	343	204	28.5%	32.4%
活動したことがない	535	288	44.5%	45.7%
合計	1,203	630	100.0%	100.0%



〔概要〕

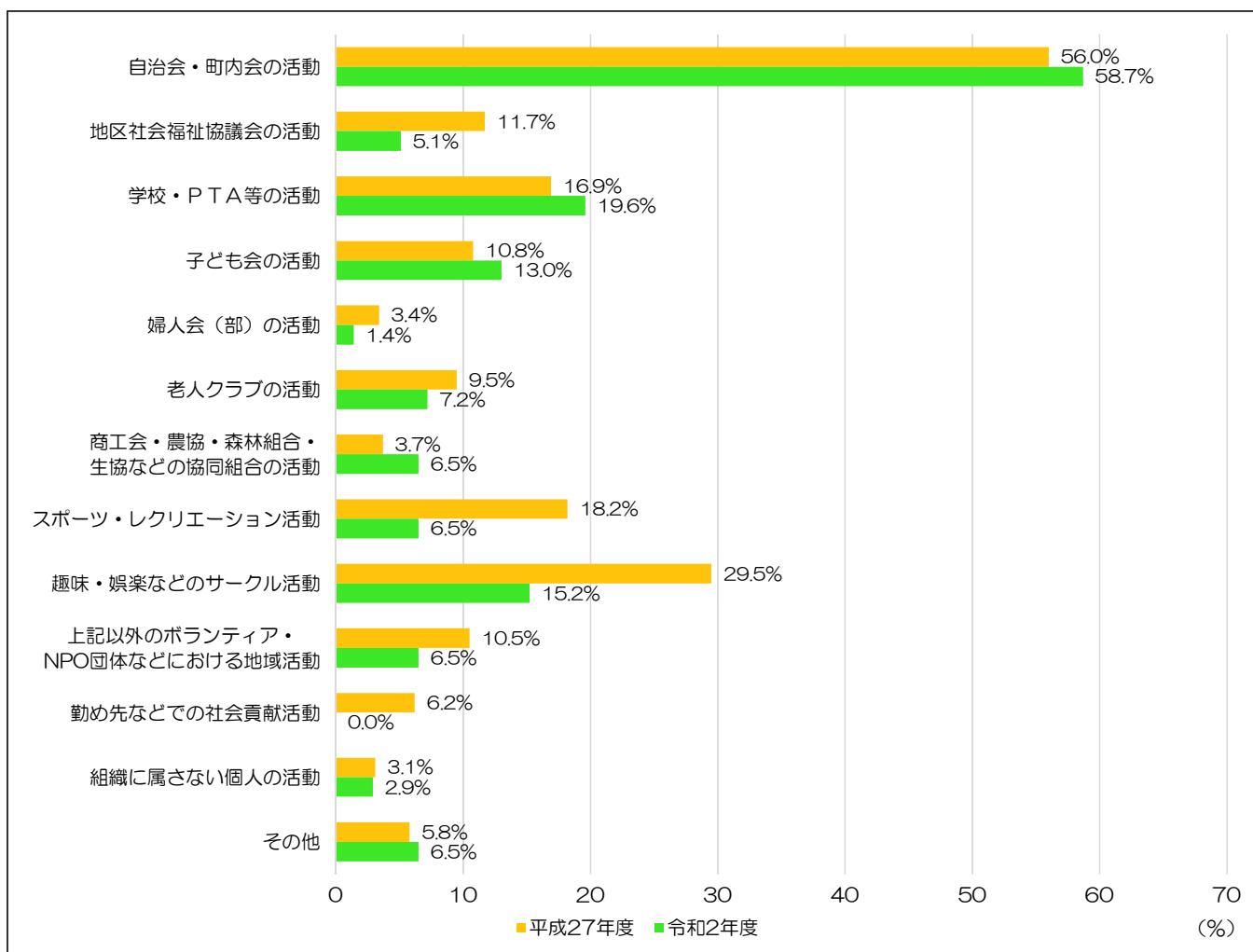
「活動したことがない」が約半数（45.7%）を占めており、「現在活動している」が21.9%となっている。

〔前回調査との比較〕

「現在活動している」が5.1ポイント減少し、「過去に活動したことがある」が（3.9ポイント増）と「活動したことがない」（1.2ポイント増）が増加している。

問12ー(1) 地域でどのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
自治会・町内会の活動	182	81	56.0%	58.7%
地区社会福祉協議会の活動	38	7	11.7%	5.1%
学校・PTA等の活動	55	27	16.9%	19.6%
子ども会の活動	35	18	10.8%	13.0%
婦人会(部)の活動	11	2	3.4%	1.4%
老人クラブの活動	31	10	9.5%	7.2%
商工会・農協・森林組合・ 生協などの協同組合の活動	12	9	3.7%	6.5%
スポーツ・レクリエーション活動	59	9	18.2%	6.5%
趣味・娯楽などのサークル活動	96	21	29.5%	15.2%
上記以外のボランティア・ NPO団体などにおける地域活動	34	9	10.5%	6.5%
勤め先などでの社会貢献活動	20	-	6.2%	-
組織に属さない個人の活動	10	4	3.1%	2.9%
その他	19	9	5.8%	6.5%
合計	602	206	N=325	N=138



〔概要〕

「自治会・町内会の活動」が58.7%と過半数を占めており、次に「学校・PTA等の活動」が19.6%となっている。

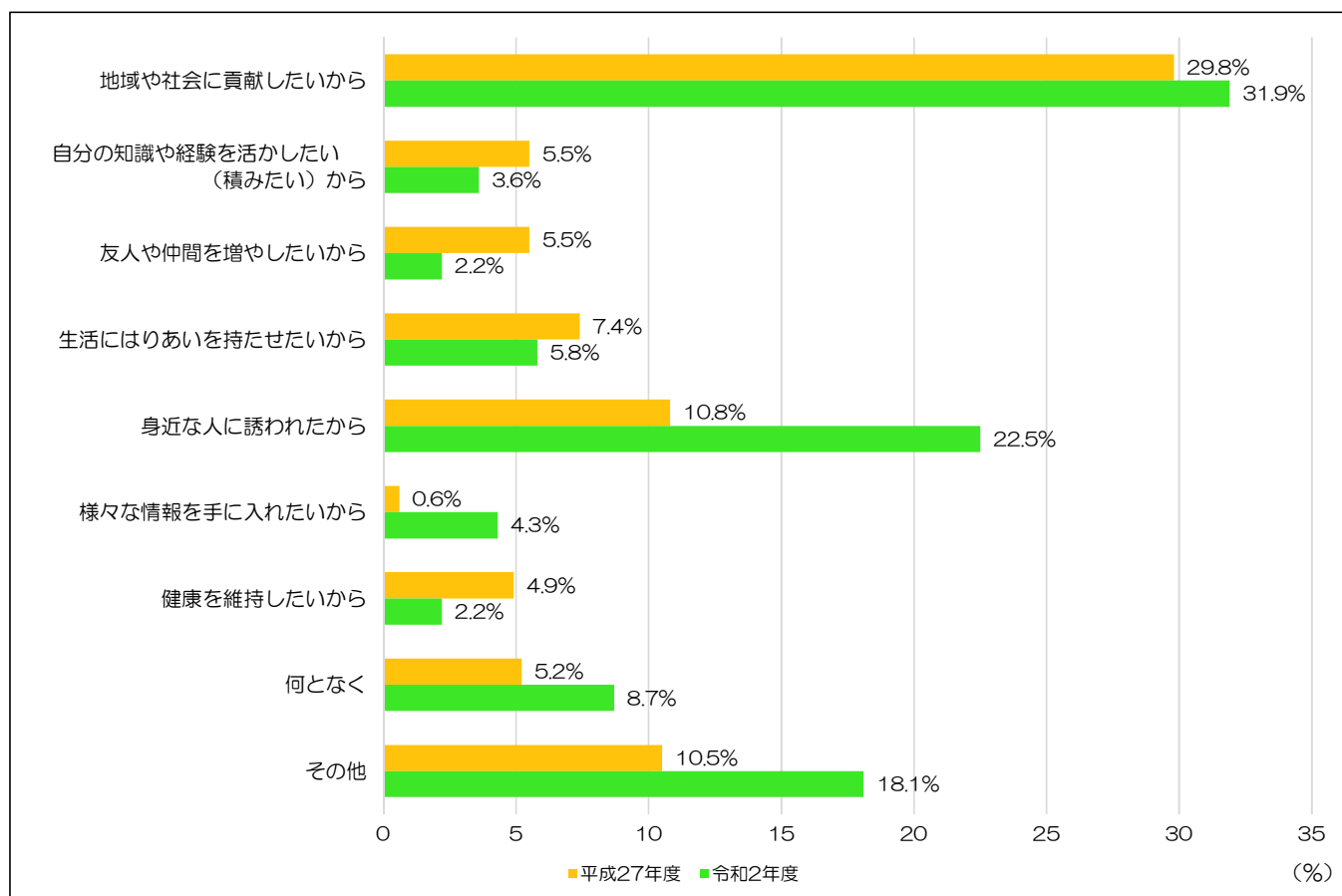
〔前回調査との比較〕

「趣味・娯楽などのサークル活動」(14.3ポイント減)、「スポーツレクリエーション活動」(11.7ポイント減)が大きく減少し、「自治会・町内会の活動」(2.7ポイント増)、「学校・PTA等の活動」(2.7ポイント増)などが増加している。

※「勤め先などでの社会貢献活動」は今回調査から項目除外

問12ー(2) 活動をされている理由として、どのようなものがありますか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
地域や社会に貢献したいから	97	44	29.8%	31.9%
自分の知識や経験を活かしたい (積みたい) から	18	5	5.5%	3.6%
友人や仲間を増やしたいから	18	3	5.5%	2.2%
生活にはりあいを持たせたいから	24	8	7.4%	5.8%
身近な人に誘われたから	35	31	10.8%	22.5%
様々な情報を手に入れたいから	2	6	0.6%	4.3%
健康を維持したいから	16	3	4.9%	2.2%
何となく	17	12	5.2%	8.7%
その他	34	25	10.5%	18.1%
合 計	261	137	N=325	N=138



〔概要〕

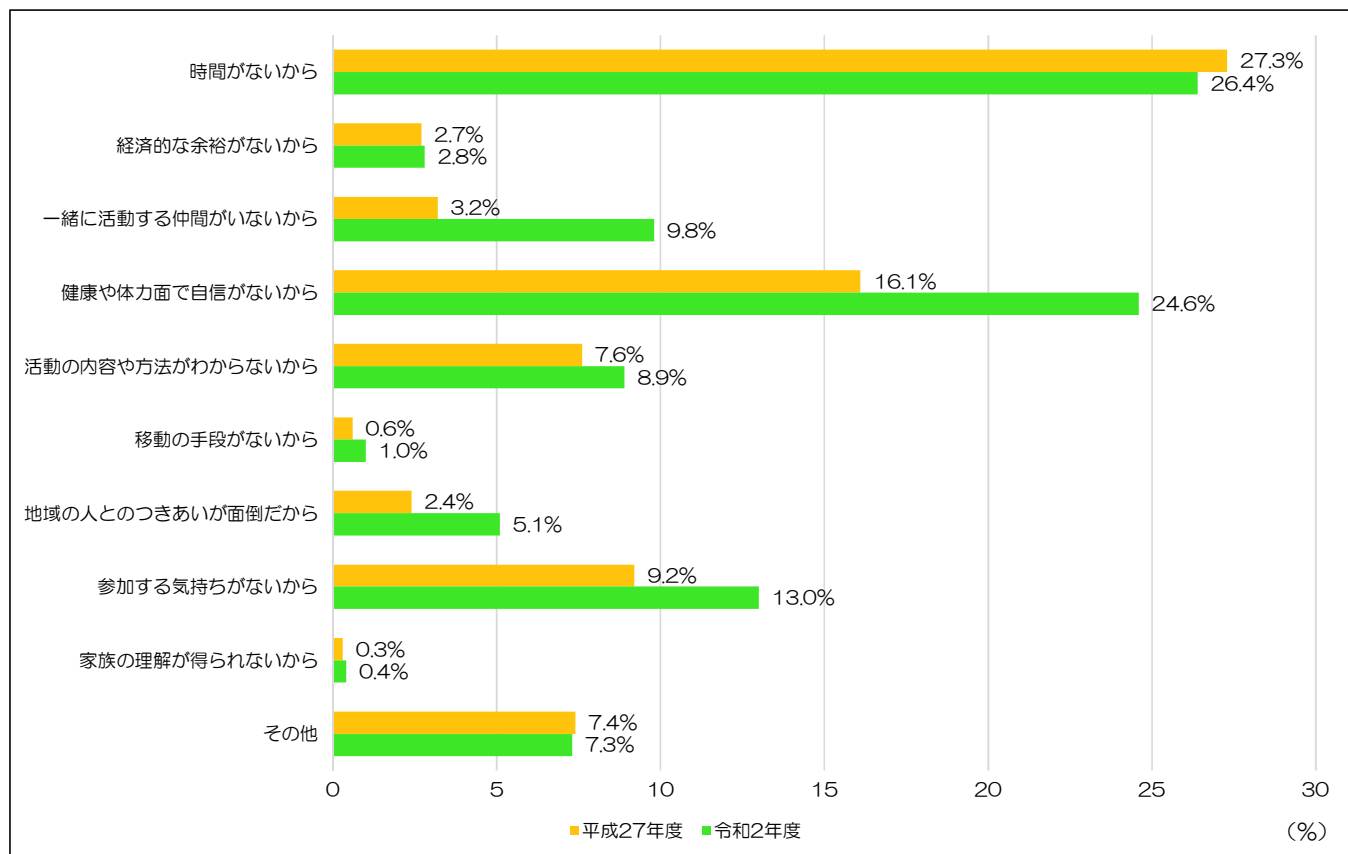
「地域や社会に貢献したいから」が31.9%と最も多く、次に「身近な人に誘われたから」が22.5%となっている。

〔前回調査との比較〕

「身近な人に誘われた」(11.7ポイント増)、「地域や社会に貢献したい」(2.1ポイント増)などは増加しているが、「友人や仲間を増やしたい」(3.3ポイント減)、「健康を維持したいから」(2.7ポイント減)、「自分の知識や経験を活かしたい」(1.9ポイント減)などは減少している。

問12－（3） 現在、地域で活動されていない理由として、どのようなものがありますか
（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
時間がないから	240	130	27.3%	26.4%
経済的な余裕がないから	24	14	2.7%	2.8%
一緒に活動する仲間がいないから	28	48	3.2%	9.8%
健康や体力面で自信がないから	141	121	16.1%	24.6%
活動の内容や方法がわからないから	67	44	7.6%	8.9%
移動の手段がないから	5	5	0.6%	1.0%
地域の人とのつきあいが面倒だから	21	25	2.4%	5.1%
参加する気持ちがないから	81	64	9.2%	13.0%
家族の理解が得られないから	3	2	0.3%	0.4%
その他	65	36	7.4%	7.3%
合 計	675	489	N=878	N=492



〔概要〕

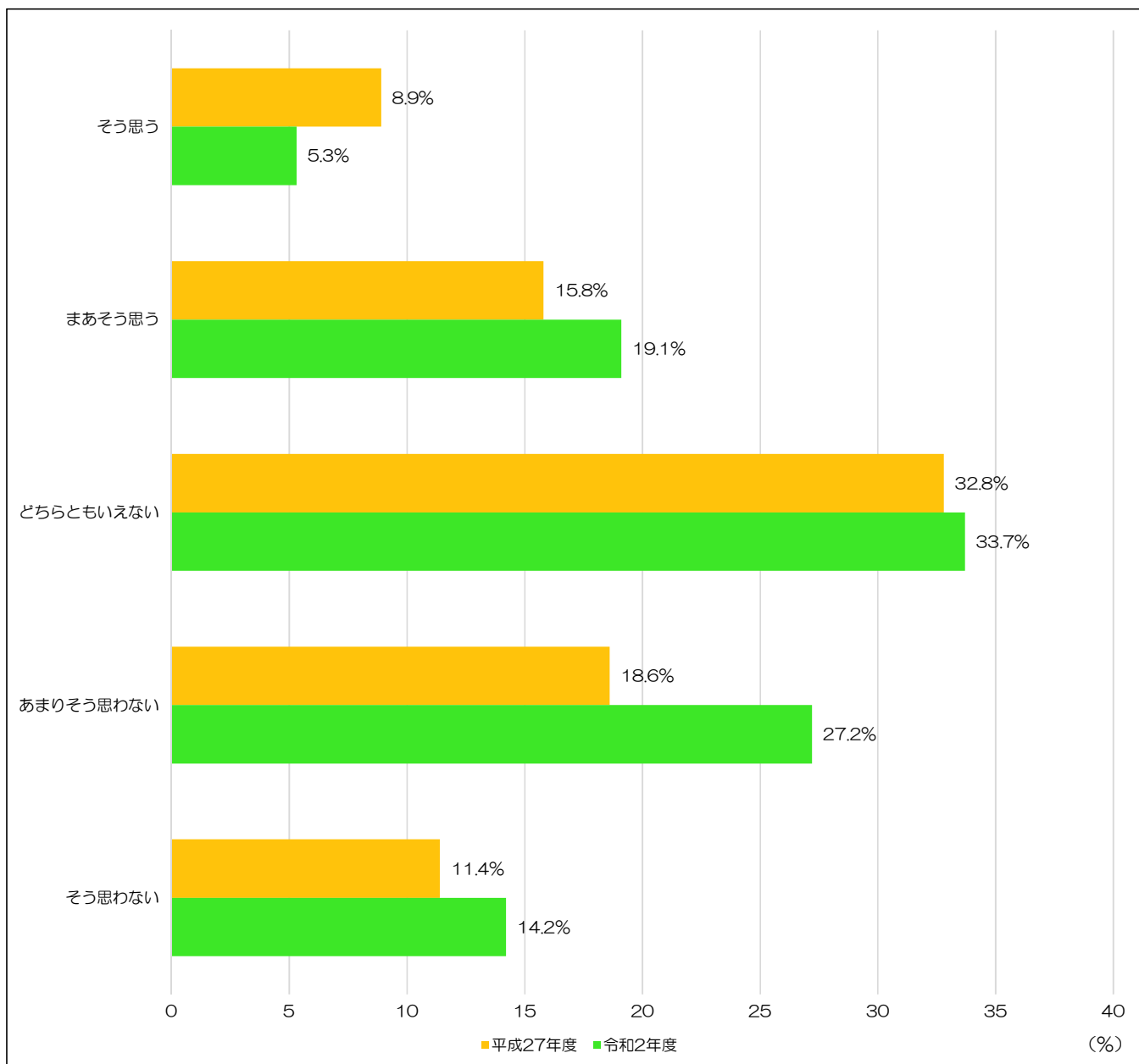
「時間がないから」が26.4%と最も多く、次に「健康や体力面で自信がないから」が24.6%となっている。

〔前回調査との比較〕

「健康や体力面で自信がない」（8.5ポイント増）、「一緒に活動する仲間がいない」（6.6ポイント増）、「参加する気持ちがない」（3.8ポイント増）が大きく増加している。

問12ー(4) 今後地域の活動に参加しようと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
そう思う	78	26	8.9%	5.3%
まあそう思う	139	94	15.8%	19.1%
どちらともいえない	288	166	32.8%	33.7%
あまりそう思わない	163	134	18.6%	27.2%
そう思わない	100	70	11.4%	14.2%
合 計	768	490	N=878	N=492



〔概要〕

「どちらともいえない」が33.7%と最も多く、次に「あまりそう思わない」が27.2%となっている。

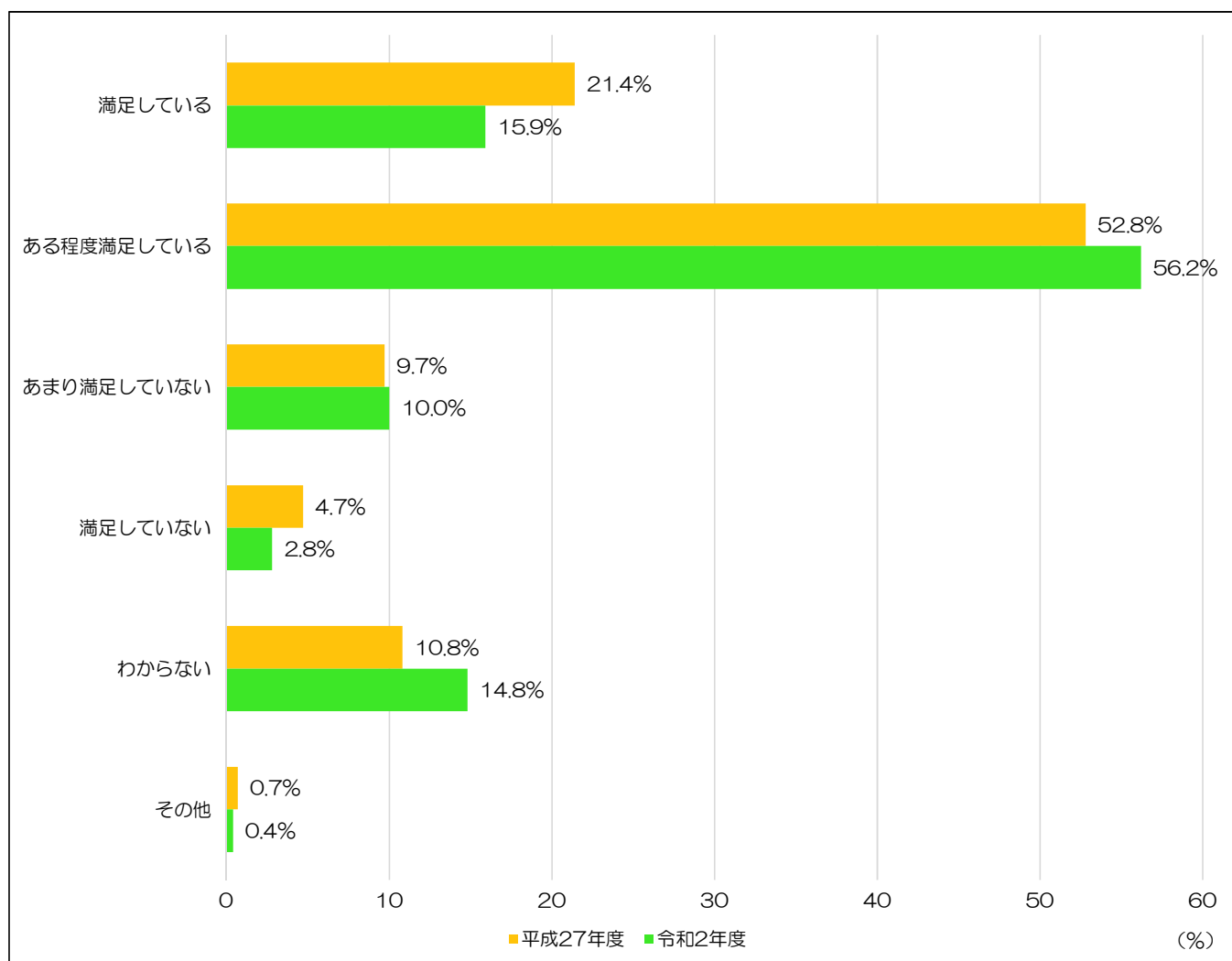
「あまりそう思わない」(27.2%)と「そう思わない」(14.2%)を合わせた割合は、約4割(41.4%)となっている。

〔前回調査との比較〕

「あまりそう思わない」(8.6ポイント増)と「まあそう思う」(3.3ポイント増)などが増加し、「そう思う」が3.6ポイント減少している。

問13 今住んでいる地域社会に満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
満足している	261	136	21.4%	15.9%
ある程度満足している	644	480	52.8%	56.2%
あまり満足していない	118	85	9.7%	10.0%
満足していない	57	24	4.7%	2.8%
わからない	132	126	10.8%	14.8%
その他	8	3	0.7%	0.4%
合計	1,220	854	100.1%	100.1%



〔概要〕

「ある程度満足している」が56.2%と過半数を占めており、次に「満足している」が15.9%となっている。

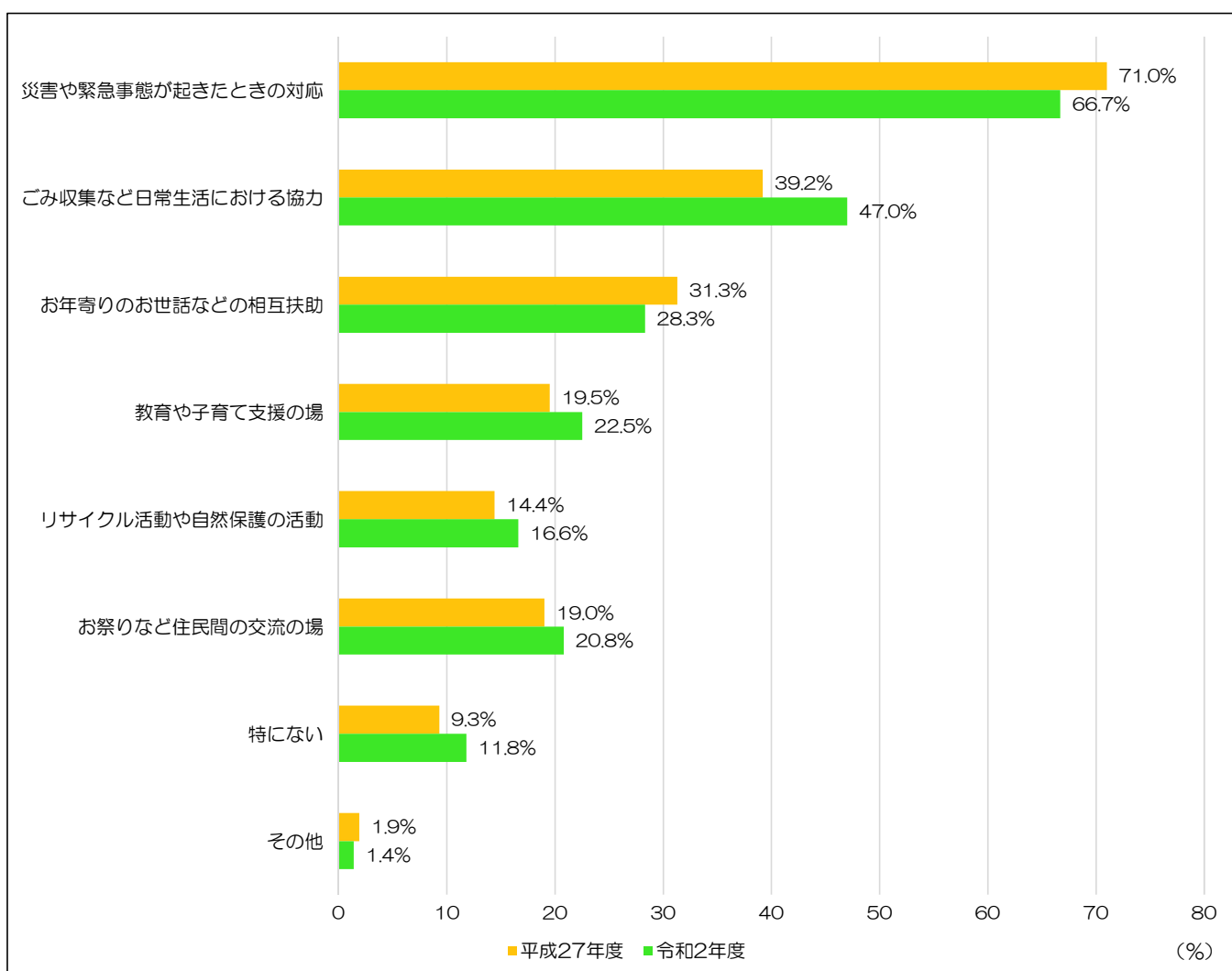
おおむね満足している人は約7割（72.1%）となっている。

〔前回調査との比較〕

「満足している」（5.5ポイント減）、「満足していない」（1.9ポイント減）は減少しているが、「ある程度満足している」は3.4ポイント増加している。

問14 地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
災害や緊急事態が起きたときの対応	903	582	71.0%	66.7%
ごみ収集など日常生活における協力	498	410	39.2%	47.0%
お年寄りのお世話などの相互扶助	398	247	31.3%	28.3%
教育や子育て支援の場	248	196	19.5%	22.5%
リサイクル活動や自然保護の活動	183	145	14.4%	16.6%
お祭りなど住民間の交流の場	241	181	19.0%	20.8%
特にない	118	103	9.3%	11.8%
その他	24	12	1.9%	1.4%
合 計	2,613	1,876	N=1,271	N=872



〔概要〕

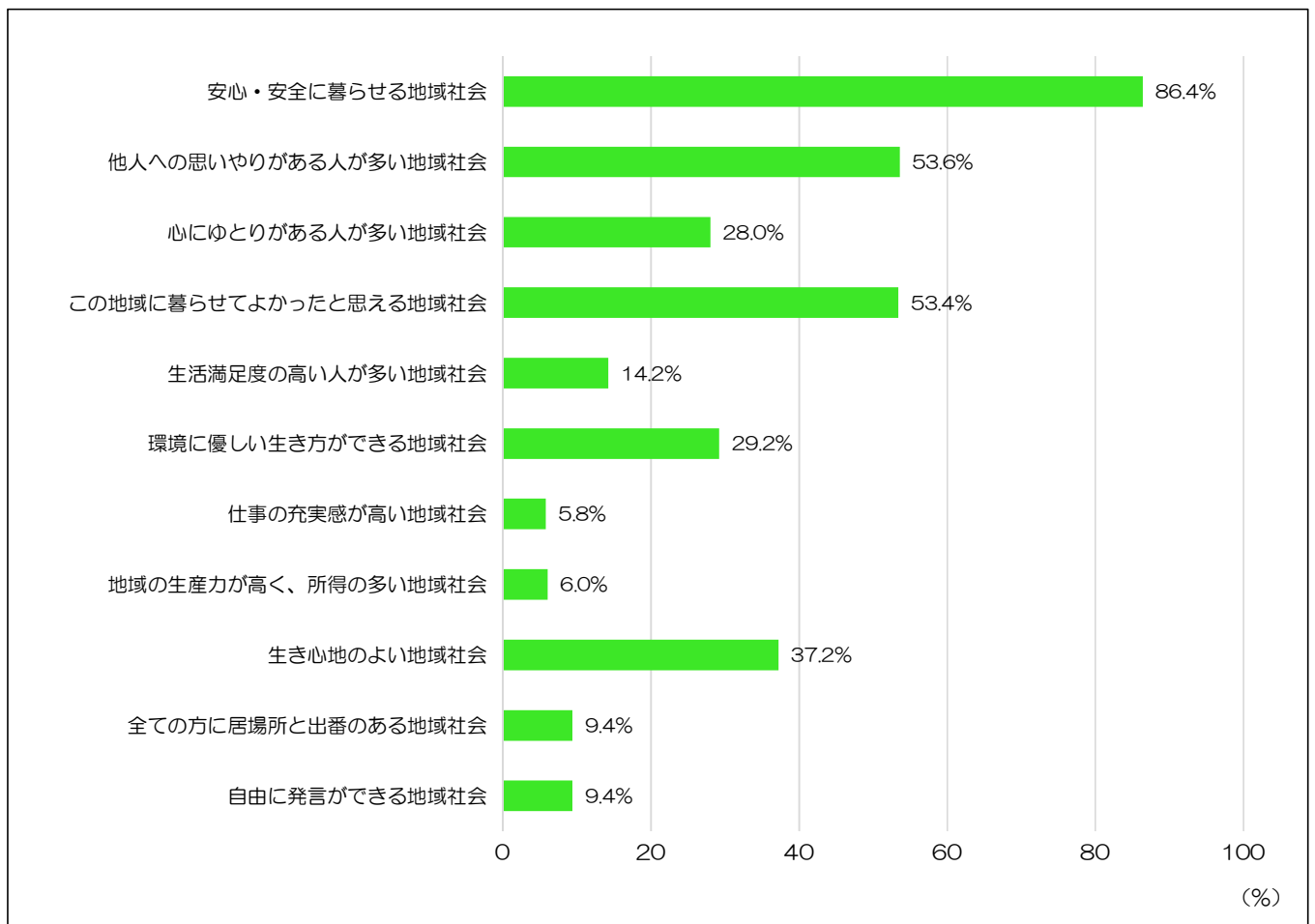
「災害や緊急事態が起きたときの対応」が66.7%と最も多く、次に「ごみ収集など日常生活における協力」が47%となっている。

〔前回調査との比較〕

「災害や緊急事態が起きたときの対応」が4.3ポイント減少したが、「ごみ収集などの日常生活における協力」は7.8ポイント増加している。

問15 今後、どのようなことを地域社会の目標にしていくべきだと思いますか。
(あてはまるもの5つまで○)

項 目	回答数	回答割合
安心・安全に暮らせる地域社会	753	86.4%
他人への思いやりがある人が多い地域社会	467	53.6%
心にゆとりがある人が多い地域社会	244	28.0%
この地域に暮らしてよかったと思える地域社会	466	53.4%
生活満足度の高い人が多い地域社会	124	14.2%
環境に優しい生き方ができる地域社会	255	29.2%
仕事の充実感が高い地域社会	51	5.8%
地域の生産力が高く、所得の多い地域社会	52	6.0%
生き心地のよい地域社会	324	37.2%
全ての方に居場所と出番のある地域社会	82	9.4%
自由に発言ができる地域社会	82	9.4%
合 計	2,900	N=872

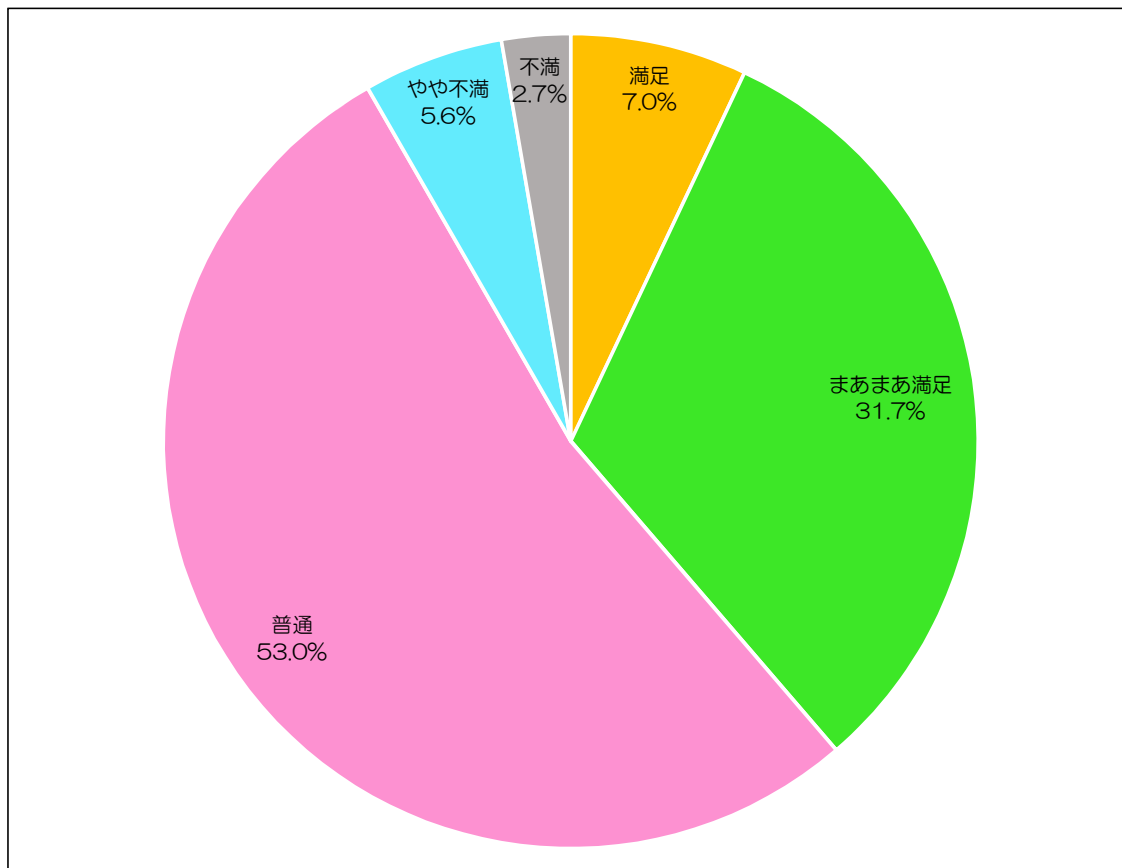


〔概要〕

「安心・安全に暮らせる地域社会」が86.4%と最も多く、次に「他人への思いやりがある人が多い地域社会」が53.6%、「この地域に暮らしてよかったと思える地域社会」が53.4%となっている。

問16（1） 子どもにとって暮らしやすいまちだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数	回答割合
満足	54	7.0%
まあまあ満足	244	31.7%
普通	408	53.0%
やや不満	43	5.6%
不満	21	2.7%
合計	770	100.0%



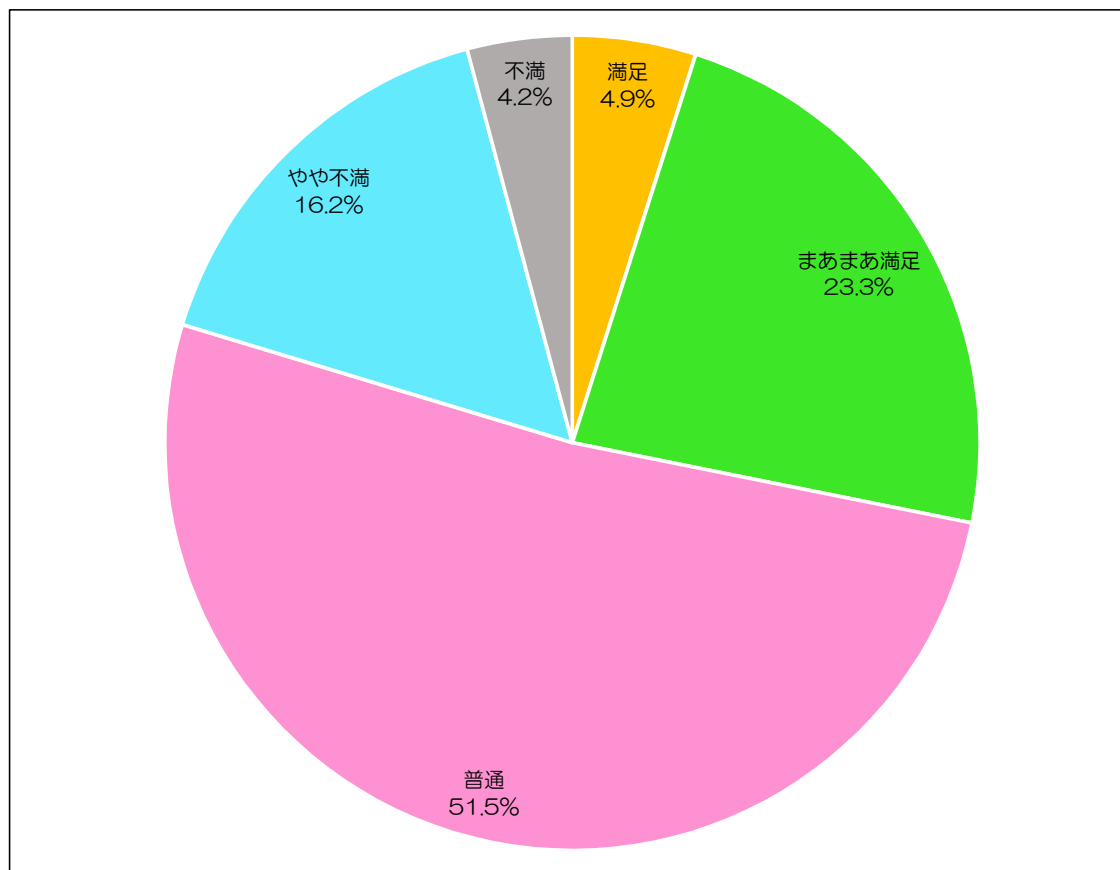
〔概要〕

「普通」が53%と過半数を占めており、次に「まあまあ満足」が31.7%となっている。

「満足」、「まあまあ満足」、「普通」を合わせた割合は約9割（91.7%）となっている。

問16(2) 高齢者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数	回答割合
満足	40	4.9%
まあまあ満足	190	23.3%
普通	421	51.5%
やや不満	132	16.2%
不満	34	4.2%
合計	817	100.1%



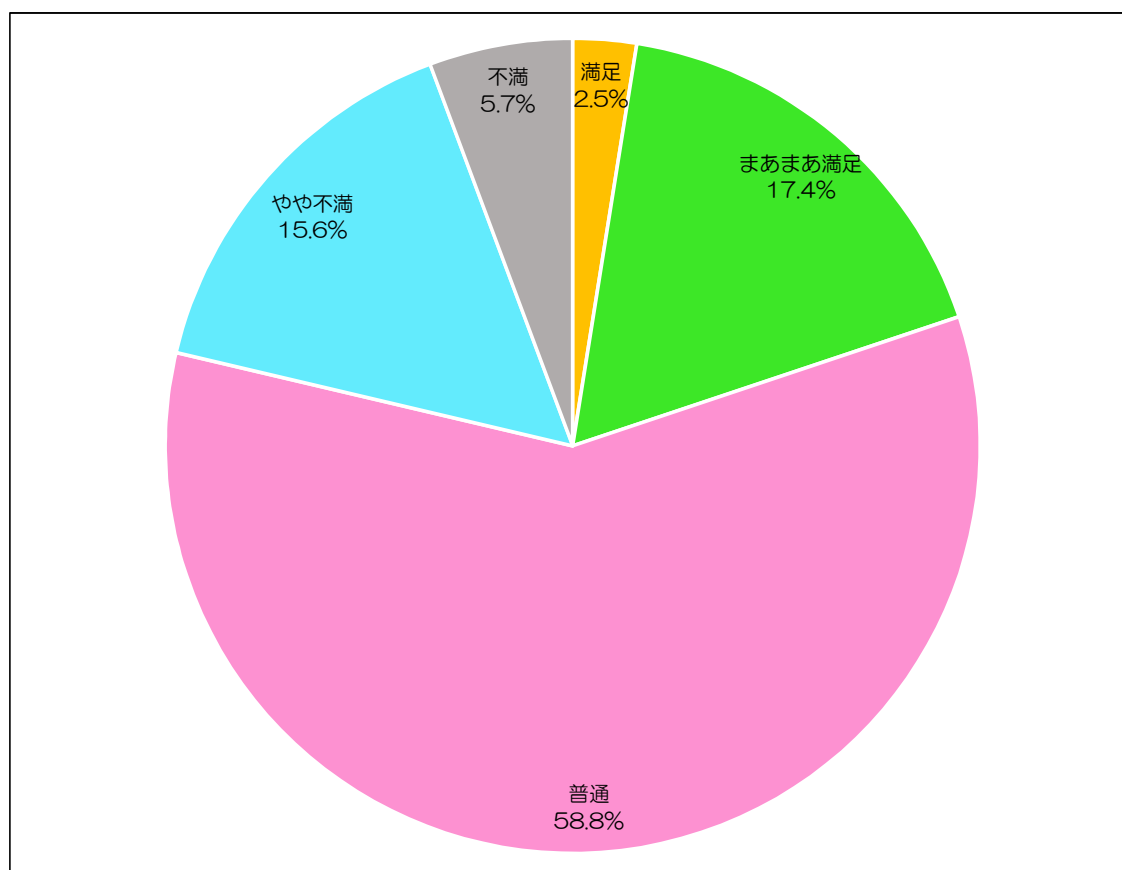
〔概要〕

「普通」が51.5%と過半数を占めており、次に「まあまあ満足」が23.3%、「やや不満」が16.2%となっている。

「満足」、「まあまあ満足」、「普通」を合わせた割合は約8割（79.7%）となっている。

問16(3) 障害者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数	回答割合
満足	19	2.5%
まあまあ満足	131	17.4%
普通	444	58.8%
やや不満	118	15.6%
不満	43	5.7%
合計	755	100.0%



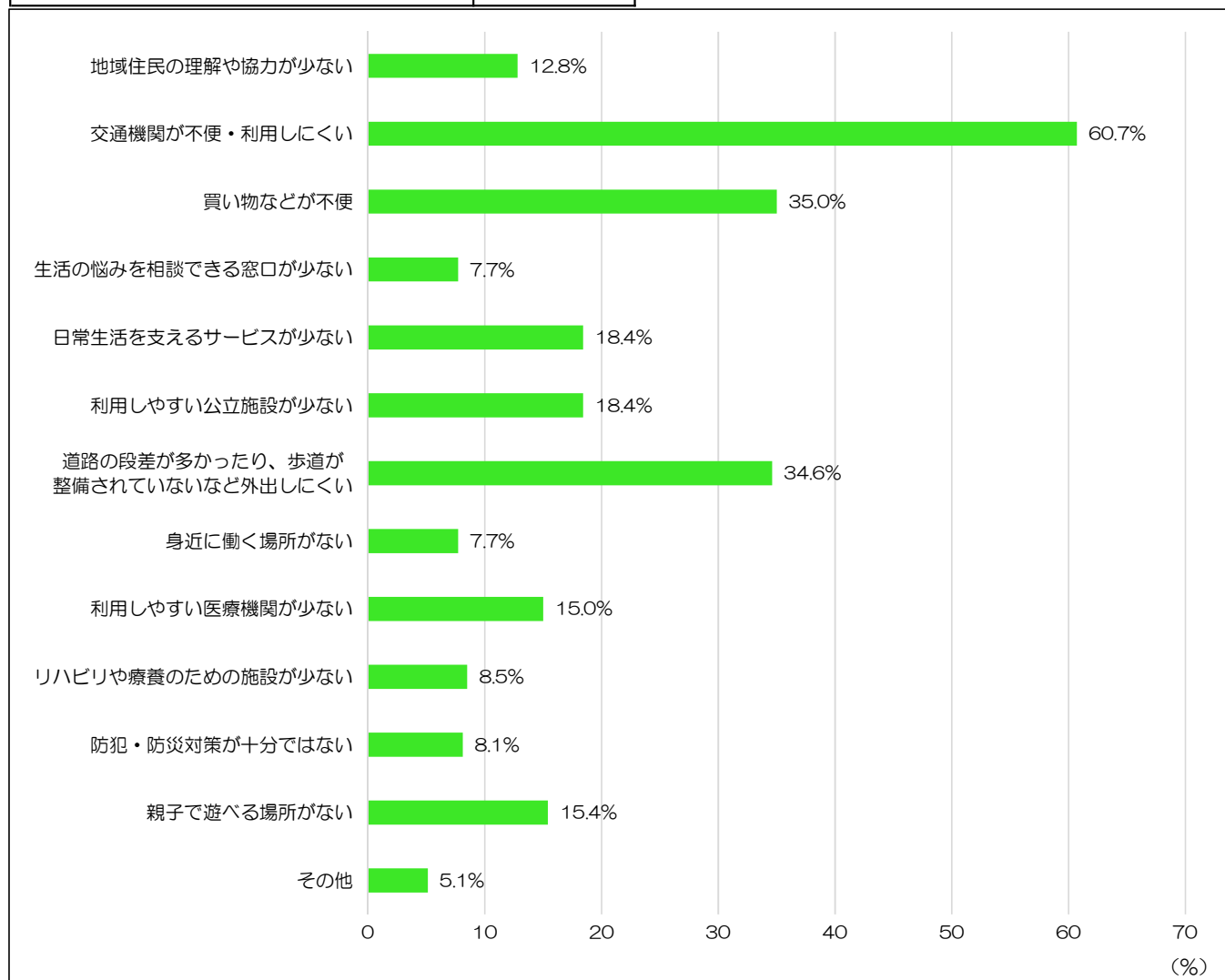
〔概要〕

「普通」が58.8%と過半数を占めており、次に「まあまあ満足」が17.4%、「やや不満」が15.6%となっている。

「満足」、「まあまあ満足」、「普通」を合わせた割合は約8割（78.7%）となっている。

問16ー(1) 不満に思う理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

項 目	回答数	回答割合
地域住民の理解や協力が少ない	30	12.8%
交通機関が不便・利用しにくい	142	60.7%
買い物などが不便	82	35.0%
生活の悩みを相談できる窓口が少ない	18	7.7%
日常生活を支えるサービスが少ない	43	18.4%
利用しやすい公立施設が少ない	43	18.4%
道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい	81	34.6%
身近に働く場所がない	18	7.7%
利用しやすい医療機関が少ない	35	15.0%
リハビリや療養のための施設が少ない	20	8.5%
防犯・防災対策が十分ではない	19	8.1%
親子で遊べる場所がない	36	15.4%
その他	12	5.1%
合 計	579	N=234

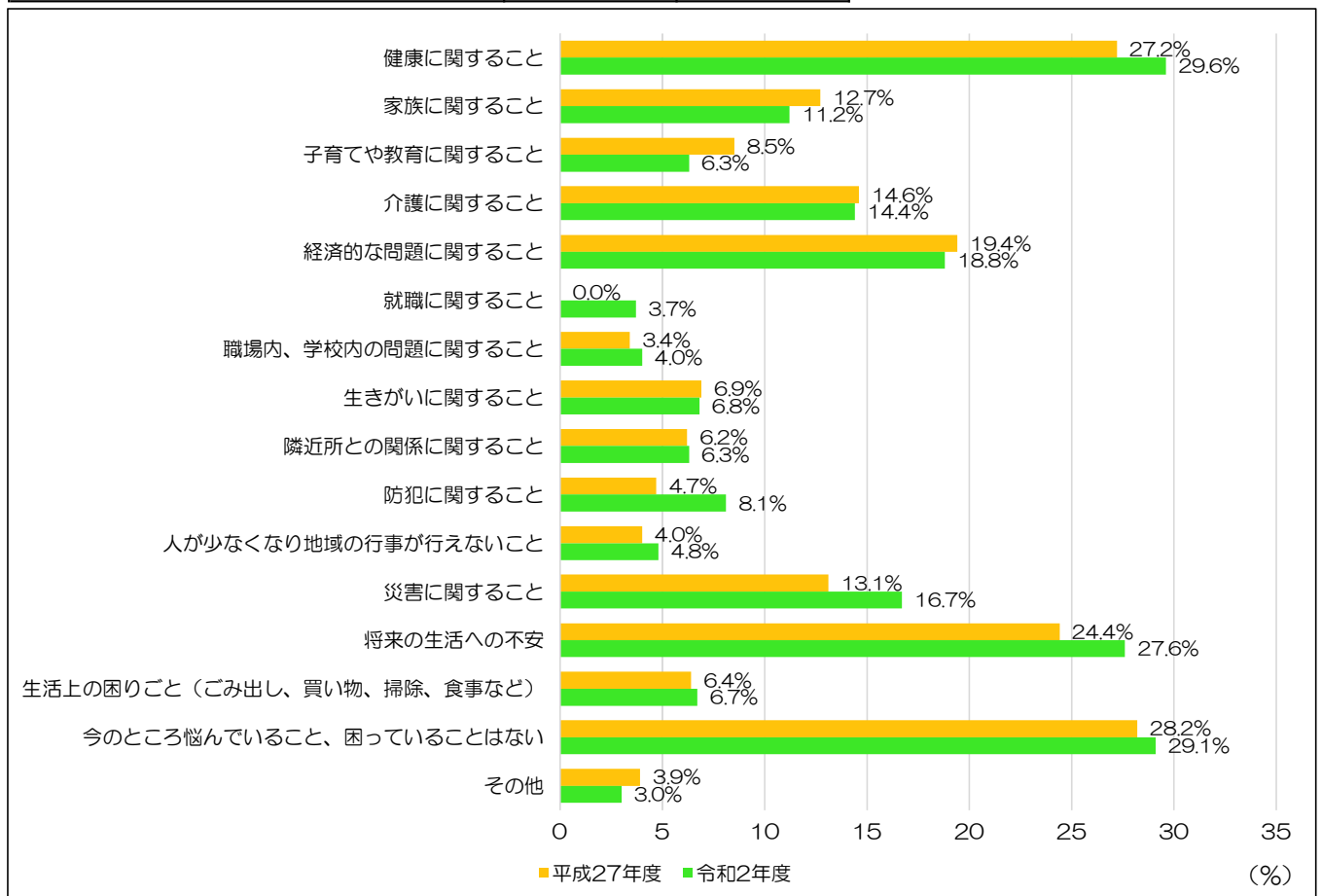


〔概要〕

「交通機関が不便・利用しにくい」が60.7%と最も多く、次に「買い物などが不便」が35.0%、「道路の段差が多かったり歩道が整備されていないなど外出しにくい」が34.6%となっている。

問17 現在、悩んでいること、困っていることは何ですか（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
健康に関すること	346	258	27.2%	29.6%
家族に関すること	162	98	12.7%	11.2%
子育てや教育に関すること	108	55	8.5%	6.3%
介護に関すること	186	126	14.6%	14.4%
経済的な問題に関すること	247	164	19.4%	18.8%
就職に関すること	-	32	-	3.7%
職場内、学校内の問題に関すること	43	35	3.4%	4.0%
生きがいにに関すること	88	59	6.9%	6.8%
隣近所との関係に関すること	79	55	6.2%	6.3%
防犯に関すること	60	71	4.7%	8.1%
人が少なくなり地域の行事が行えないこと	51	42	4.0%	4.8%
災害に関すること	167	146	13.1%	16.7%
将来の生活への不安	310	241	24.4%	27.6%
生活上の困りごと（ごみ出し、買い物、掃除、食事など）	81	58	6.4%	6.7%
今のところ悩んでいること、困っていることはない	359	254	28.2%	29.1%
その他	49	26	3.9%	3.0%
合計	2,336	1,720	N=1,271	N=872



〔概要〕

「健康に関すること」が29.6%、次に「将来の生活への不安」が27.6%と多くなっているが、「今のところ悩んでいること、困っていることはない」が29.1%とほぼ同じ割合となっている。

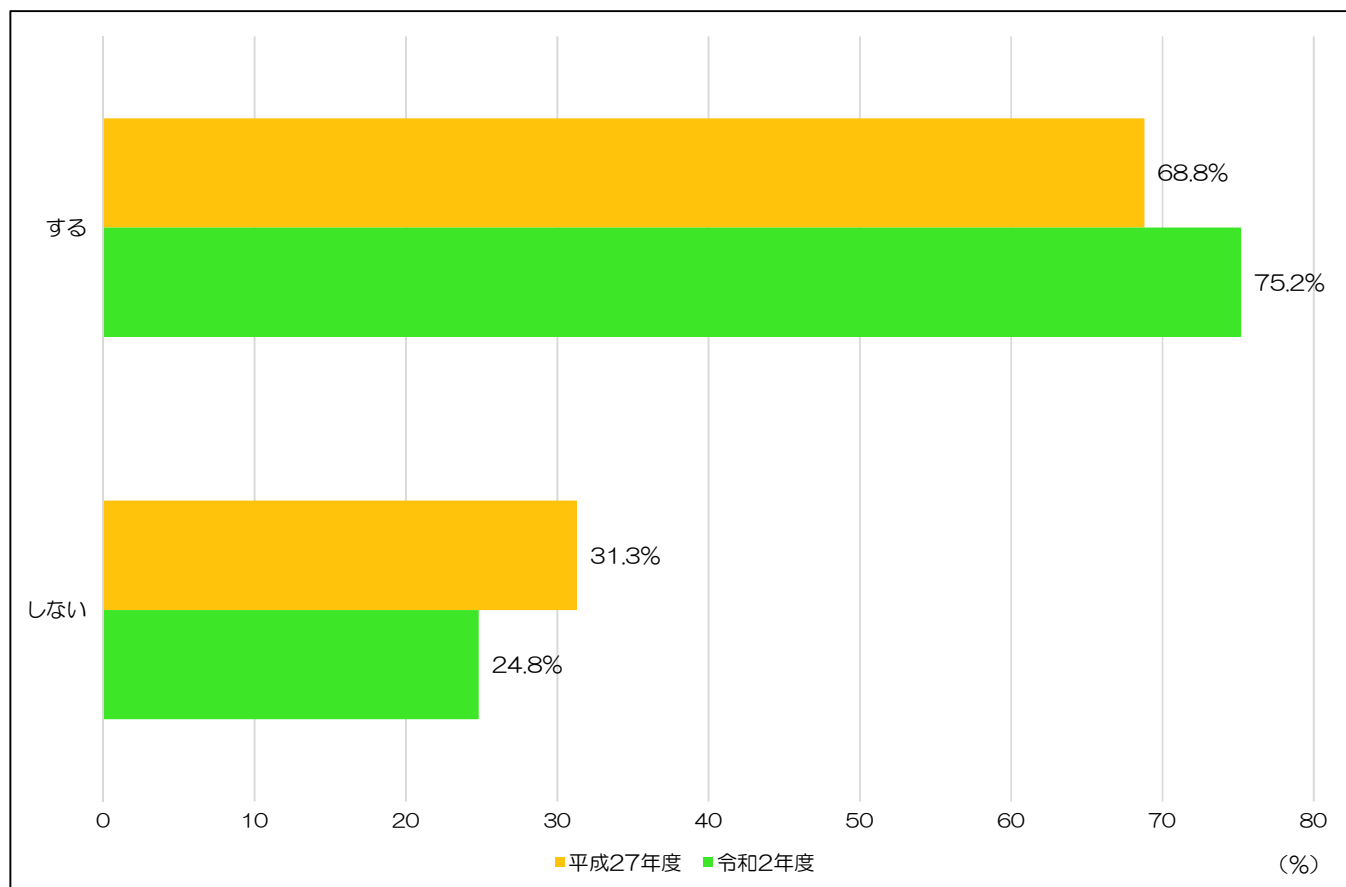
〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

※「就職に関すること」は今回調査からの追加項目

問18 悩みや困りごとを誰かに相談しますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
する	814	607	68.8%	75.2%
しない	370	200	31.3%	24.8%
合計	1,184	807	100.1%	100.0%



〔概要〕

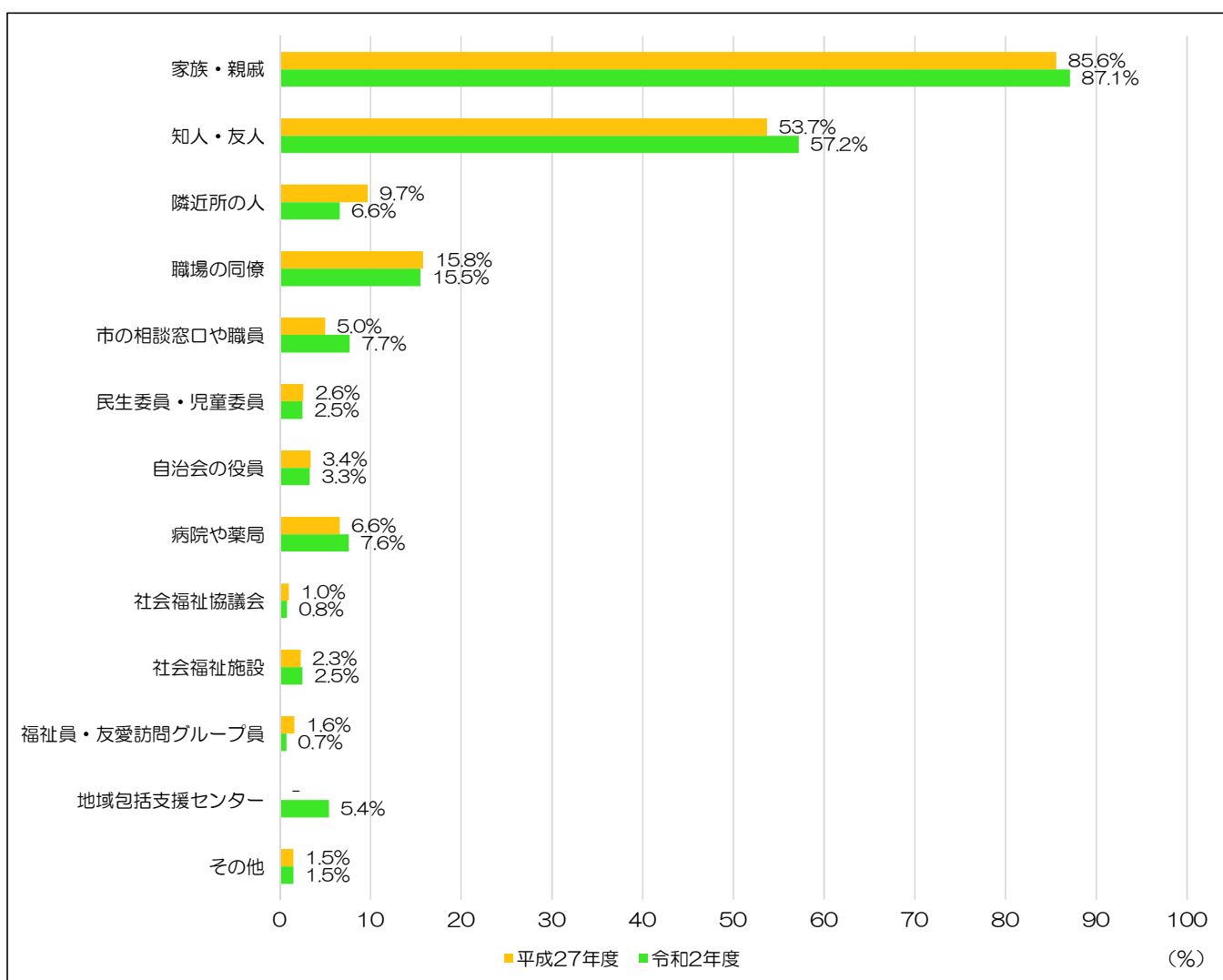
「する」が75.2%と、「しない」の24.8%に比べ50.4ポイント多くなっている。

〔前回調査との比較〕

「する」と答えた人が6.4ポイント増加している。

問18-（1） 悩みや困りごとを相談するとき誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
家族・親戚	697	529	85.6%	87.1%
知人・友人	437	347	53.7%	57.2%
隣近所の人	79	40	9.7%	6.6%
職場の同僚	129	94	15.8%	15.5%
市の相談窓口や職員	41	47	5.0%	7.7%
民生委員・児童委員	21	15	2.6%	2.5%
自治会の役員	28	20	3.4%	3.3%
病院や薬局	54	46	6.6%	7.6%
社会福祉協議会	8	5	1.0%	0.8%
社会福祉施設	19	15	2.3%	2.5%
福祉員・友愛訪問グループ員	13	4	1.6%	0.7%
地域包括支援センター	-	33	-	5.4%
その他	12	9	1.5%	1.5%
合計	1,538	1,204	N=814	N=607



〔概要〕

「家族・親戚」が87.1%と最も多く、次に「知人・友人」が57.2%となっている。

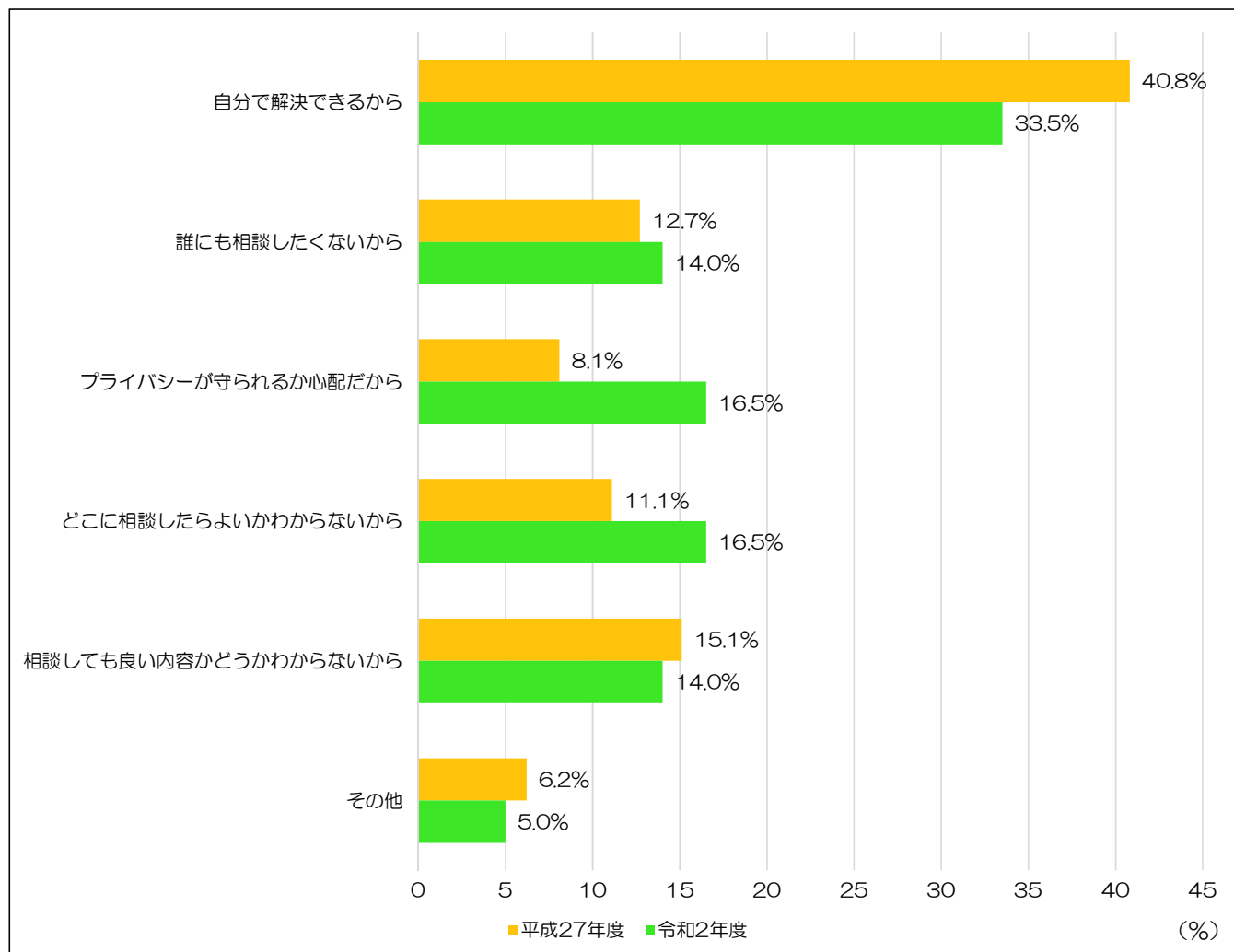
〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

※「地域包括支援センター」は今回調査からの追加項目

問18－(2) 悩みや困りごとを誰にも相談されない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
自分で解決できるから	151	67	40.8%	33.5%
誰にも相談したくないから	47	28	12.7%	14.0%
プライバシーが守られるか心配だから	30	33	8.1%	16.5%
どこに相談したらよいかわからないから	41	33	11.1%	16.5%
相談しても良い内容かどうかわからないから	56	28	15.1%	14.0%
その他	23	10	6.2%	5.0%
合計	348	199	N=370	N=200



〔概要〕

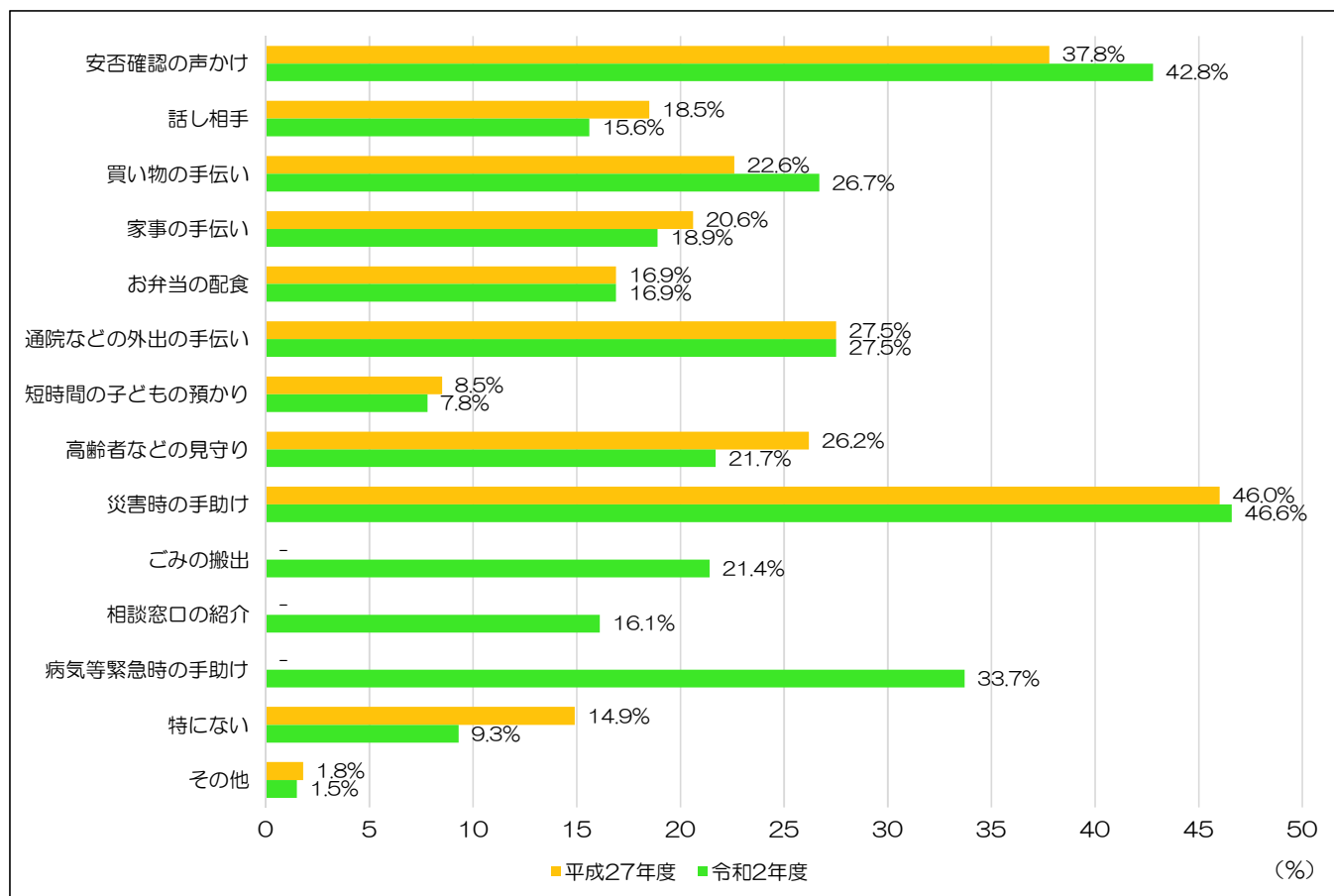
「自分で解決できるから」が33.5%と最も多く、次に「プライバシーが守られるか心配」(16.5%)、「どこに相談したらよいかわからない」(16.5%)、「誰にも相談したくない」(14.0%)、「相談しても良い内容かどうかわからない」(14.0%)となっている。

〔前回調査との比較〕

「自分が解決できるから」が7.3ポイント減少しているが、「プライバシーが守られるか心配」(8.4ポイント増)、「どこに相談したらよいかわからない」(5.4ポイント増)などが増加している。

問19 日常生活が不自由になったときに、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
安否確認の声かけ	480	373	37.8%	42.8%
話し相手	235	136	18.5%	15.6%
買い物の手伝い	287	233	22.6%	26.7%
家事の手伝い	262	165	20.6%	18.9%
お弁当の配食	215	147	16.9%	16.9%
通院などの外出の手伝い	349	240	27.5%	27.5%
短時間の子どもの預かり	108	68	8.5%	7.8%
高齢者などの見守り	333	189	26.2%	21.7%
災害時の手助け	585	406	46.0%	46.6%
ごみの搬出	-	187	-	21.4%
相談窓口の紹介	-	140	-	16.1%
病気等緊急時の手助け	-	294	-	33.7%
特にない	189	81	14.9%	9.3%
その他	23	13	1.8%	1.5%
合計	3,066	2,672	N=1,271	N=872



〔概要〕

「災害時の手助け」が46.6%、「安否確認の声かけ」が42.8%と高い割合にある。
今回調査で項目を追加した「病気等緊急時の手助け」が33.7%と高い割合となっている。

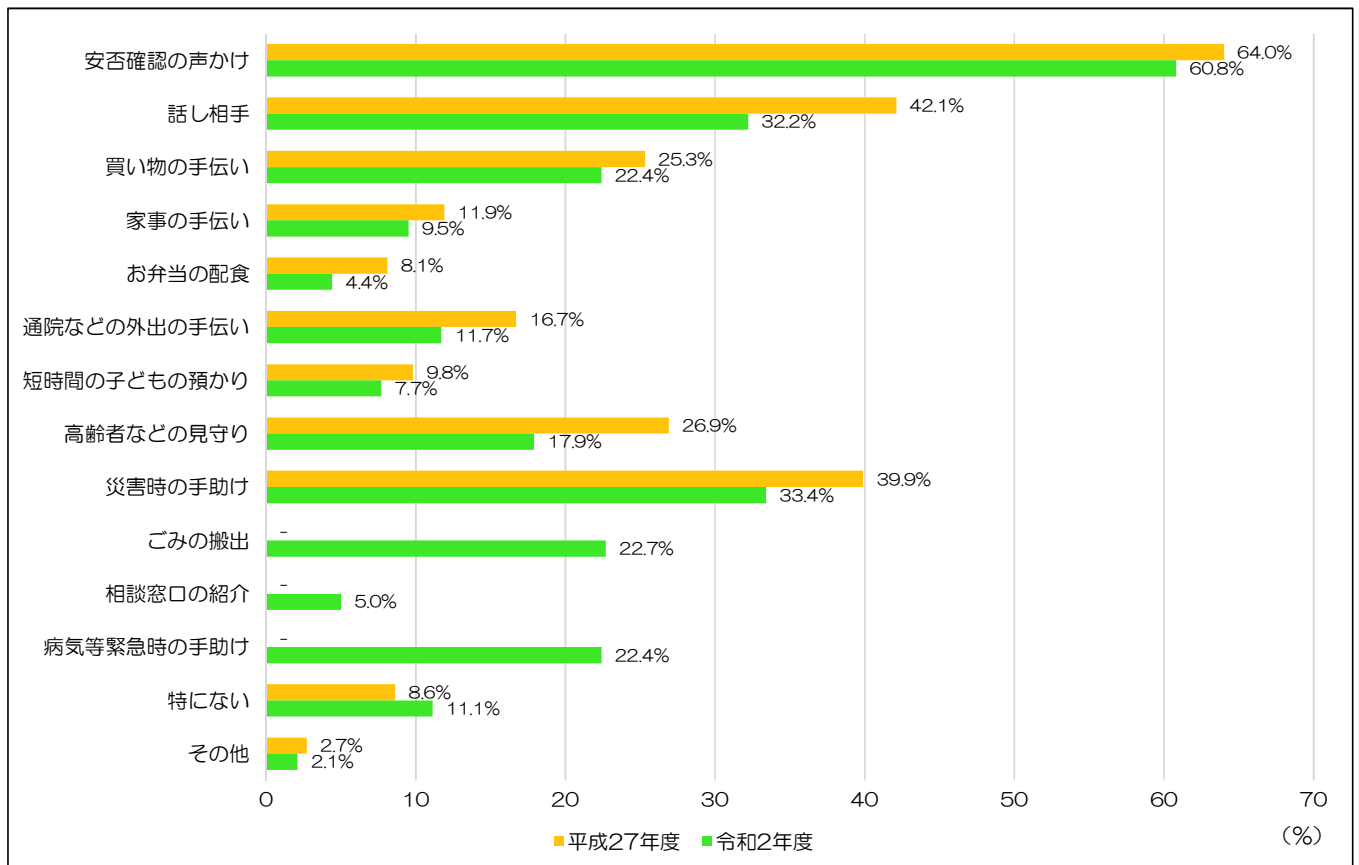
〔前回調査との比較〕

回答割合に差はあまりみられない。

※「ごみの搬出」、「相談窓口の紹介」、「病気等緊急時の手助け」は今回調査からの追加項目

問20 地域で困っている人がいた場合、どのような手助けができますか。
(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
安否確認の声かけ	813	530	64.0%	60.8%
話し相手	535	281	42.1%	32.2%
買い物の手伝い	322	195	25.3%	22.4%
家事の手伝い	151	83	11.9%	9.5%
お弁当の配食	103	38	8.1%	4.4%
通院などの外出の手伝い	212	102	16.7%	11.7%
短時間の子どもの預かり	124	67	9.8%	7.7%
高齢者などの見守り	342	156	26.9%	17.9%
災害時の手助け	507	291	39.9%	33.4%
ごみの搬出	-	198	-	22.7%
相談窓口の紹介	-	44	-	5.0%
病気等緊急時の手助け	-	195	-	22.4%
特にない	109	97	8.6%	11.1%
その他	34	18	2.7%	2.1%
合計	3,252	2,295	N=1,271	N=872



〔概要〕

「安否確認の声かけ」が60.8%と最も多く、次に「災害時の手助け」が33.4%、「話し相手」が32.2%となっている。
今回調査で項目を追加した「ごみの搬出」が22.7%、「病気等緊急時の手助け」が22.4%と高い割合となっている。

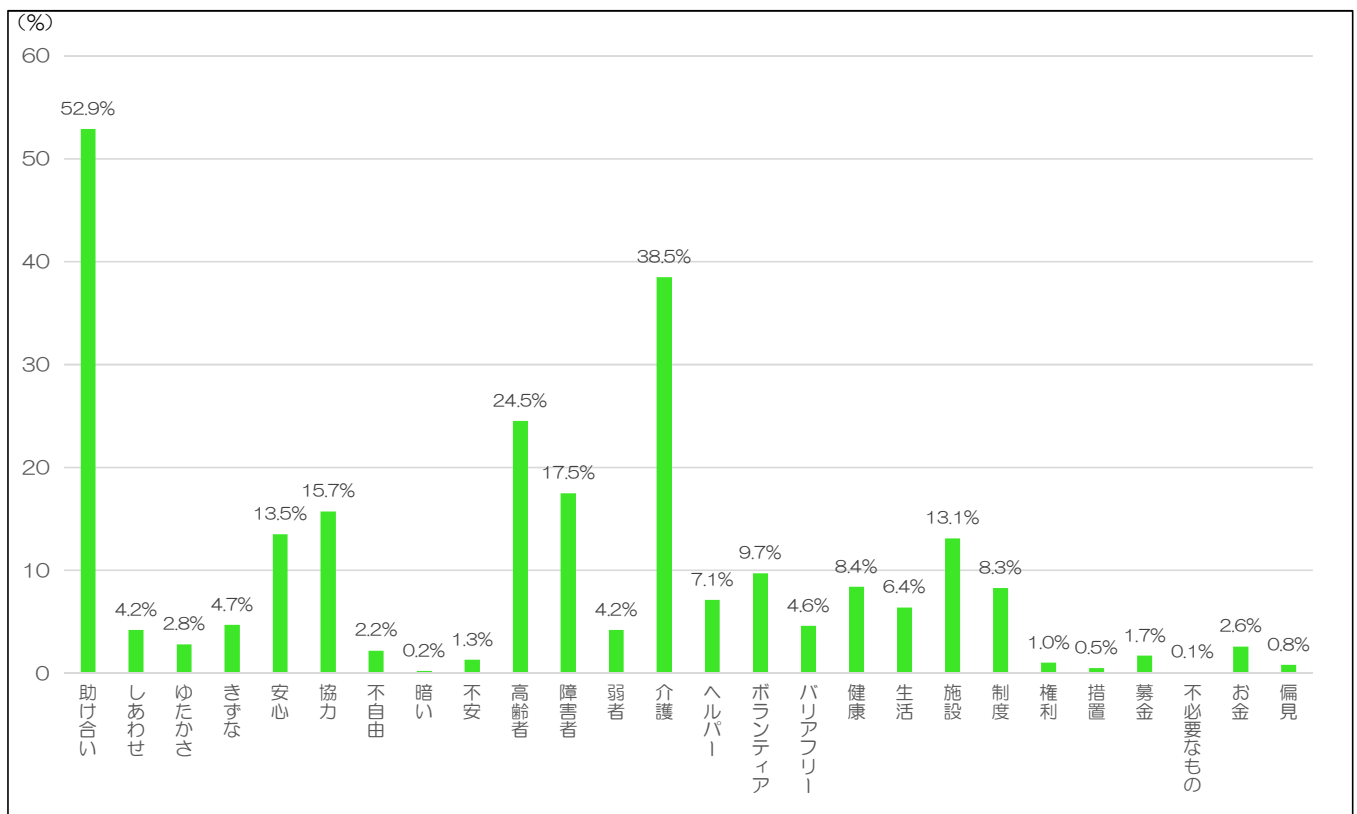
〔前回調査との比較〕

「話し相手」（9.9ポイント減）、「高齢者などの見守り」（9.0ポイント減）が減少している。

※「ごみの搬出」、「相談窓口の紹介」、「病気等緊急時の手助け」は今回調査からの追加項目

問21 「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。（あてはまるもの3つまで○）

項 目	回答数	回答割合
助け合い	461	52.9%
しあわせ	37	4.2%
ゆたかさ	24	2.8%
きずな	41	4.7%
安心	118	13.5%
協力	137	15.7%
不自由	19	2.2%
暗い	2	0.2%
不安	11	1.3%
高齢者	214	24.5%
障害者	153	17.5%
弱者	37	4.2%
介護	336	38.5%
ヘルパー	62	7.1%
ボランティア	85	9.7%
バリアフリー	40	4.6%
健康	73	8.4%
生活	56	6.4%
施設	114	13.1%
制度	72	8.3%
権利	9	1.0%
措置	4	0.5%
募金	15	1.7%
不必要なもの	1	0.1%
お金	23	2.6%
偏見	7	0.8%
合計	2,151	N=872

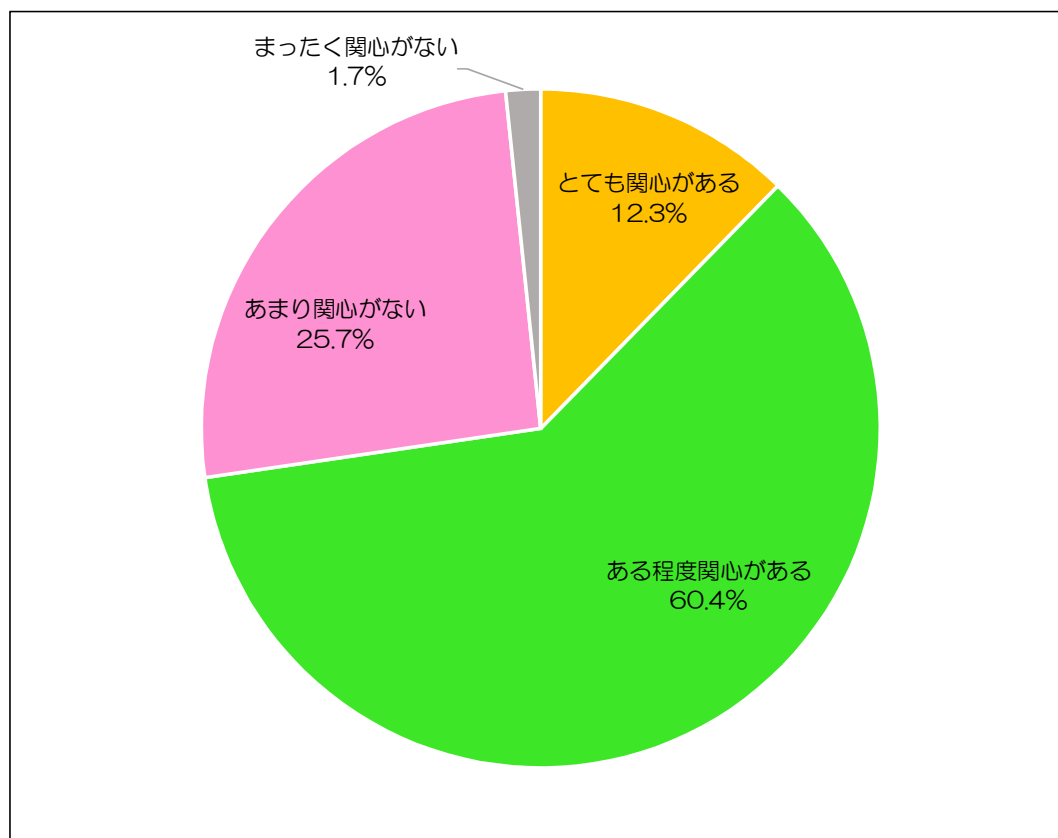


〔概要〕

「助け合い」が52.9%と最も多く、次に「介護」が38.5%、「高齢者」が24.5%となっている。

問22 福祉への関心はありますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数	回答割合
とても関心がある	97	12.3%
ある程度関心がある	475	60.4%
あまり関心がない	202	25.7%
まったく関心がない	13	1.7%
合計	787	100.1%

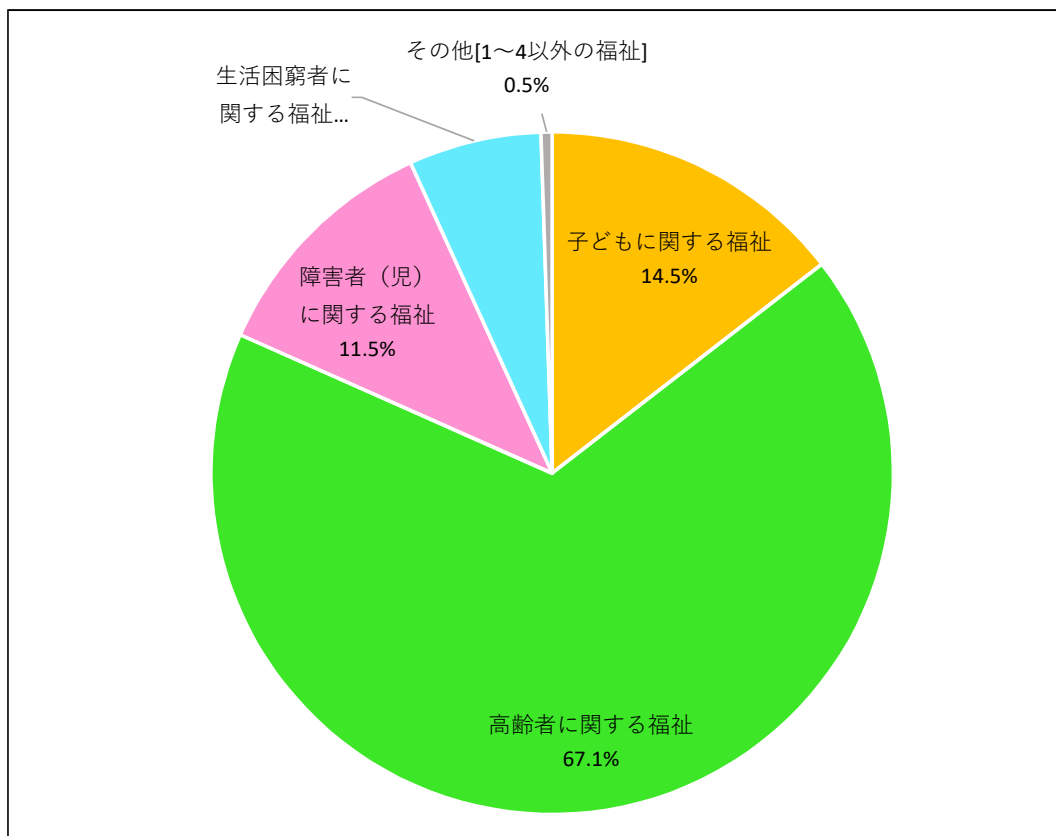


〔概要〕

「ある程度関心がある」が60.4%と過半数を占めており、「とても関心がある」の12.3%と合わせると約7割（72.2%）の人が関心を持っている。

問2-2-1 特にどの福祉の分野に関心をお持ちですか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数	回答割合
子どもに関する福祉	83	14.5%
高齢者に関する福祉	384	67.1%
障害者（児）に関する福祉	66	11.5%
生活困窮者に関する福祉	36	6.3%
その他[1～4以外の福祉]	3	0.5%
合計	572	99.9%

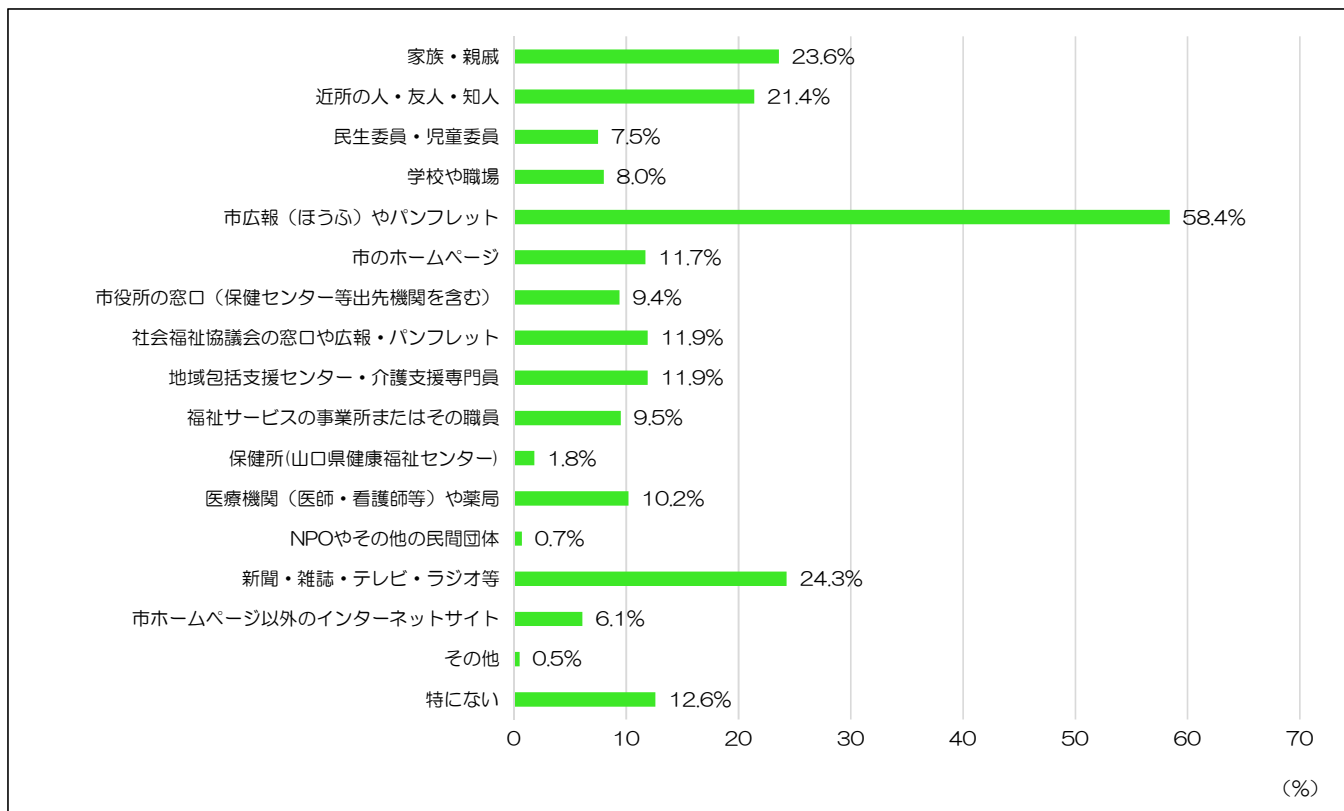


〔概要〕

「高齢者に関する福祉」が67.1%と最も多く、次に「子どもに関する福祉」（14.5%）、「障害者（児）に関する福祉」（11.5%）、「生活困窮者に関する福祉」（6.3%）となっている。

問23 福祉サービスの情報はどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数	回答割合
家族・親戚	206	23.6%
近所の人・友人・知人	187	21.4%
民生委員・児童委員	65	7.5%
学校や職場	70	8.0%
市広報（ほうふ）やパンフレット	509	58.4%
市のホームページ	102	11.7%
市役所の窓口（保健センター等出先機関を含む）	82	9.4%
社会福祉協議会の窓口や広報・パンフレット	104	11.9%
地域包括支援センター・介護支援専門員	104	11.9%
福祉サービスの事業所またはその職員	83	9.5%
保健所（山口県健康福祉センター）	16	1.8%
医療機関（医師・看護師等）や薬局	89	10.2%
NPOやその他の民間団体	6	0.7%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	212	24.3%
市ホームページ以外のインターネットサイト	53	6.1%
その他	4	0.5%
特になし	110	12.6%
合 計	2,002	N=872

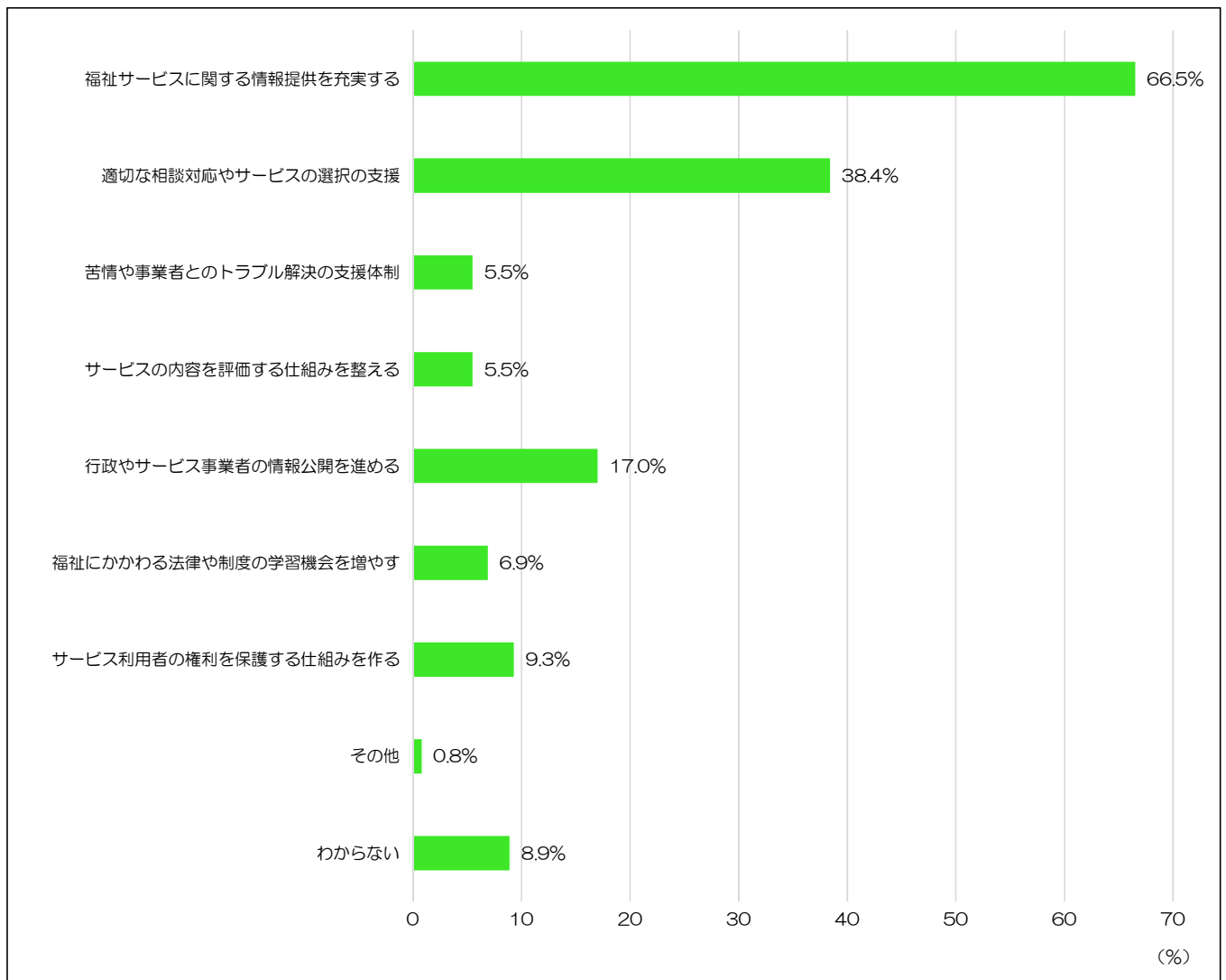


〔概要〕

「市広報やパンフレット」が58.4%と最も多く、次に「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等」（24.3%）、「家族・親戚」（23.6%）、「近所の人・友人・知人」（21.4%）などとなっている。

問24 福祉サービスを安心して利用するために、市では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか。（あてはまるもの2つまで○）

項 目	回答数	回答割合
福祉サービスに関する情報提供を充実する	580	66.5%
適切な相談対応やサービスの選択の支援	335	38.4%
苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制	48	5.5%
サービスの内容を評価する仕組みを整える	48	5.5%
行政やサービス事業者の情報公開を進める	148	17.0%
福祉にかかわる法律や制度の学習機会を増やす	60	6.9%
サービス利用者の権利を保護する仕組みを作る	81	9.3%
その他	7	0.8%
わからない	78	8.9%
合 計	1,385	N=872

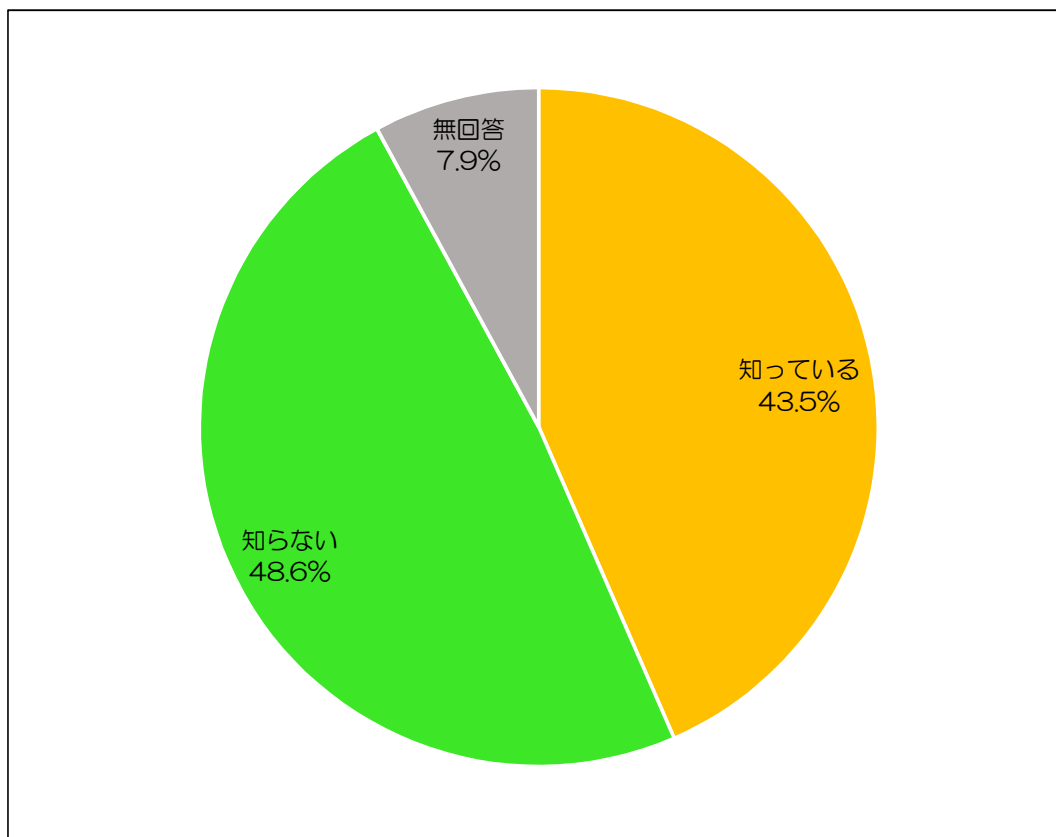


〔概要〕

「福祉サービスに関する情報提供を充実する」が66.5%と最も多く、次に「適切な相談対応やサービスの選択に支援」が38.4%となっている。

問25 お住まいの地区の民生委員・児童委員をご存じですか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数	回答割合
知っている	379	43.5%
知らない	424	48.6%
無回答	69	7.9%
合計	872	100.0%

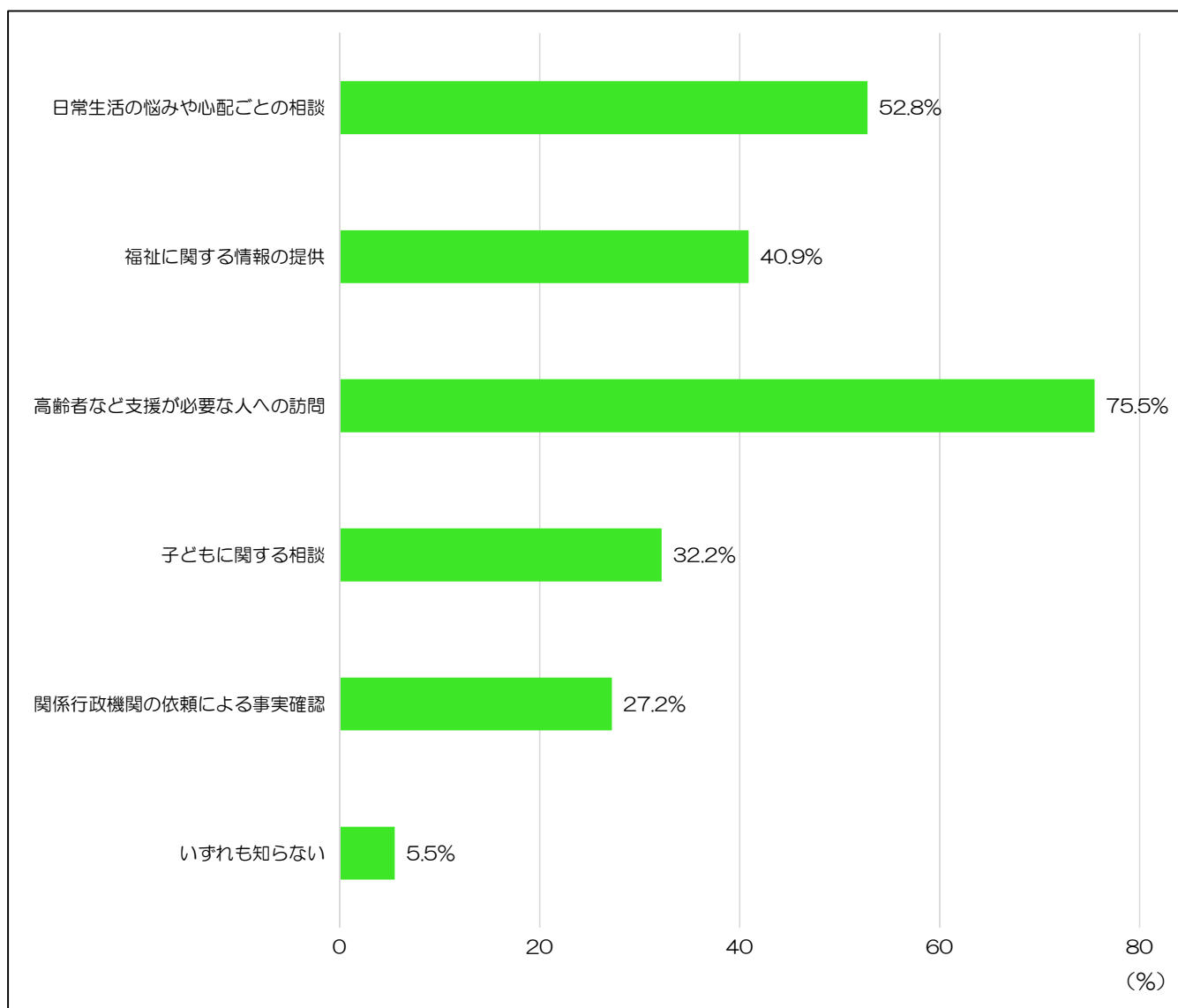


〔概要〕

「知らない」（48.6%）が「知っている」（43.5%）より5.1ポイント多い。

問25－(1) 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数	回答割合
日常生活の悩みや心配ごとの相談	200	52.8%
福祉に関する情報の提供	155	40.9%
高齢者など支援が必要な人への訪問	286	75.5%
子どもに関する相談	122	32.2%
関係行政機関の依頼による事実確認	103	27.2%
いずれも知らない	21	5.5%
合 計	887	N=379

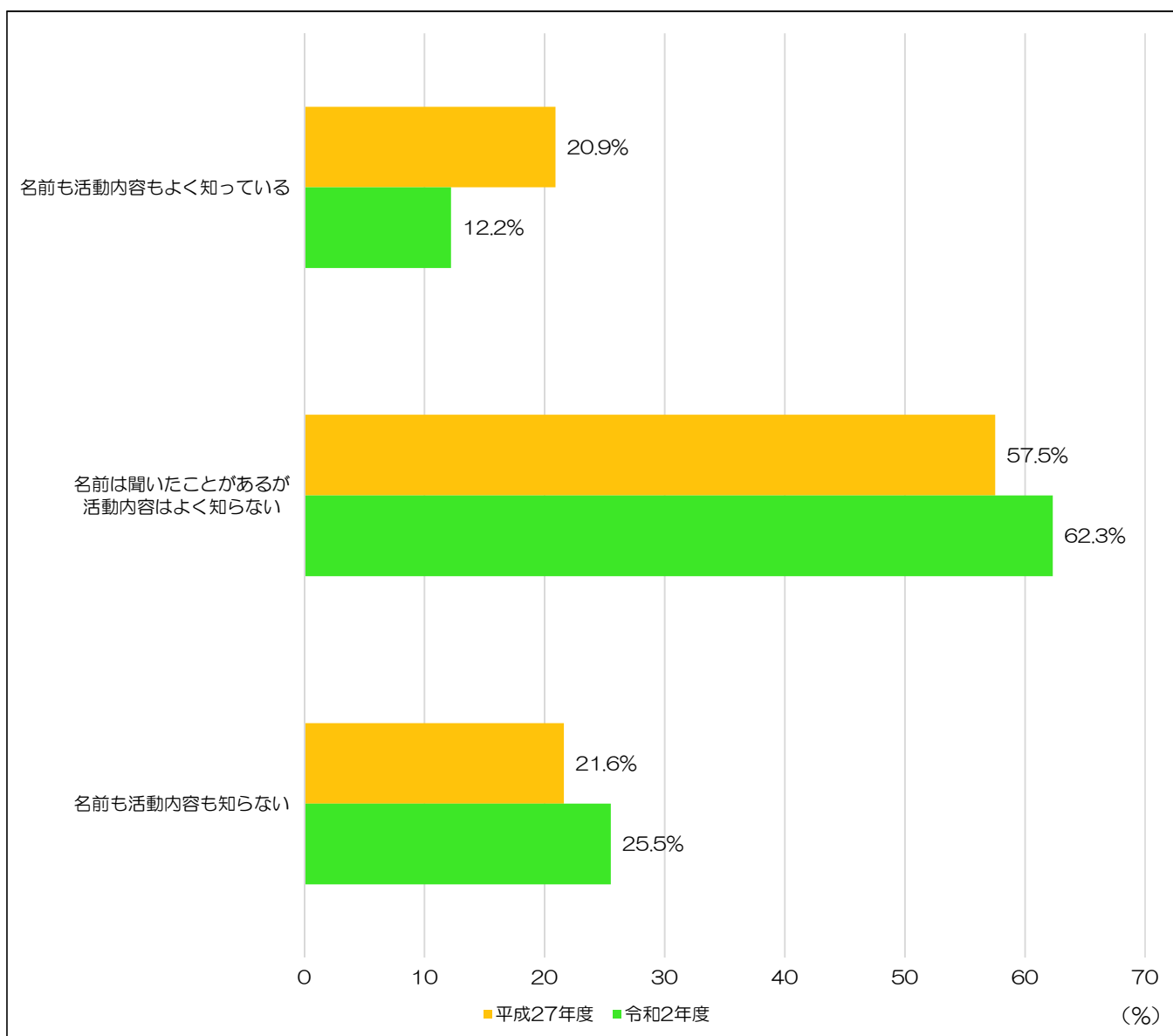


〔概要〕

「高齢者などの支援が必要な人への訪問」が75.5%と最も多く、次に「日常生活の悩みや心配ごとの相談」（52.8%）、「福祉に関する情報の提供」（40.9%）などとなっている。

問26 地域福祉の推進を図るために諸活動を行っている防府市社会福祉協議会をご存知ですか。
(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
名前も活動内容もよく知っている	248	81	20.9%	12.2%
名前は聞いたことがあるが 活動内容はよく知らない	683	413	57.5%	62.3%
名前も活動内容も知らない	256	169	21.6%	25.5%
合計	1,187	663	100.0%	100.0%



〔概要〕

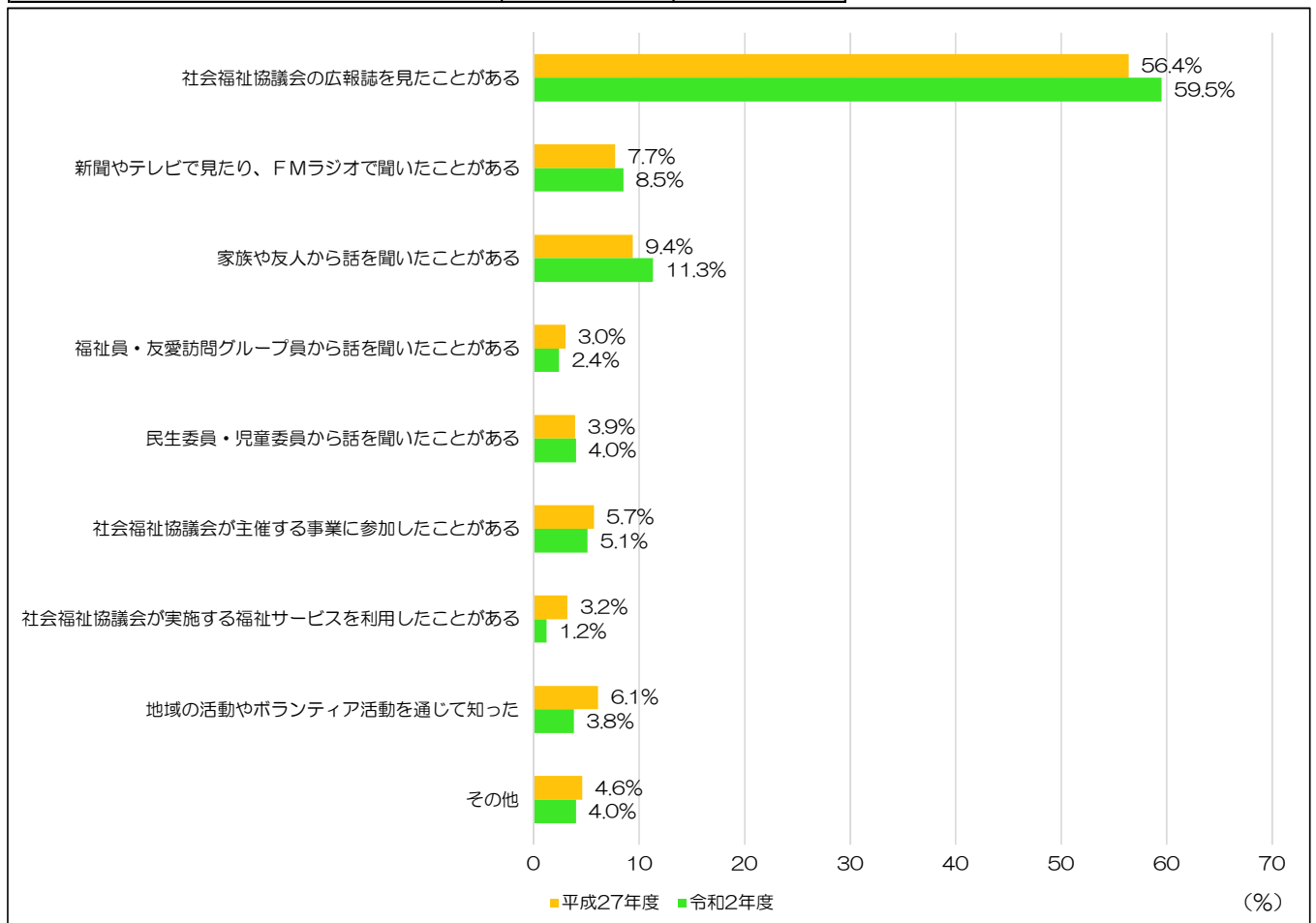
「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」が約6割（62.3%）を占めており、「名前も活動内容も知らない」（25.5%）を含めると、活動内容を知らない割合は約9割（87.8%）となっている。

〔前回調査との比較〕

「名前も活動内容もよく知っている」が8.7ポイント減少している。

問26ー(1) どのようにして防府市社会福祉協議会を知りましたか。(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
社会福祉協議会の広報誌を見たことがある	438	294	56.4%	59.5%
新聞やテレビで見たり、FMラジオで聞いたことがある	60	42	7.7%	8.5%
家族や友人から話を聞いたことがある	73	56	9.4%	11.3%
福祉員・友愛訪問グループ員から話を聞いたことがある	23	12	3.0%	2.4%
民生委員・児童委員から話を聞いたことがある	30	20	3.9%	4.0%
社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある	44	25	5.7%	5.1%
社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある	25	6	3.2%	1.2%
地域の活動やボランティア活動を通じて知った	47	19	6.1%	3.8%
その他	36	20	4.6%	4.0%
合 計	776	494	N=776	N=494



〔概要〕

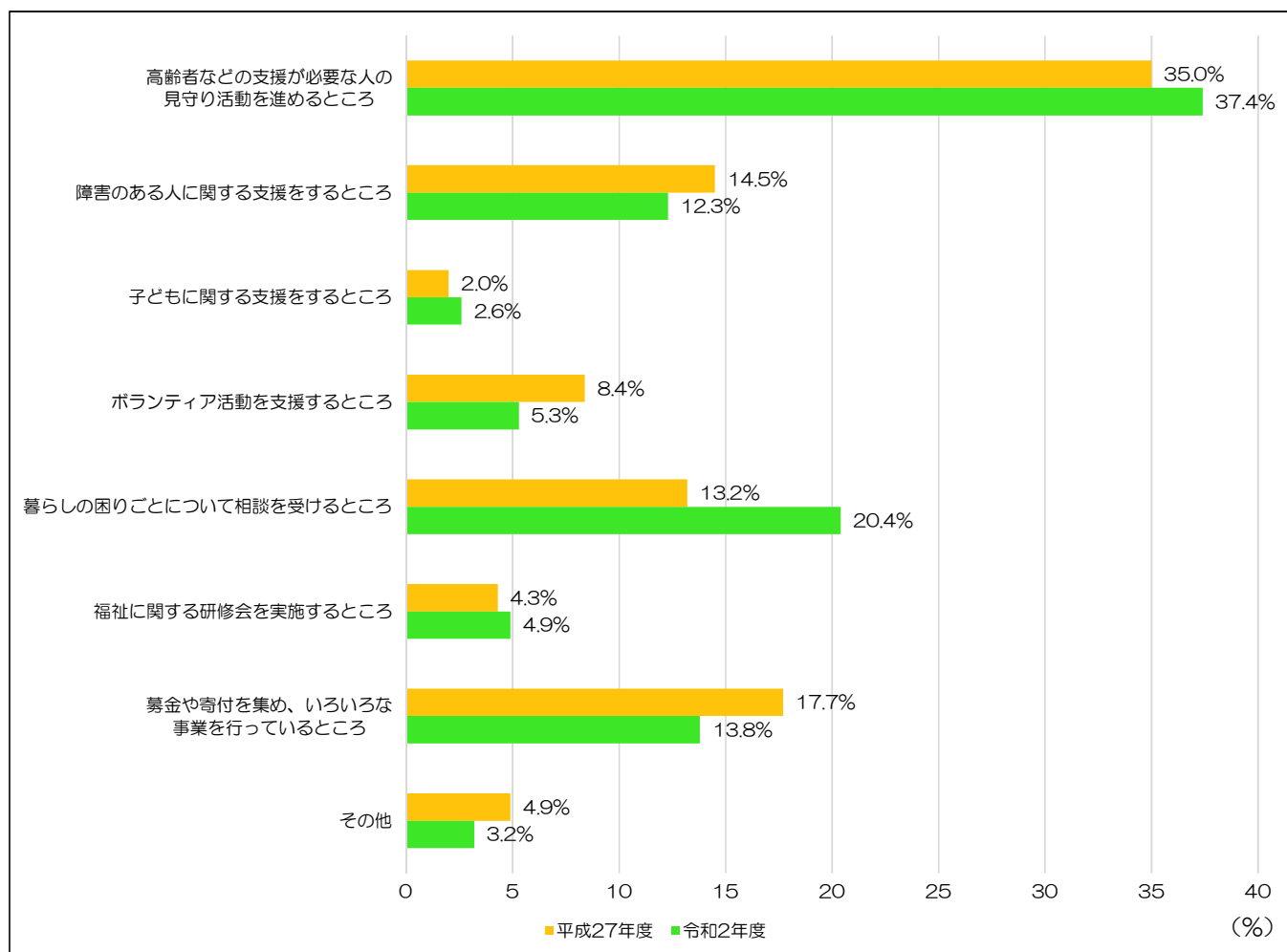
「社会福祉協議会の広報誌を見たことがある」が59.5%と過半数を占めており、その他に比べると最も多くなっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

問26-(2) 防府市社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ	266	185	35.0%	37.4%
障害のある人に関する支援をすること	110	61	14.5%	12.3%
子どもに関する支援をすること	15	13	2.0%	2.6%
ボランティア活動を支援すること	64	26	8.4%	5.3%
暮らしの困りごとについて相談を受けるところ	100	101	13.2%	20.4%
福祉に関する研修会を実施すること	33	24	4.3%	4.9%
募金や寄付を集め、いろいろな事業を行っているところ	134	68	17.7%	13.8%
その他	37	16	4.9%	3.2%
合 計	759	494	N=759	N=494



〔概要〕

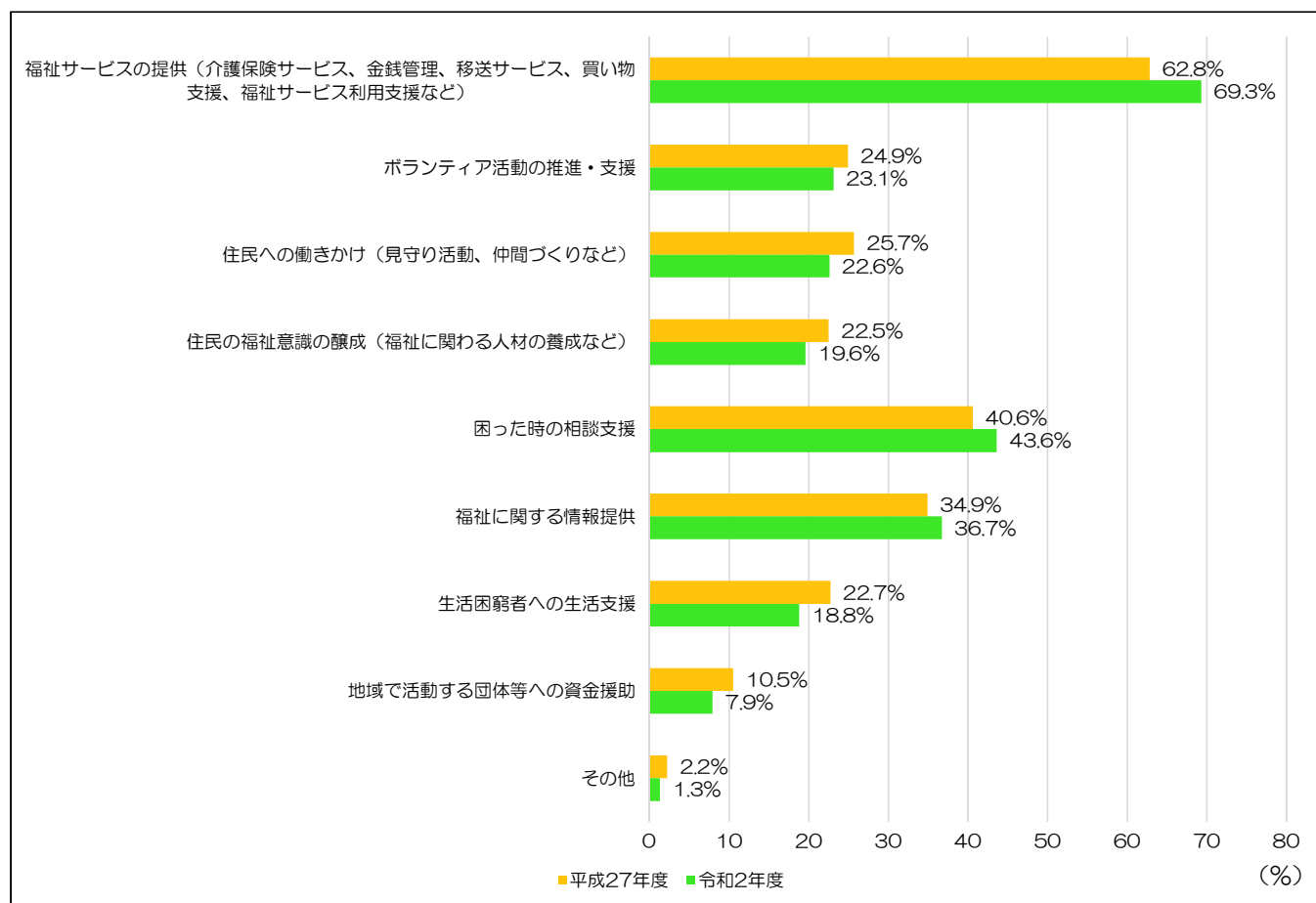
「高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ」が37.4%と最も多く、次に「暮らしの困りごとについて相談を受けるところ」が20.4%となっている。

〔前回調査との比較〕

「暮らしの困りごとについて相談を受けるところ」が7.2ポイント増加している。

問27 今後、防府市社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
福祉サービスの提供（介護保険サービス、金銭管理、移送サービス、買い物支援、福祉サービス利用支援など）	798	604	62.8%	69.3%
ボランティア活動の推進・支援	317	201	24.9%	23.1%
住民への働きかけ（見守り活動、仲間づくりなど）	327	197	25.7%	22.6%
住民の福祉意識の醸成（福祉に関わる人材の養成など）	286	171	22.5%	19.6%
困った時の相談支援	516	380	40.6%	43.6%
福祉に関する情報提供	443	320	34.9%	36.7%
生活困窮者への生活支援	288	164	22.7%	18.8%
地域で活動する団体等への資金援助	134	69	10.5%	7.9%
その他	28	11	2.2%	1.3%
合計	3,137	2,117	N=1,271	N=872



〔概要〕

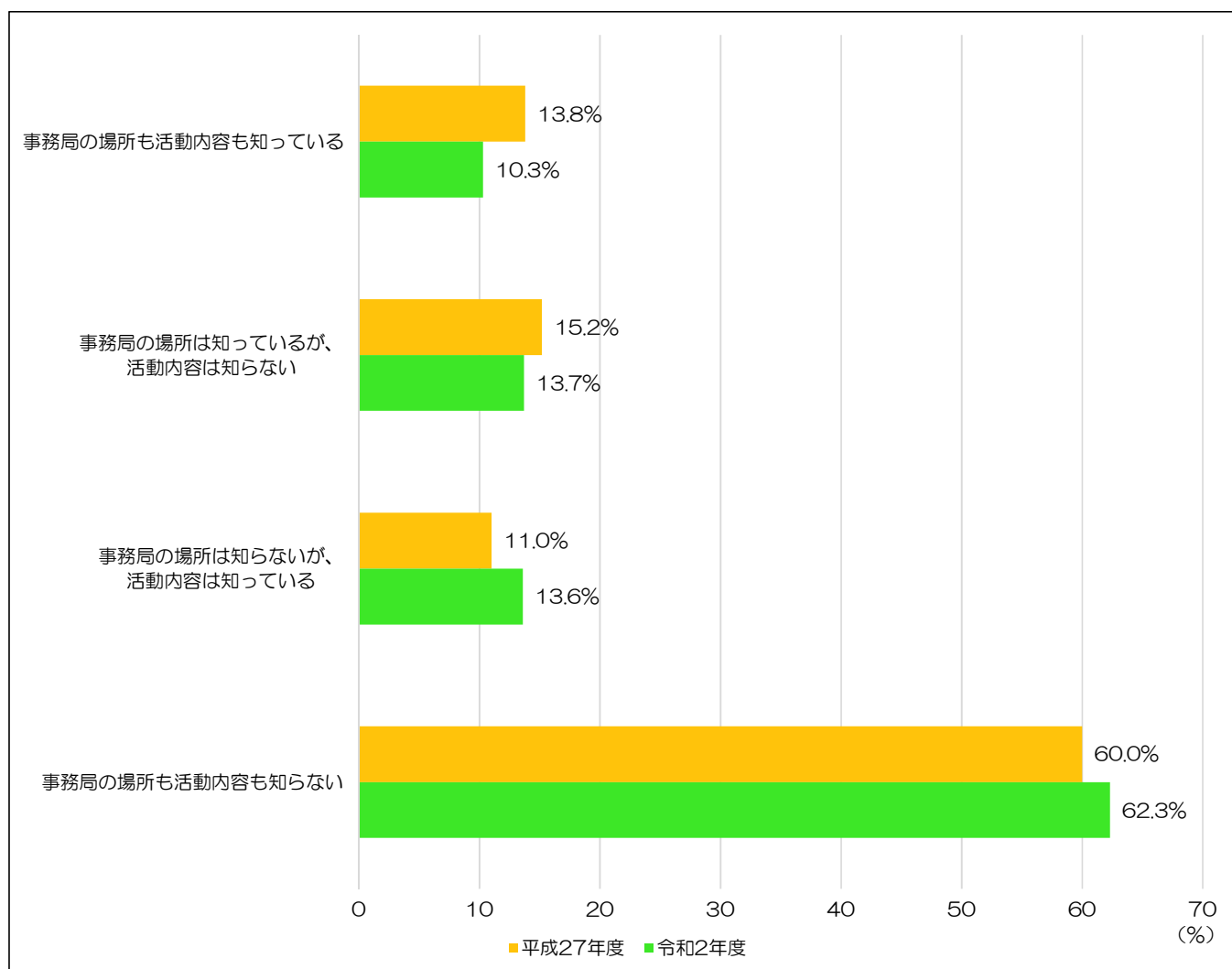
「福祉サービスの提供」が69.3%と最も多く、次に「困った時の相談支援」が43.6%となっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

問28 市内の全地区（15地区）に地区社会福祉協議会がありますが、あなたが住んでいる地区社会福祉協議会の事務局の場所及び活動内容をご存知ですか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
事務局の場所も活動内容も知っている	163	87	13.8%	10.3%
事務局の場所は知っているが、活動内容は知らない	179	116	15.2%	13.7%
事務局の場所は知らないが、活動内容は知っている	130	115	11.0%	13.6%
事務局の場所も活動内容も知らない	708	526	60.0%	62.3%
合 計	1,180	844	100.0%	99.9%



〔概要〕

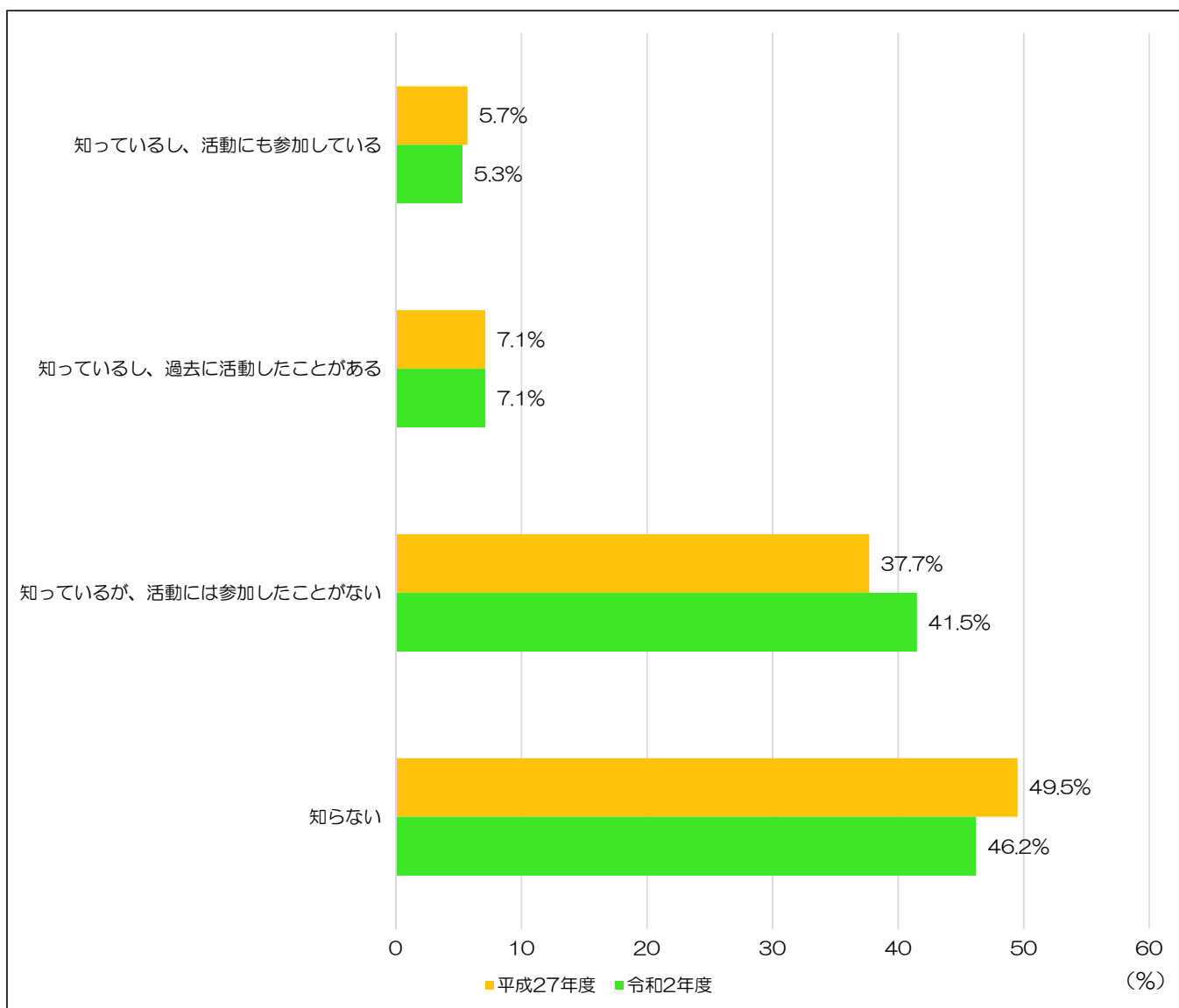
「事務局の場所も活動内容も知らない」が62.3%と最も多く、「事務局の場所は知っているが活動内容は知らない」の13.7%を含めると、活動内容を知らない割合が約8割（76.0%）となっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

問29 地域の助け合い組織として自治会での福祉活動を推進していることをご存知ですか。
(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
知っているし、活動にも参加している	68	45	5.7%	5.3%
知っているし、過去に活動したことがある	85	60	7.1%	7.1%
知っているが、活動には参加したことがない	450	352	37.7%	41.5%
知らない	592	392	49.5%	46.2%
合計	1,195	849	100.0%	100.1%



〔概要〕

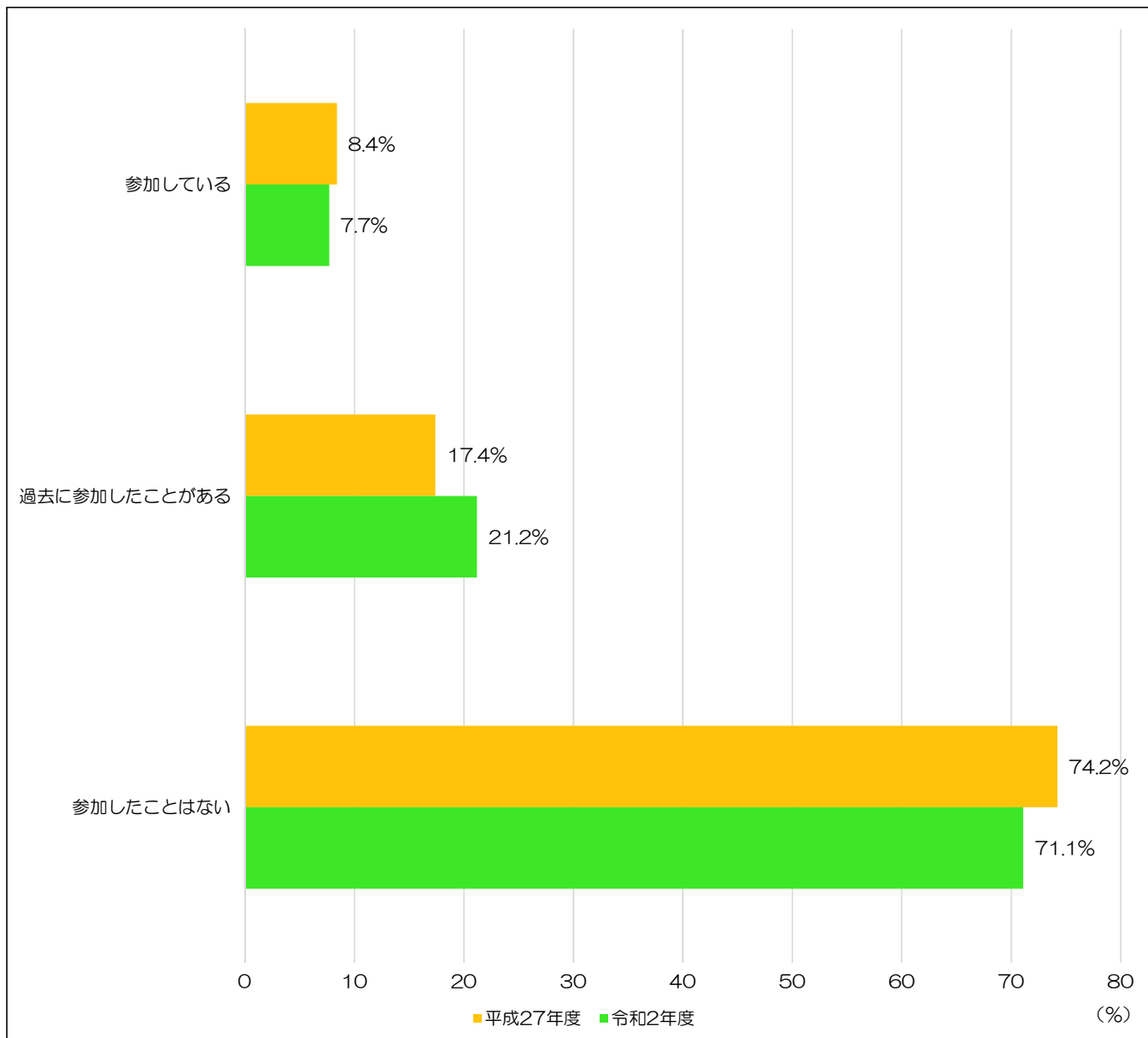
「知らない」が46.2%と最も多く、「知っているが、活動には参加したことがない」の41.5%を含めるとか自治会で福祉活動をしたことがない人の割合が約9割（87.7%）となっている。

〔前回調査との比較〕

概ね回答割合に差はみられないが、「知らない」が3.3ポイント減少している。

問30 ボランティア活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
参加している	100	62	8.4%	7.7%
過去に参加したことがある	206	171	17.4%	21.2%
参加したことはない	879	572	74.2%	71.1%
合計	1,185	805	100.0%	100.0%



〔概要〕

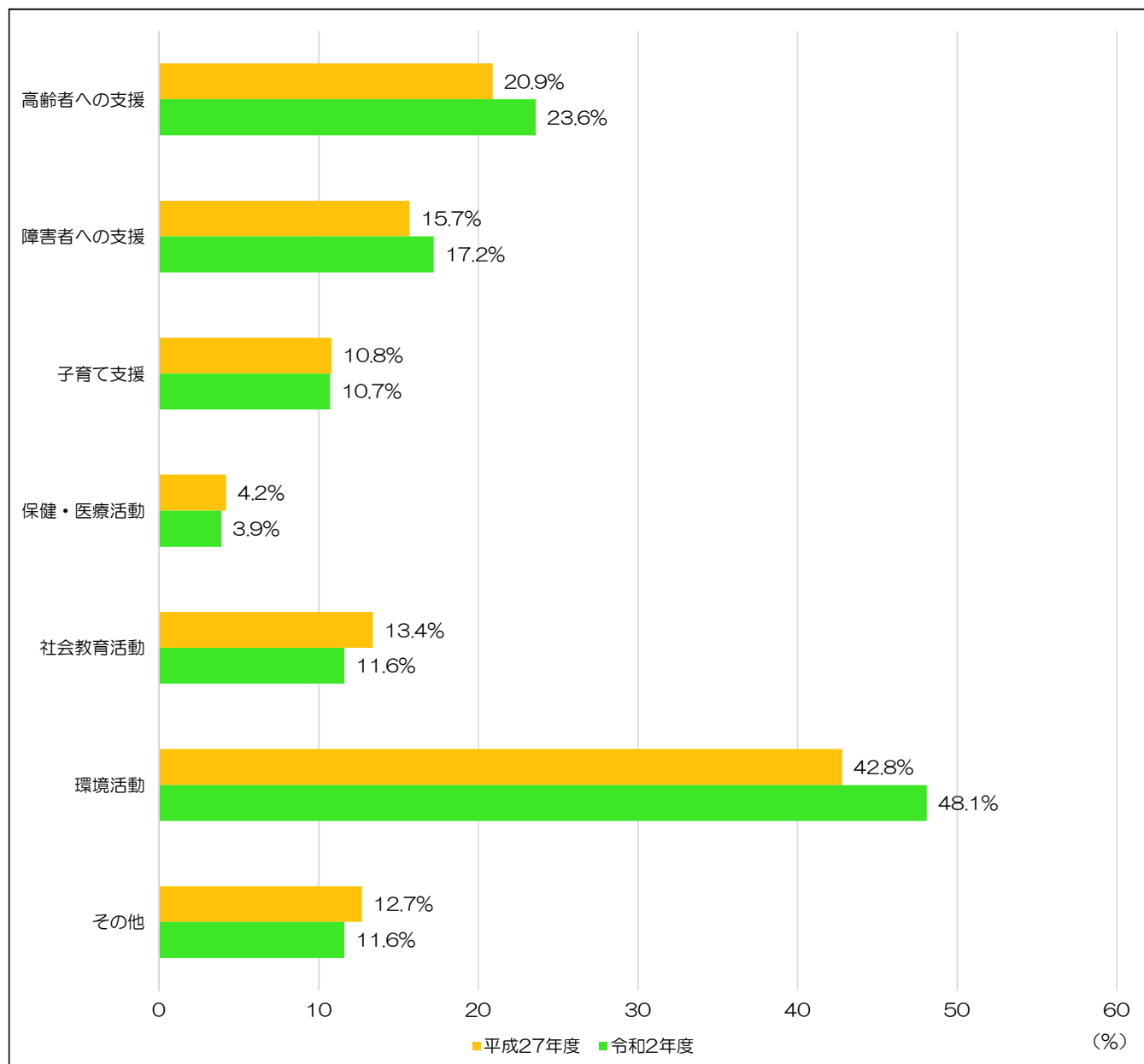
「参加したことはない」が71.1%と最も多く、次に「過去に参加したことがある」（21.2%）、「参加している」（7.7%）となっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられない。

問30ー(1) どのようなボランティア活動をしていますか(いましたか)。
(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
高齢者への支援	64	55	20.9%	23.6%
障害者への支援	48	40	15.7%	17.2%
子育て支援	33	25	10.8%	10.7%
保健・医療活動	13	9	4.2%	3.9%
社会教育活動	41	27	13.4%	11.6%
環境活動	131	112	42.8%	48.1%
その他	39	27	12.7%	11.6%
合計	369	295	N=306	N=233



〔概要〕

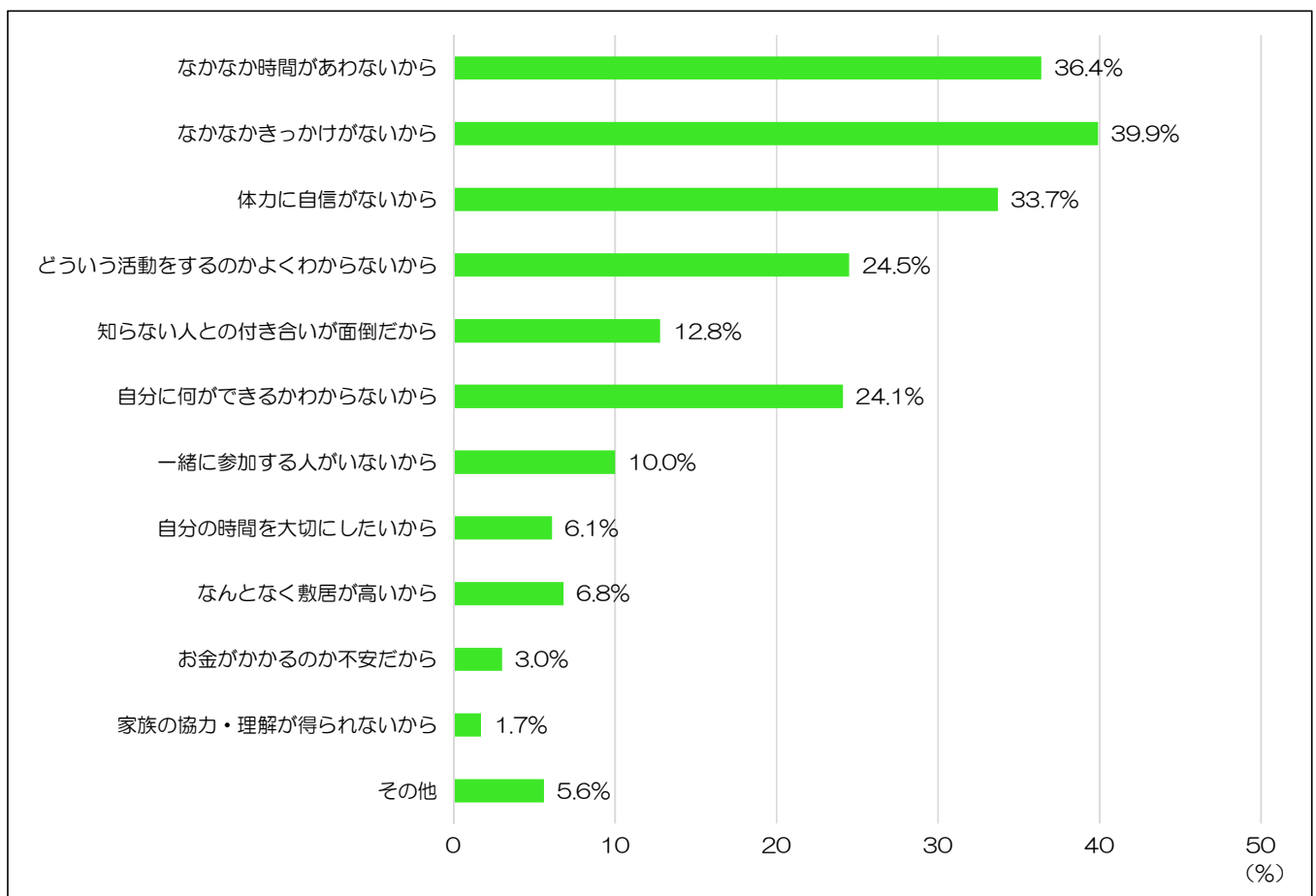
「環境活動」が48.1%と最も多く、次に「高齢者への支援」が23.6%となっている。

〔前回調査との比較〕

回答割合にあまり差はみられないが、「環境活動」が5.3ポイント増加している。

問30ー(2) 参加されなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数	回答割合
なかなか時間があわないから	208	36.4%
なかなかきっかけがないから	228	39.9%
体力に自信がないから	193	33.7%
どういう活動をするのかよくわからないから	140	24.5%
知らない人との付き合いが面倒だから	73	12.8%
自分に何ができるかわからないから	138	24.1%
一緒に参加する人がいないから	57	10.0%
自分の時間を大切にしたいから	35	6.1%
なんとなく敷居が高いから	39	6.8%
お金がかかるのか不安だから	17	3.0%
家族の協力・理解が得られないから	10	1.7%
その他	32	5.6%
合 計	1,170	N=572

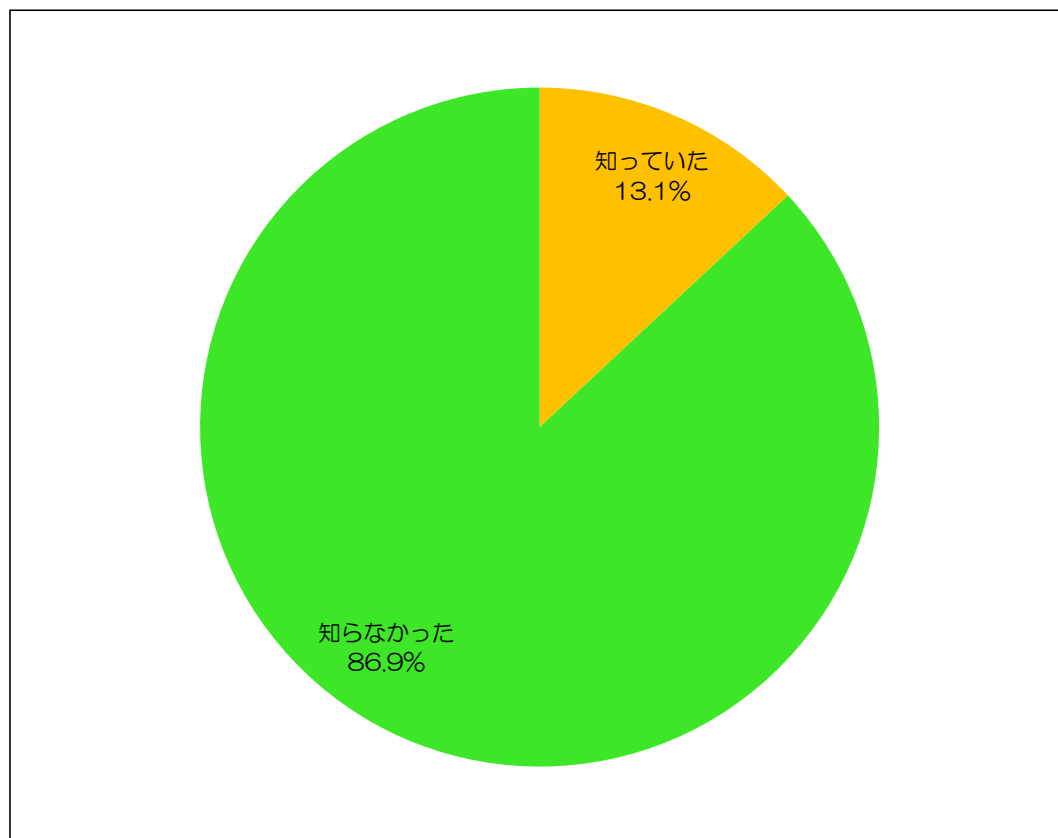


〔概要〕

「なかなかきっかけがない」が39.9%と最も多く、次に「なかなか時間があわない」が36.4%、「体力に自信がない」が33.7%となっている。

問31 あなたは、「防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」という計画をご存知でしたか。
 (あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数	回答割合
知っていた	109	13.1%
知らなかった	726	86.9%
合計	835	100.0%

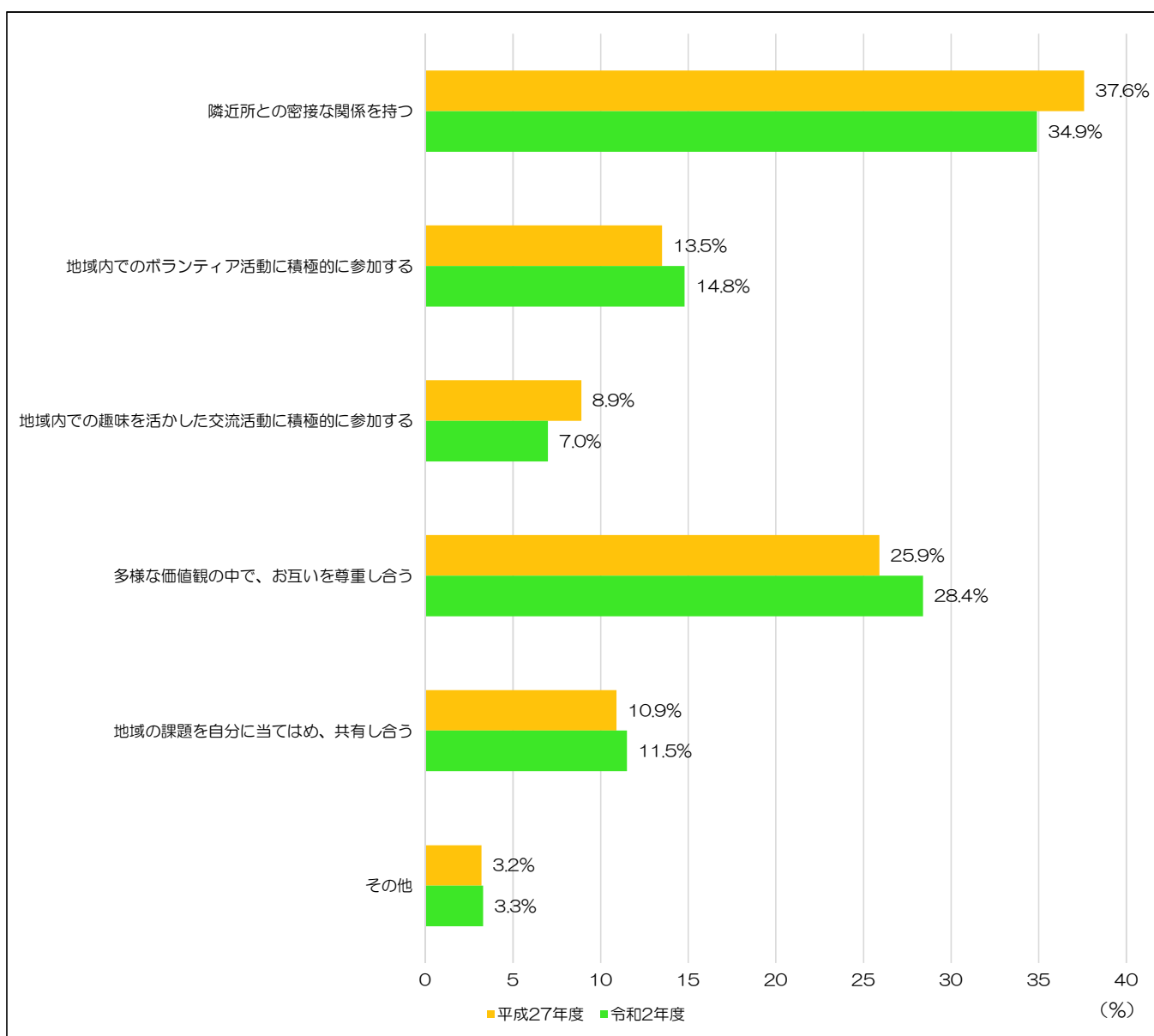


〔概要〕

「知らなかった」が約9割（86.9%）と高く、「知っていた」（13.1%）より73.8ポイント」多い。

問32 地域福祉を推進するためにあなたご自身の役割として重要だと思われるものは何ですか。
(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
隣近所との密接な関係を持つ	406	275	37.6%	34.9%
地域内でのボランティア活動に積極的に参加する	146	117	13.5%	14.8%
地域内での趣味を活かした交流活動に積極的に参加する	96	55	8.9%	7.0%
多様な価値観の中で、お互いを尊重し合う	280	224	25.9%	28.4%
地域の課題を自分に当てはめ、共有し合う	118	91	10.9%	11.5%
その他	35	26	3.2%	3.3%
合 計	1,081	788	100.0%	99.9%

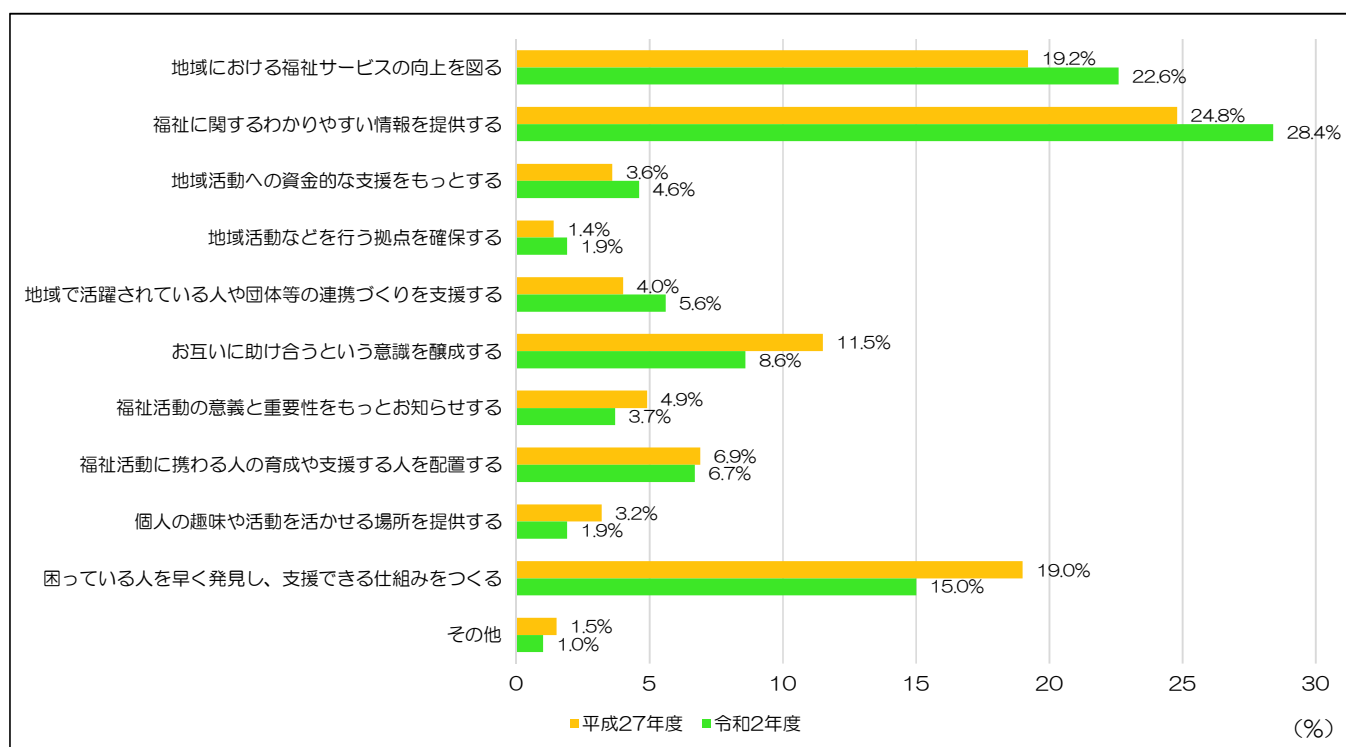


〔概要〕

「隣近所との密接な関係を持つ」が34.9%と最も多く、次に「多様な価値観の中でお互いを尊重し合う」が28.4%となっている。

問33 地域福祉を推進するために、行政の役割として重要だと思われるものは何ですか。
(最も重要視しているもの1つに○)

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
地域における福祉サービスの向上を図る	211	181	19.2%	22.6%
福祉に関するわかりやすい情報を提供する	272	228	24.8%	28.4%
地域活動への資金的な支援をもっとする	40	37	3.6%	4.6%
地域活動などを行う拠点を確保する	15	15	1.4%	1.9%
地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する	44	45	4.0%	5.6%
お互いに助け合うという意識を醸成する	126	69	11.5%	8.6%
福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする	54	30	4.9%	3.7%
福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する	76	54	6.9%	6.7%
個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する	35	15	3.2%	1.9%
困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる	208	120	19.0%	15.0%
その他	16	8	1.5%	1.0%
合計	1,097	802	100.0%	100.0%



〔概要〕

「福祉に関するわかりやすい情報を提供する」が28.4%と最も多く、次に「地域における福祉サービスの向上を図る」が22.6%となっている。

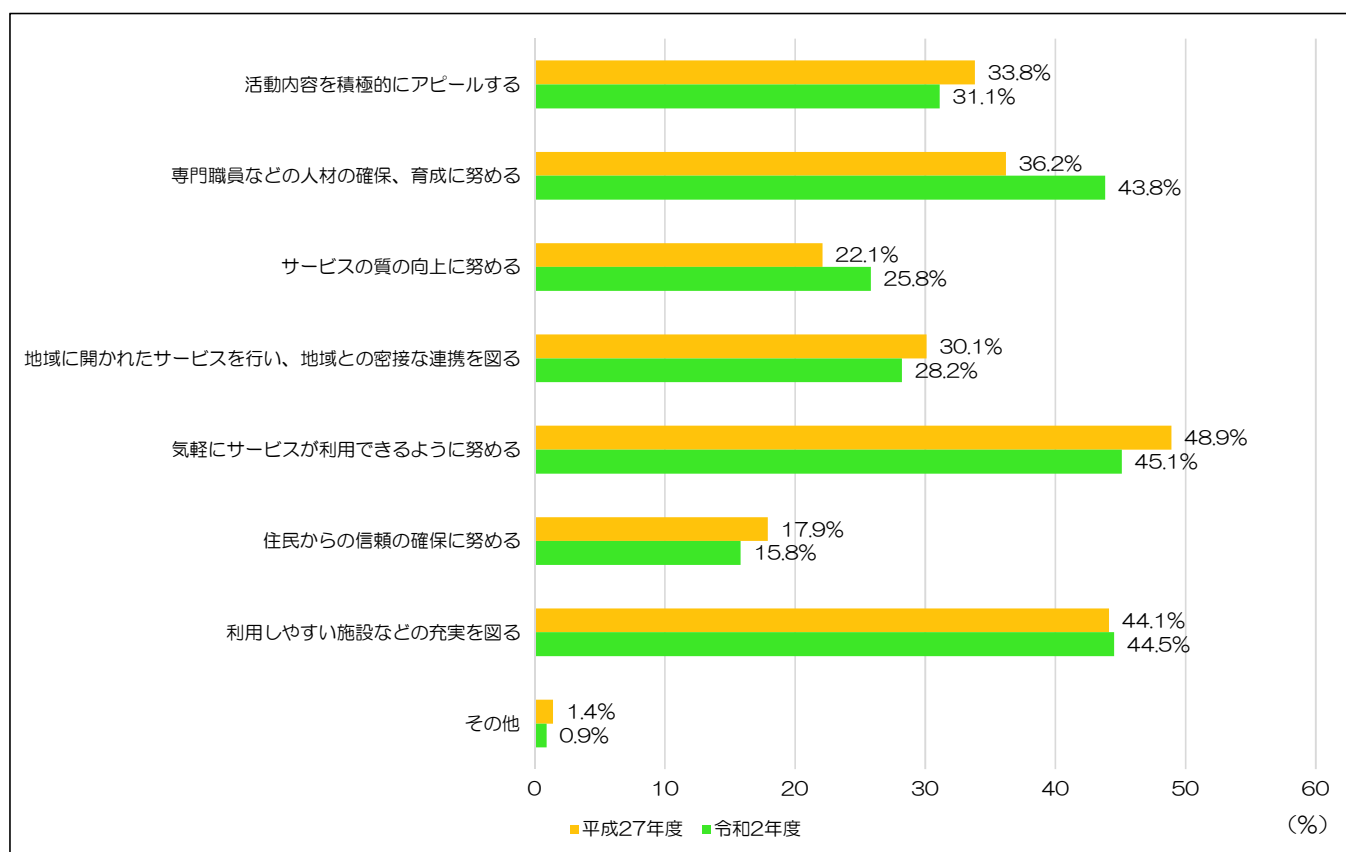
〔前回との比較〕

「福祉に関するわかりやすい情報を提供する」(3.6ポイント増)、「地域における福祉サービスの向上を図る」(3.4ポイント増)などが増加しているが、「困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる」(4ポイント減)、「お互いに助け合うという意識を醸成する」(2.9ポイント減)などが減少している。

問34 地域福祉を推進するために、社会福祉協議会や社会福祉施設（例：特別養護老人ホーム、障害者支援施設、保育所等）などの役割として重要だと思われるものは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数		回答割合	
	平成27年度	令和2年度	平成27年度	令和2年度
活動内容を積極的にアピールする	429	271	33.8%	31.1%
専門職員などの人材の確保、育成に努める	460	382	36.2%	43.8%
サービスの質の向上に努める	281	225	22.1%	25.8%
地域に開かれたサービスを行い、地域との密接な連携を図る	382	246	30.1%	28.2%
気軽にサービスが利用できるように努める	621	393	48.9%	45.1%
住民からの信頼の確保に努める	227	138	17.9%	15.8%
利用しやすい施設などの充実を図る	561	388	44.1%	44.5%
その他	18	8	1.4%	0.9%
合計	2,979	2,051	N=1271	N=872



〔概要〕

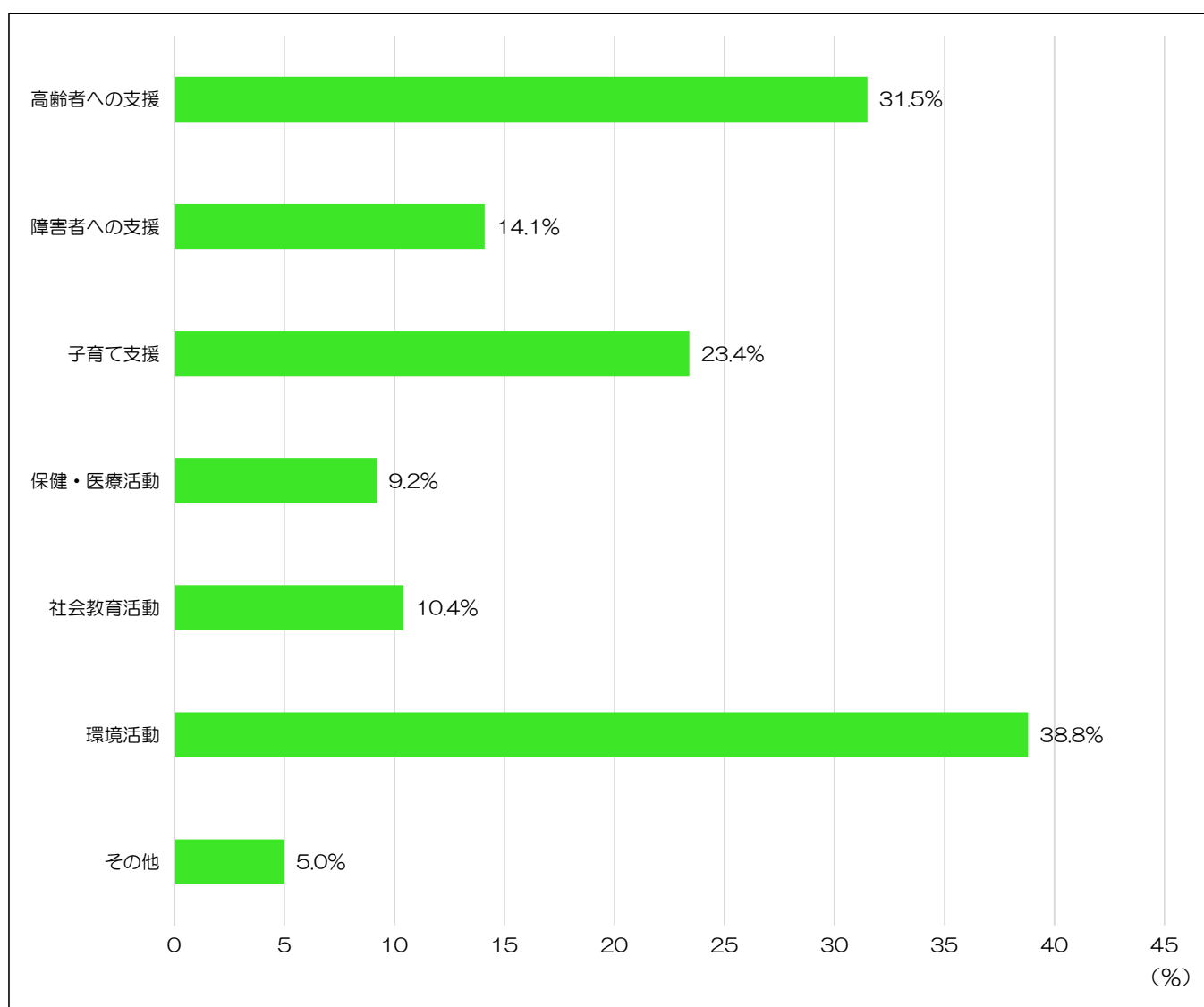
「専門職員などの人材確保、育成に努める」が43.8%、次に「気軽にサービスが利用できるように努める」が45.1%、「利用しやすい施設などの充実を図る」が44.5%と高い割合となっている。

〔前回との比較〕

「専門職などの人材の確保、育成に努める」（7.6ポイント増）、「サービスの質の向上に努める」（3.7ポイント増）などが増加しているが、「気軽にサービスが利用できるように努める」（3.8ポイント減）、「活動内容を積極的にアピールする」（2.7ポイント減）、「住民からの信頼の確保に努める」（2.1ポイント減）などが減少している。

問35 あなたは、今後NPOやボランティア活動に参加するとしたらこういったものに関することをしてみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数	回答割合
高齢者への支援	275	31.5%
障害者への支援	123	14.1%
子育て支援	204	23.4%
保健・医療活動	80	9.2%
社会教育活動	91	10.4%
環境活動	338	38.8%
その他	44	5.0%
合計	1,155	N=872



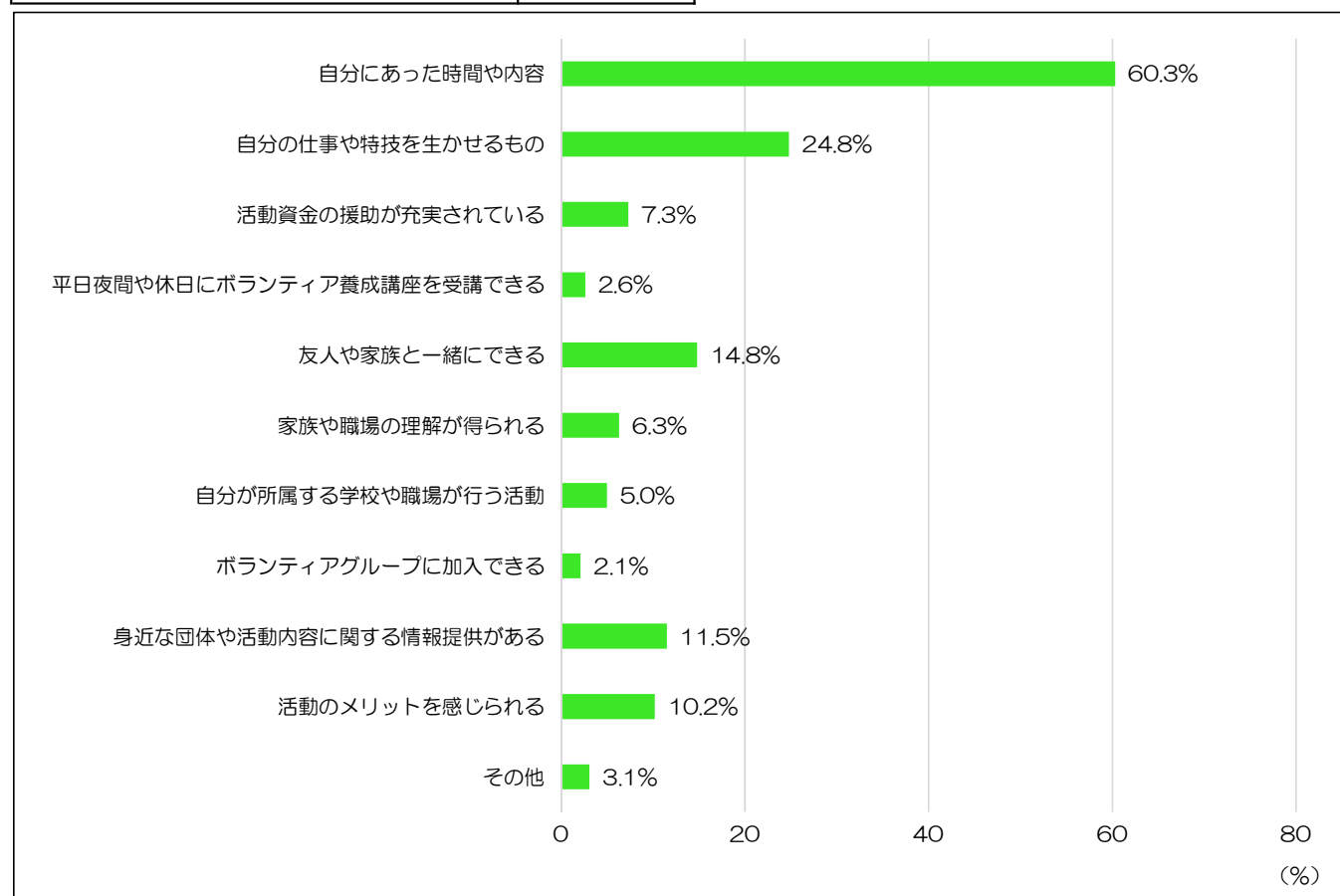
〔概要〕

「環境活動」が38.8%と最も多く、次に「高齢者への支援」が31.5%となっている。

問36 あなたは、どのような条件が整えばNPOやボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。

(あてはまるもの2つまで○)

項 目	回答数	回答割合
自分にあった時間や内容	526	60.3%
自分の仕事や特技を生かせるもの	216	24.8%
活動資金の援助が充実されている	64	7.3%
平日夜間や休日にボランティア養成講座を受講できる	23	2.6%
友人や家族と一緒にできる	129	14.8%
家族や職場の理解が得られる	55	6.3%
自分が所属する学校や職場が行う活動	44	5.0%
ボランティアグループに加入できる	18	2.1%
身近な団体や活動内容に関する情報提供がある	100	11.5%
活動のメリットを感じられる	89	10.2%
その他	27	3.1%
合 計	1,291	N=872

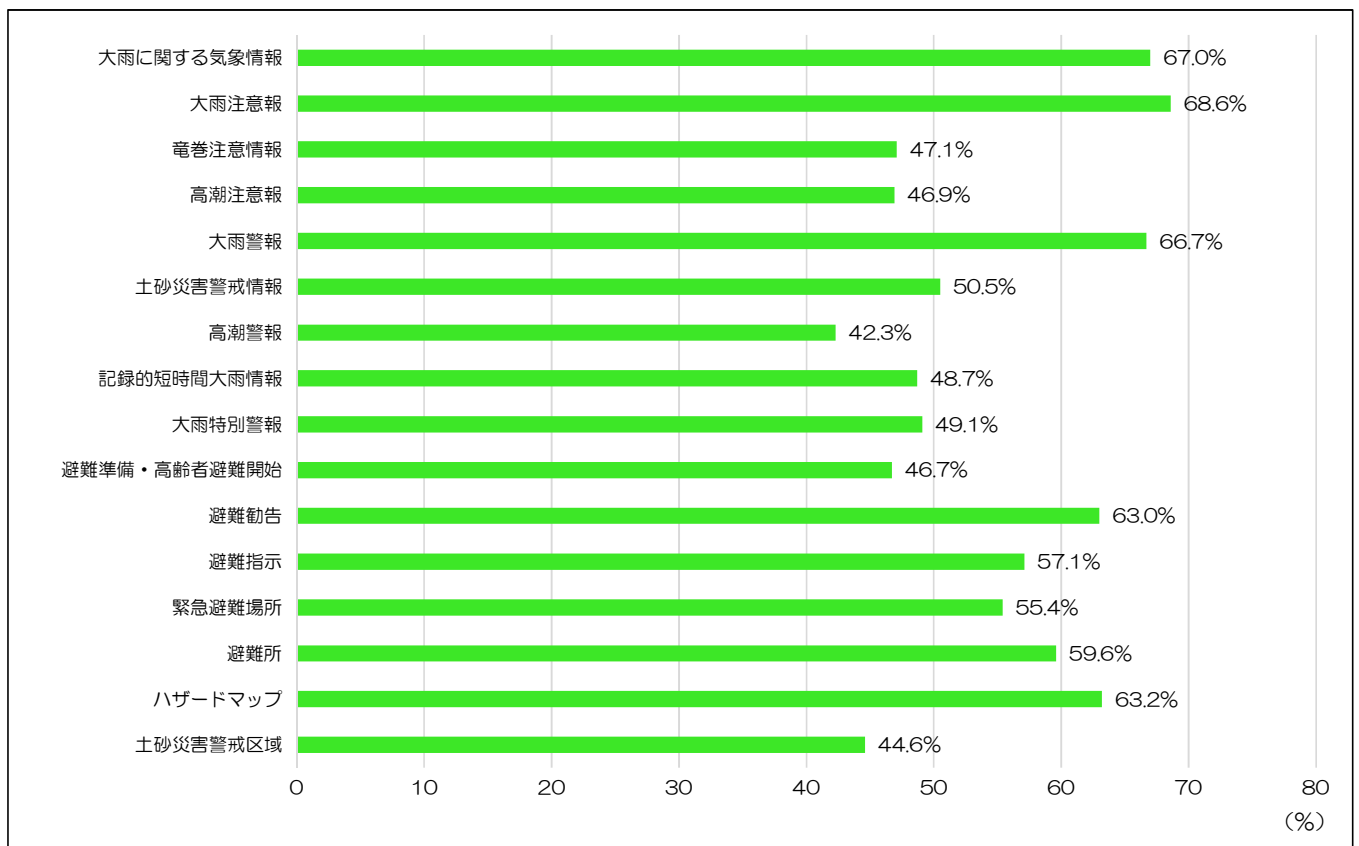


〔概要〕

「自分にあった時間や内容」が60.3%と最も多く、次に「自分の仕事や特技を生かせるもの」が24.8%となっている。

問37 次の防災に関する言葉の意味を知っていますか。聞いたことがあるものではなく、ある程度内容がわかっているものすべてに○をしてください

項 目	回答数	回答割合
大雨に関する気象情報	584	67.0%
大雨注意報	598	68.6%
竜巻注意情報	411	47.1%
高潮注意報	409	46.9%
大雨警報	582	66.7%
土砂災害警戒情報	440	50.5%
高潮警報	369	42.3%
記録的短時間大雨情報	425	48.7%
大雨特別警報	428	49.1%
避難準備・高齢者避難開始	407	46.7%
避難勧告	549	63.0%
避難指示	498	57.1%
緊急避難場所	483	55.4%
避難所	520	59.6%
ハザードマップ	551	63.2%
土砂災害警戒区域	389	44.6%
合計	7,643	N=872

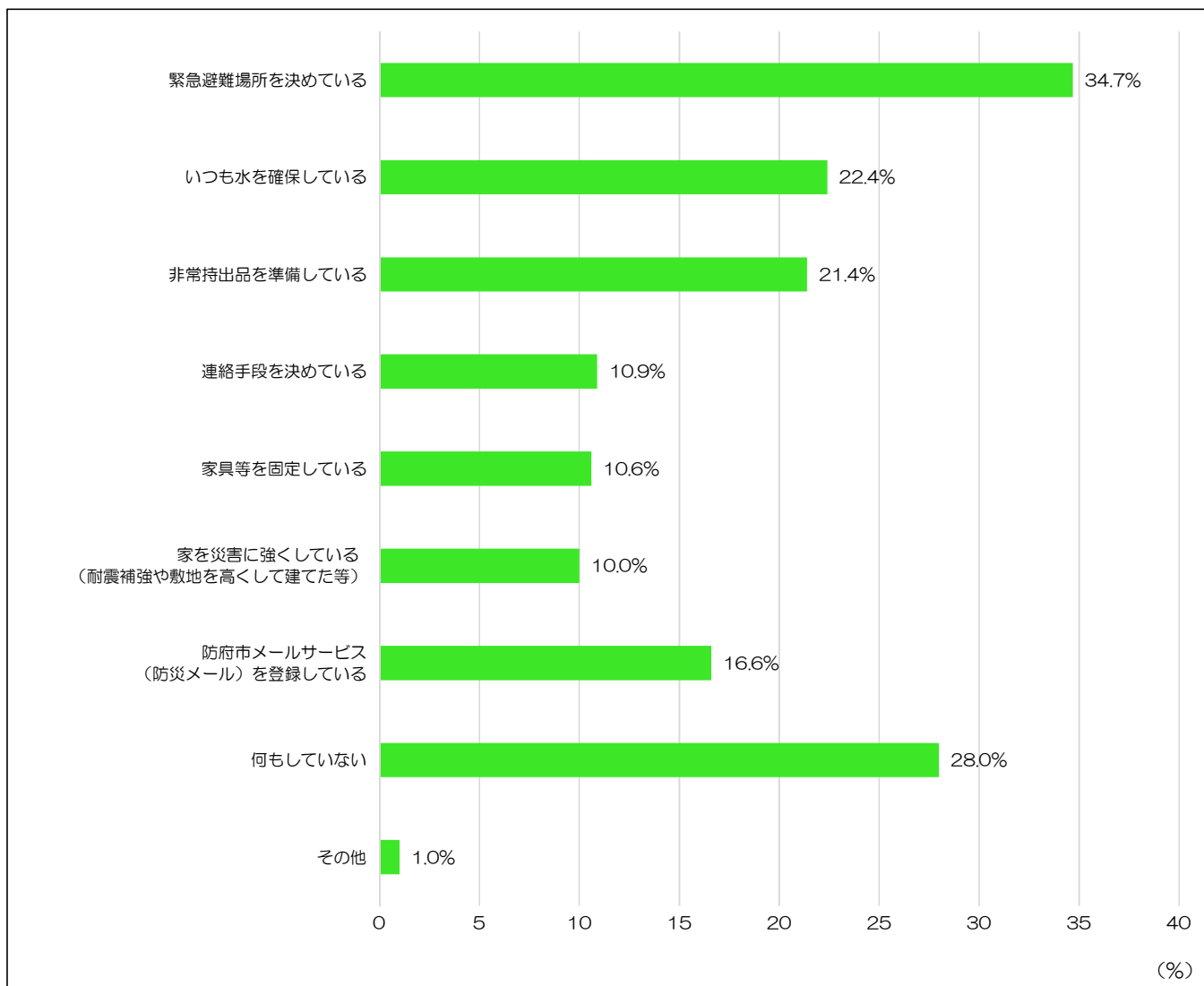


〔概要〕

どの項目も約半数の割合となっている。

問38 災害に対して何を準備していますか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数	回答割合
緊急避難場所を決めている	303	34.7%
いつも水を確保している	195	22.4%
非常持出品を準備している	187	21.4%
連絡手段を決めている	95	10.9%
家具等を固定している	92	10.6%
家を災害に強くしている （耐震補強や敷地を高くして建てた等）	87	10.0%
防府市メールサービス （防災メール）を登録している	145	16.6%
何もしていない	244	28.0%
その他	9	1.0%
合 計	1,357	N=872

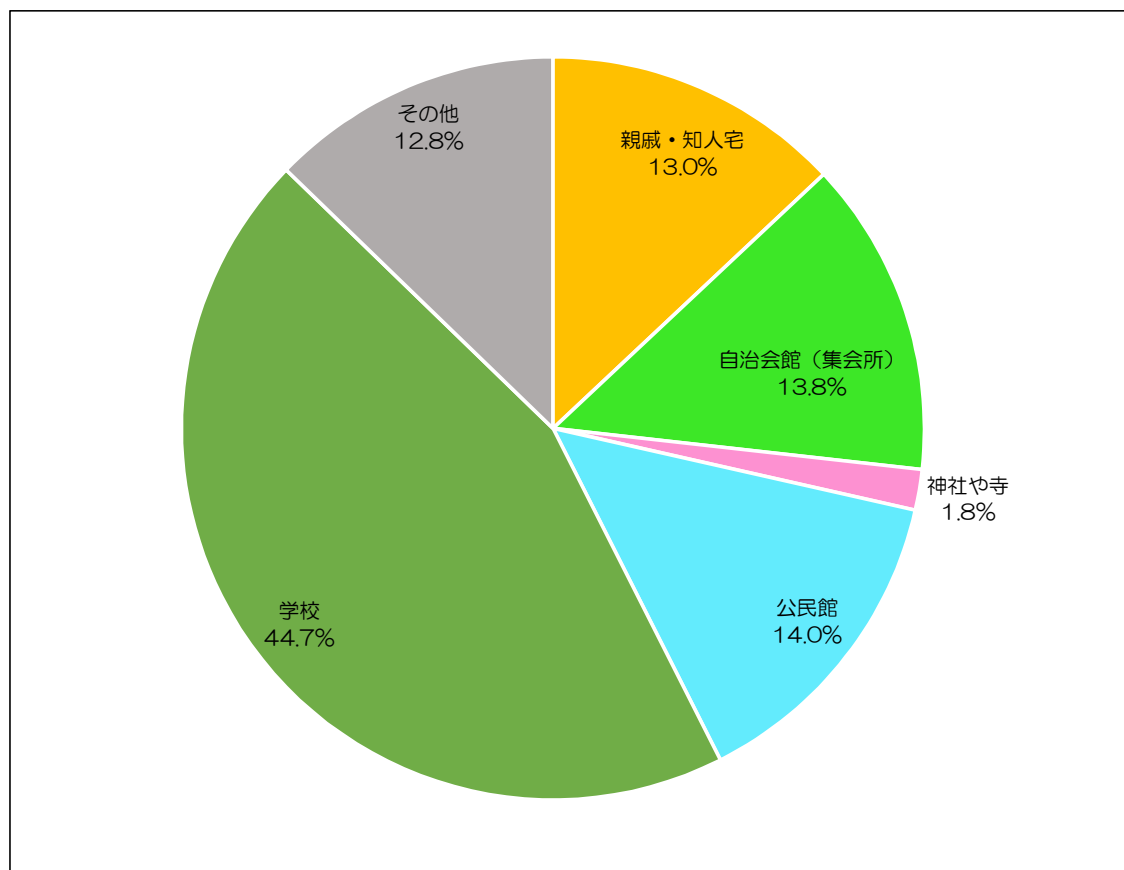


〔概要〕

「緊急避難場所を決めている」が34.7%と最も多く、次に「何もしていない」が28%となっている。

問３９ 避難勧告が出たときや災害発生時、まず、どこに避難しますか。（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
親戚・知人宅	103	13.0%
自治会館（集会所）	109	13.8%
神社や寺	14	1.8%
公民館	111	14.0%
学校	354	44.7%
その他	101	12.8%
合計	792	100.1%

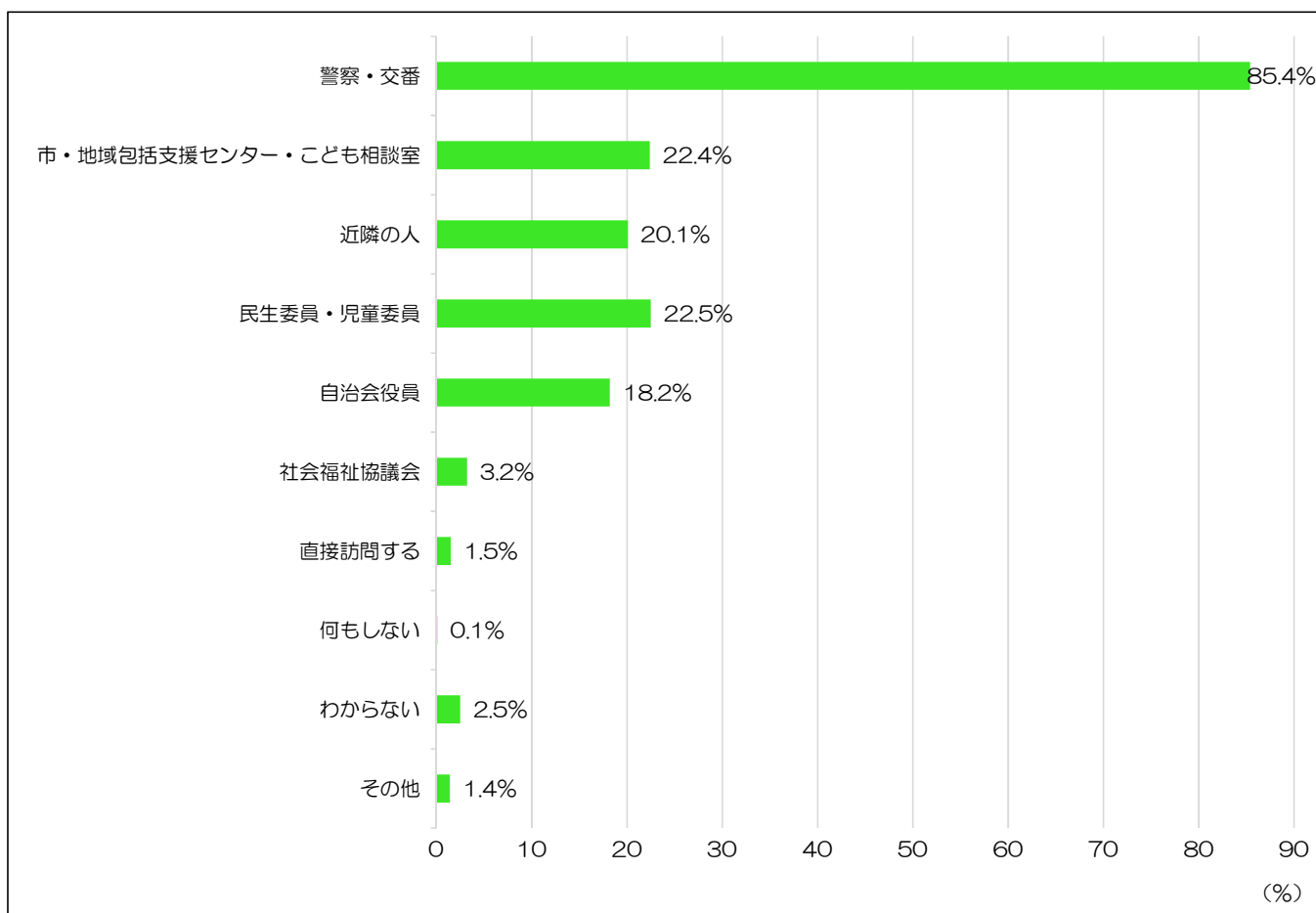


〔概要〕

「学校」が44.7%と最も多く、次に「公民館」（14.0%）、「自治会館」（13.8%）、「親戚・知人宅」（13.0%）などとなっている。

問４０ あなたが周辺で孤独死や児童虐待などに遭遇した時、まず、どこに連絡等をすべきだと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

項 目	回答数	回答割合
警察・交番	745	85.4%
市・地域包括支援センター・こども相談室	195	22.4%
近隣の人	175	20.1%
民生委員・児童委員	196	22.5%
自治会役員	159	18.2%
社会福祉協議会	28	3.2%
直接訪問する	13	1.5%
何もしない	1	0.1%
わからない	22	2.5%
その他	12	1.4%
合 計	1,546	N=872

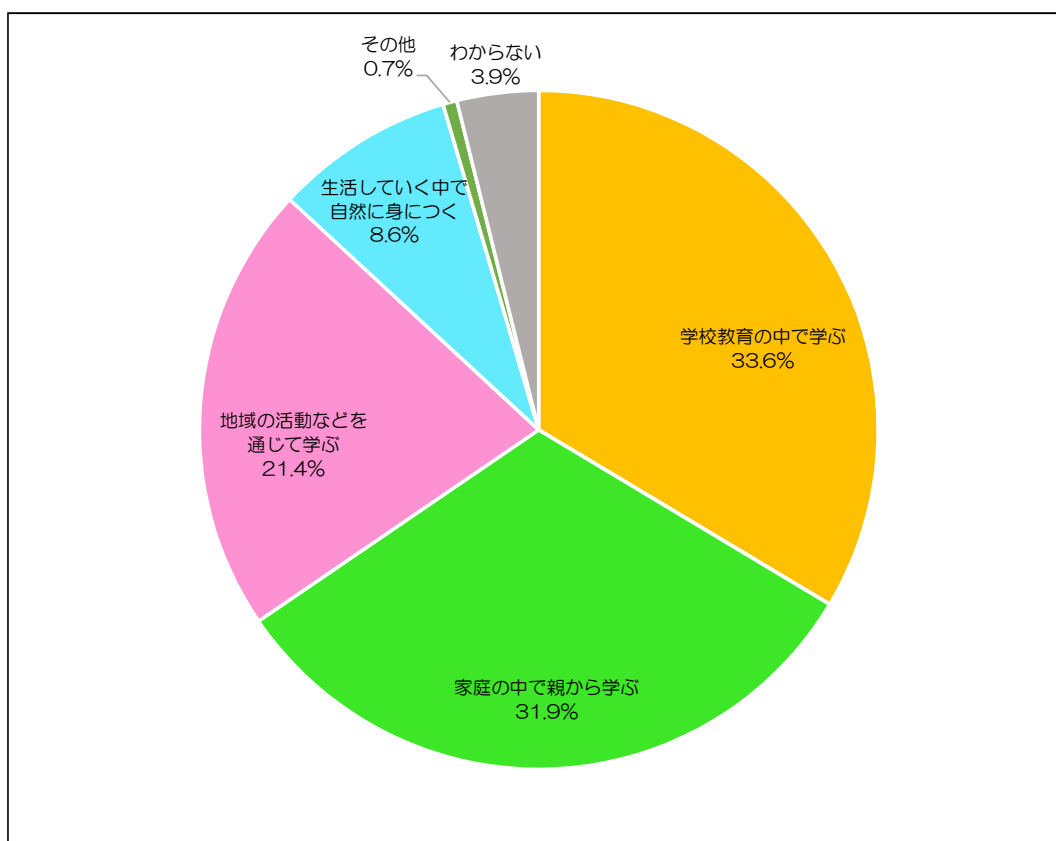


〔概要〕

「警察・交番」が85.4%と最も多く、次に「民生委員・児童委員」（22.5%）、
「市・地域包括支援センター・こども相談室」（22.4%）、「近隣の人」
（20.1%）、「自治会役員」（18.2%）などとなっている。

問４１ 子どもに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）をどのように行うべきだと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
学校教育の中で学ぶ	251	33.6%
家庭の中で親から学ぶ	238	31.9%
地域の活動などを通じて学ぶ	160	21.4%
生活していく中で自然に身につく	64	8.6%
その他	5	0.7%
わからない	29	3.9%
合計	747	100.1%



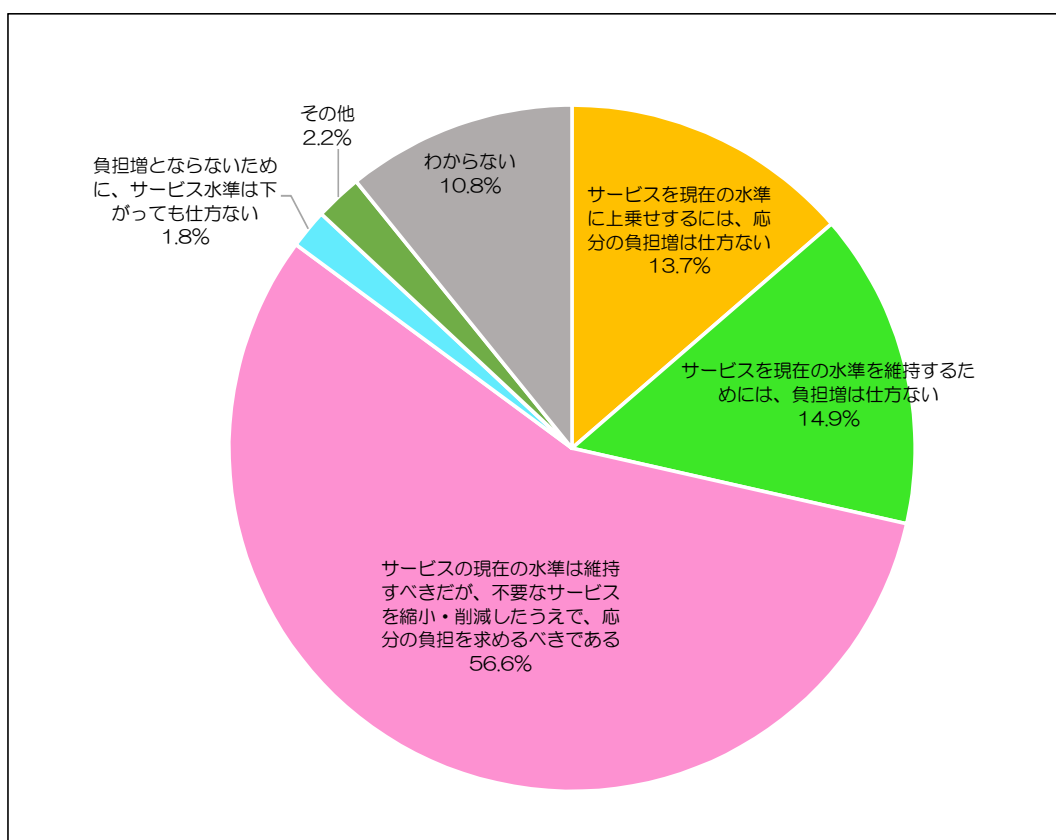
〔概要〕

「学校教育の中で学ぶ」が33.6%と最も多く、次に「家庭の中で親から学ぶ」が31.9%、「地域の活動などを通じて学ぶ」が21.4%などとなっている。

問４２ これからの福祉サービスの水準と費用負担の関係についてどのようにお考えですか。

（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
サービスを現在の水準に上乘せするには、 応分の負担増は仕方ない	111	13.7%
サービスを現在の水準を維持するためには、 負担増は仕方ない	121	14.9%
サービスの現在の水準は維持すべきだが、 不要なサービスを縮小・削減したうえで、 応分の負担を求めるべきである	460	56.6%
負担増とならないために、サービス水準は 下がっても仕方ない	15	1.8%
その他	18	2.2%
わからない	88	10.8%
合計	813	100.0%



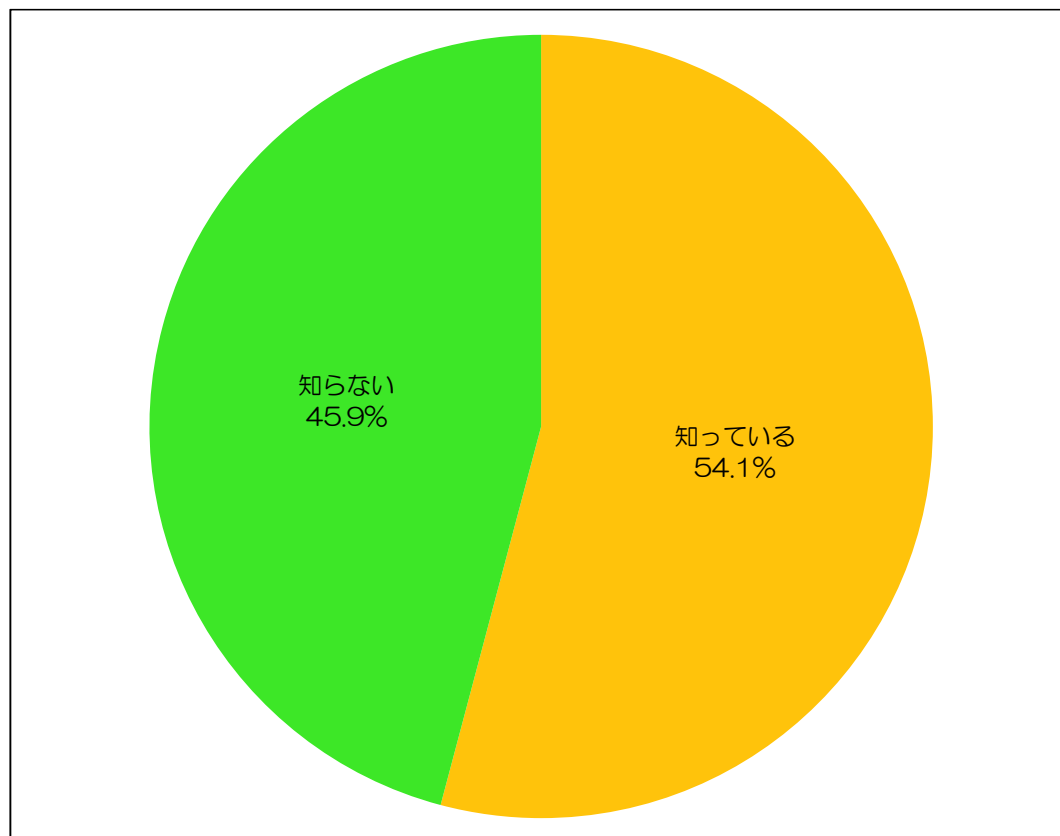
〔概要〕

「サービスの現在の水準は維持すべきだが、不要なサービスを縮小・削減したうえで、応分の負担を求めるべきである」が56.6%と過半数を占めている。

また、「サービスを現在の水準に上乘せするには、応分の負担増は仕方ない」（13.7%）及び「サービスを現在の水準を維持するためには、負担増は仕方ない」（14.9%）を合わせると「負担増は仕方ない」が28.6%となっている。

問４３ 認知症、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない人の権利を守るための「成年後見制度」を知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

項 目	回答数	回答割合
知っている	445	54.1%
知らない	377	45.9%
合計	822	100.0%

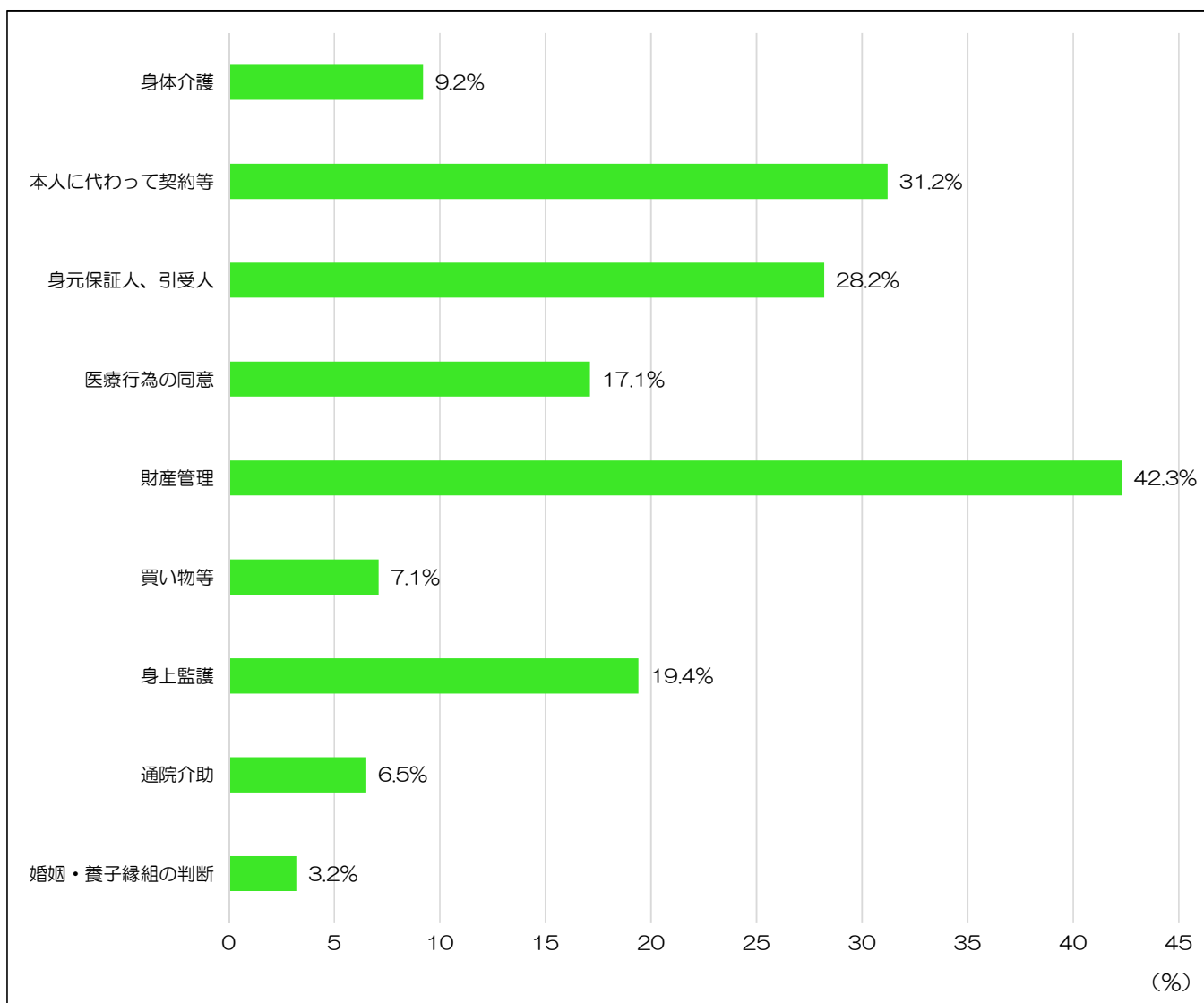


〔概要〕

「知っている」（54.1％）が「知らない」（45.9％）より8.2ポイント多くなっている。

問43ー(1) 成年後見人ができることは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

項 目	回答数	回答割合
身体介護	80	9.2%
本人に代わって契約等	272	31.2%
身元保証人、引受人	246	28.2%
医療行為の同意	149	17.1%
財産管理	369	42.3%
買い物等	62	7.1%
身上監護	169	19.4%
通院介助	57	6.5%
婚姻・養子縁組の判断	28	3.2%
合計	1,432	N=872



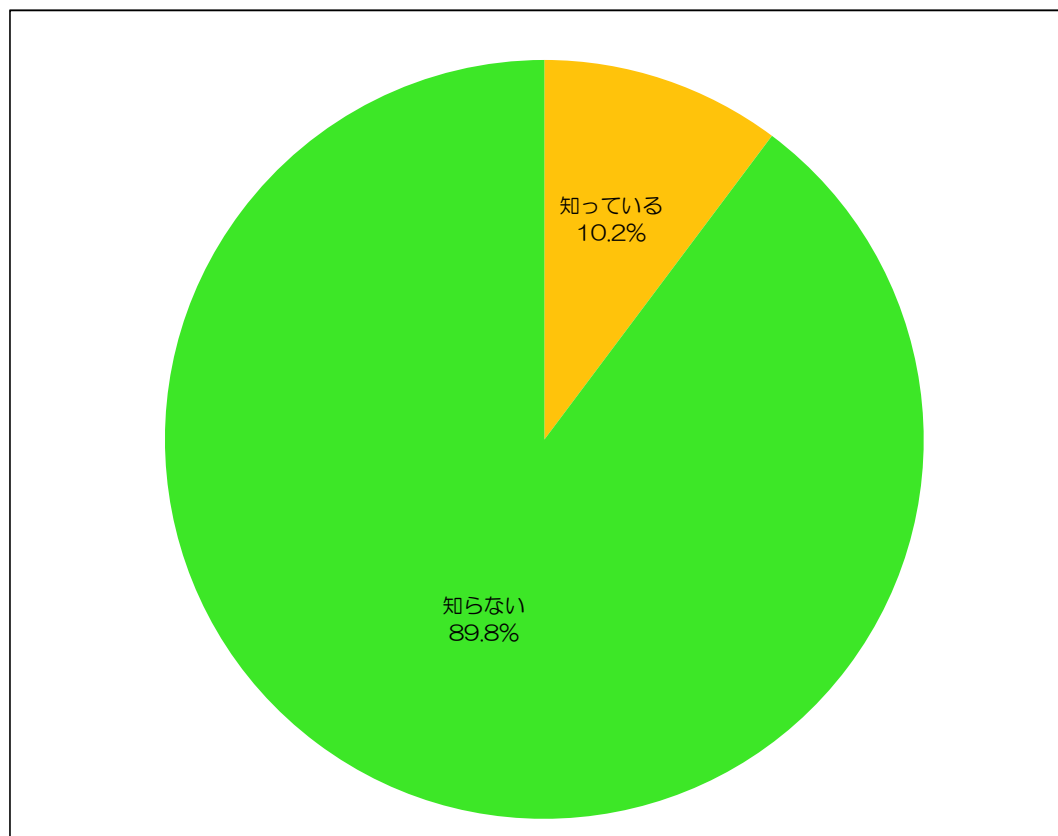
〔概要〕

「財産管理」が42.3%と最も多く、次に「本人に代わって契約等」の31.2%、「身元保証人、引受人」の28.2%などとなっている。

問4-4 親族以外の市民による後見人である「市民後見人」を知っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

項 目	回答数	回答割合
知っている	85	10.2%
知らない	745	89.8%
合計	830	100.0%

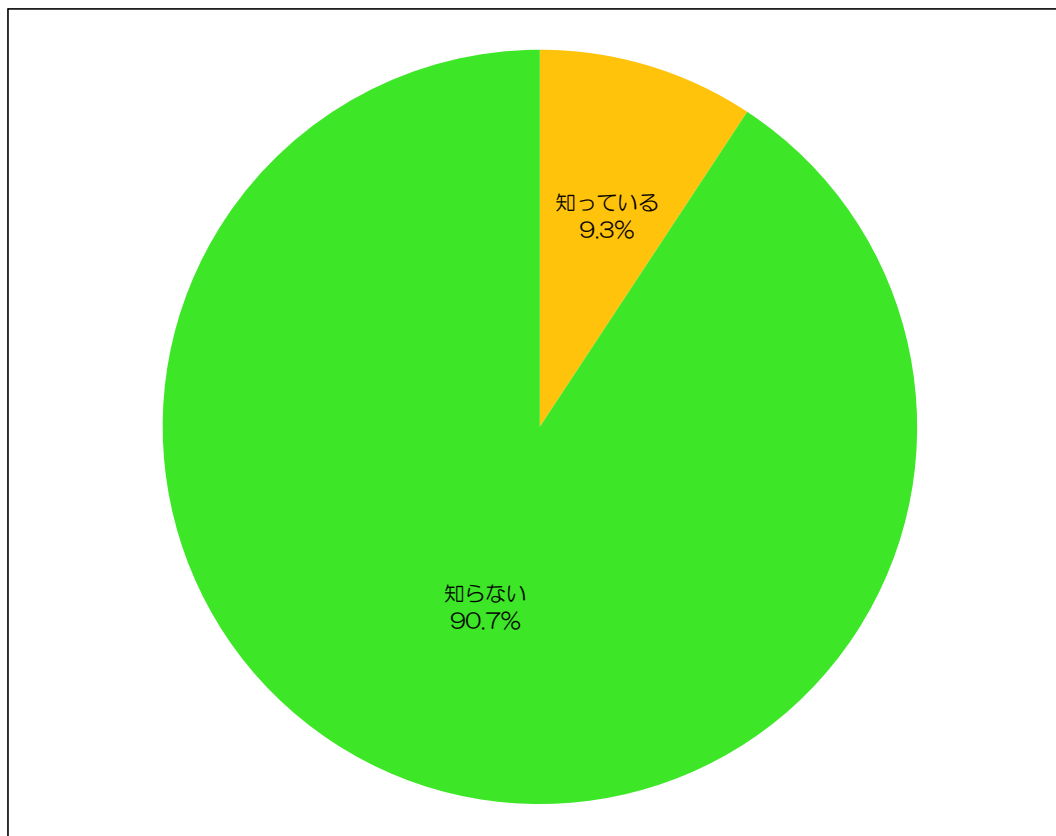


〔概要〕

「知らない」が89.8%と、「知っている」の10.2%を大きく上回っている。

問45 成年後見制度の相談の窓口を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

項 目	回答数	回答割合
知っている	77	9.3%
知らない	754	90.7%
合計	831	100.0%

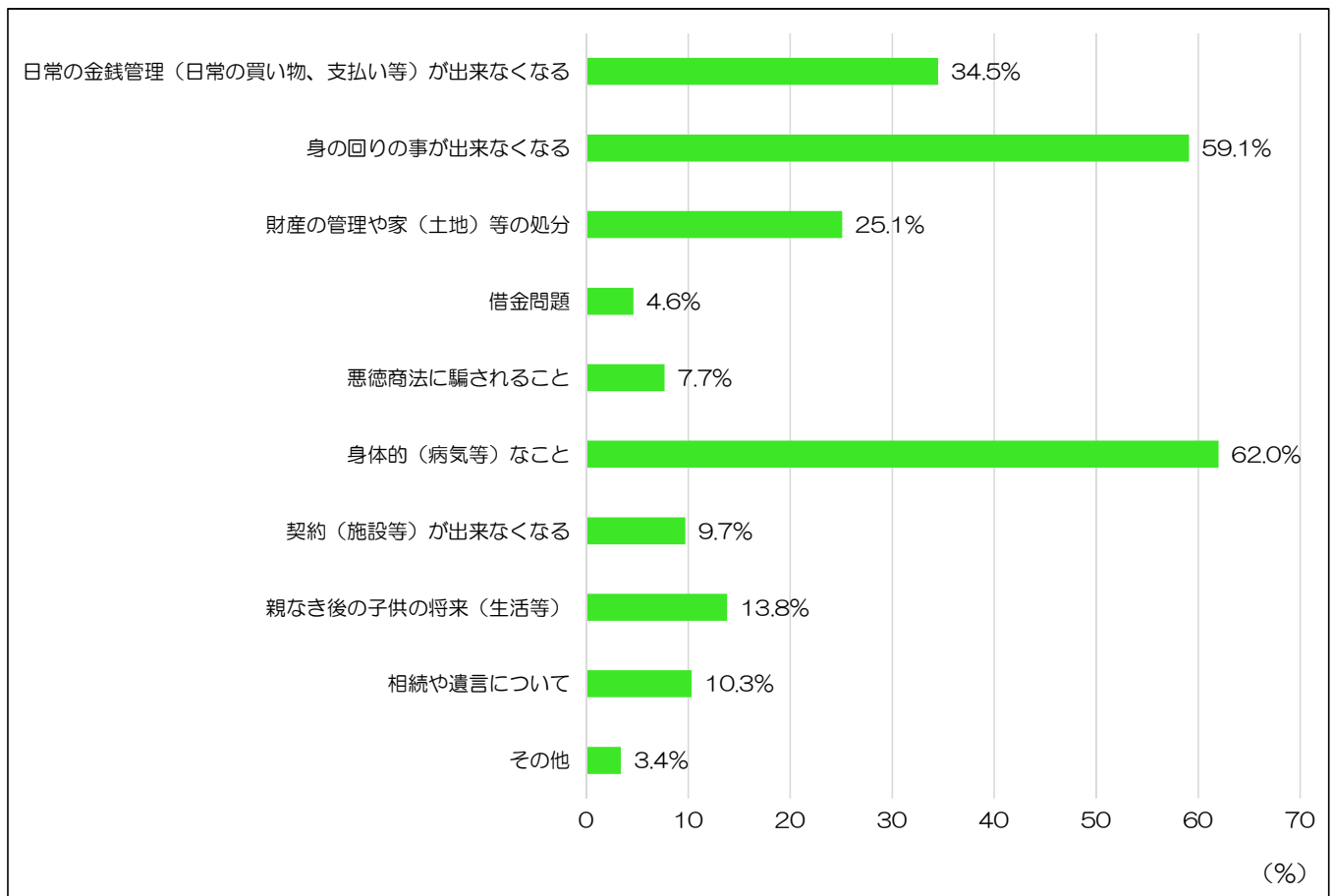


〔概要〕

「知らない」が90.7%と、「知っている」の9.3%を大きく上回っている。

問46 あなた自身将来において不安に思っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

日常の金銭管理（日常の買い物、支払い等）が出来なくなる	301	34.5%
身の回りの事が出来なくなる	515	59.1%
財産の管理や家（土地）等の処分	219	25.1%
借金問題	40	4.6%
悪徳商法に騙されること	67	7.7%
身体的（病気等）なこと	541	62.0%
契約（施設等）が出来なくなる	85	9.7%
親なき後の子供の将来（生活等）	120	13.8%
相続や遺言について	90	10.3%
その他	30	3.4%
合計	2,008	N=872



〔概要〕

「身体的（病気等）なこと」が62.0%と最も多く、次に「身の回りの事ができなくなる」（59.1%）、「日常の金銭管理（日常の買い物、支払い等）が出来なくなる」（34.5%）などとなっている。

「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」 策定のためのアンケート調査について（お願い）

市民の皆さまには、日頃より地域福祉の推進にご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

本市と本市社会福祉協議会では誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくりを推進するため、「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」を令和3年に策定いたします。

本アンケート調査は、市民の皆さまが日頃感じておられることなどをお聞きし、今後の福祉行政へ活かしていくために実施するものです。

つきましては、市内にお住まいの18歳以上の方から、2,000人を無作為に選ばせていただきましたので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年(2019年)9月

防 府 市
防府市社会福祉協議会

【ご回答にあたって】

- 1 本アンケート調査は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
- 2 回答は、黒のボールペン又は鉛筆で直接アンケート調査票にご記入ください。
- 3 質問ごとに、あてはまる項目を選び○で囲んでください。
「その他」にあてはまるときには、その番号を○で囲むとともに、()内に具体的な内容を記入してください。
なお、質問によって、ご回答いただく方が限られる場合がございます。ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の質問にお進みください。
- 4 ご記入がお済みになりましたら、お手数ですが本調査票を同封の返信用封筒に入れて、**令和元年10月25日（金）までに**、お近くの郵便ポストへ投函してください。（切手は不要）
- 5 ご記入いただいた内容は、統計的に処理しますので、本アンケート調査の目的以外で使用することはありません。

「だれもがワンボラ」運動

マスコット つぼみちゃん



【お問合せ先】

防府市健康福祉部 社会福祉課

TEL (0835) 25-2543

FAX (0835) 25-2549

E-mail shakai@city.hofu.yamaguchi.jp

アンケート回答用紙

◎あなた自身のことについておたずねします。

該当する項目を○で囲んでください。

問 1 性別について

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 2 年齢について（令和元年 8 月末現在）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～24 歳 | 3 25～29 歳 | 4 30～34 歳 |
| 5 35～39 歳 | 6 40～44 歳 | 7 45～49 歳 | 8 50～54 歳 |
| 9 55～59 歳 | 10 60～64 歳 | 11 65～69 歳 | 12 70～74 歳 |
| 13 75～79 歳 | 14 80～84 歳 | 15 85～89 歳 | 16 90 歳以上 |

問 3 職業について

- | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|------------|
| 1 会社員 | 2 公務員 | 3 自営業(農林漁業) | 4 自営業(商工業) |
| 5 専門職(開業医、弁護士、文筆家等) | 6 パート・アルバイト | | |
| 7 学生 | 8 団体職員 | 9 無職 | |
| 10 その他 () | | | |

問 4 現在の世帯構成について

- | | | | |
|-----------------------------|-----------|---------------|--|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦だけの世帯 | 3 夫婦と子どもだけの世帯 | |
| 4 高齢者(65 歳以上)の親と未婚の子どもだけの世帯 | | | |
| 5 母親または父親と子どもだけの世帯 | | 6 三世代以上で暮らす世帯 | |
| 7 その他 () | | | |

問 5 お住まいの地区は

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 牟 礼 | 2 松 崎 | 3 佐 波 | 4 勝 間 |
| 5 華 浦 | 6 新 田 | 7 野 島 | 8 向 島 |
| 9 中 関 | 10 華 城 | 11 西 浦 | 12 右 田 |
| 13 玉 祖 | 14 富 海 | 15 小 野 | 16 大 道 |

問 6 居住歴について

（(1) には防府市の居住年数を、(2)と(3)にはあてはまるもの 1 つに○）

(1) 防府市に住んで何年ですか。 () 年

(2) 下記についてお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 防府市で生まれ、ずっと同じ場所に住んでいる
- 2 防府市で生まれ、市内の違う場所から転居してきた
- 3 防府市で生まれ、市外に住んだことがあるが、帰ってきた
- 4 防府市以外から転入し、ずっと同じ場所に住んでいる
- 5 防府市以外から転入し、市内の違う場所から転居してきた

(3) 今後の住まいの予定についてお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- 1 現在と同じ場所に住む予定
- 2 防府市内の別の場所に住む予定
- 3 防府市以外に転出する予定
- 4 わからない

◎あなたの地域での生活についておたずねします。

問 7 「地域」とはどういった範囲のことだと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 となり近所 | 2 班 |
| 3 町内会・自治会 | 4 地区 |
| 5 小学校区 | 6 中学校区 |
| 7 市全体 | 8 その他 () |
| 9 わからない | |

問 8 地域に対する愛着度と今後も住み続けたいという意思がありますか。(あてはまるもの各 1 つに○)

- | | | | |
|------------------|----------|----------|-------------|
| (1)住んでいる地域が好き | 1 そう思う | 2 まあそう思う | 3 あまりそう思わない |
| | 4 そう思わない | | |
| (2)今後も防府市に住み続けたい | 1 そう思う | 2 まあそう思う | 3 あまりそう思わない |
| | 4 そう思わない | | |

問 9 地域での付き合いは、どの程度していますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|----------------|
| 1 よく付き合っている |
| 2 ある程度付き合っている |
| 3 あまり付き合っていない |
| 4 まったく付き合っていない |

問 10 地域での付き合いは、どの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|--|
| 1 住民すべてが困ったときに助け合う |
| 2 気の合う住民同士が困ったときに助け合う |
| 3 困ったときに助け合うことまではしないが、住民みんなが行事や催しに参加する |
| 4 困ったときに助け合うことまではしないが、住民同士で世間話や立ち話をする |
| 5 困ったときに助け合うことまではしないが、住民同士であいさつを交わす |
| 6 地域での付き合いは必要ない |
| 7 その他 (具体的に) |

問 11 地域の行事や活動についてどのように感じていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 もっと行事や活動を増やしてほしい |
| 2 今の行事や活動でちょうどよい |
| 3 今の行事数や活動内容を見直した方がよい |
| 4 もっと行事や活動を減らしてほしい |
| 5 わからない |
| 6 その他 (具体的に) |



裏面もあります

問 12 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 現在活動している
- 2 過去に活動したことがある
- 3 活動したことがない

(問 12 で「1」を回答された方におたずねします。)

→ 問 12-(1) 地域でどのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 自治会・町内会の活動 | 2 地区社会福祉協議会の活動 |
| 3 学校・PTA等の活動 | 4 子ども会の活動 |
| 5 婦人会(部)の活動 | 6 老人クラブの活動 |
| 7 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合の活動 | |
| 8 スポーツ・レクリエーション活動 | 9 趣味・娯楽などのサークル活動 |
| 10 上記以外のボランティア・NPO 団体などにおける地域活動 | |
| 11 組織に属さない個人の活動 | |
| 12 その他(具体的に |) |

(問 12 で「1」を回答された方におたずねします。)

→ 問 12-(2) 問 12-(1)であげられている活動をされている理由として、どのようなものがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 地域や社会に貢献したいから | 2 自分の知識や経験を活かしたい(積みたい)から |
| 3 友人や仲間を増やしたいから | 4 生活にはりあいを持たせたいから |
| 5 身近な人に誘われたから | 6 様々な情報を手に入れたいから |
| 7 健康を維持したいから | 8 何となく |
| 9 その他(具体的に |) |

(問 12 で「2」もしくは「3」を回答された方におたずねします。)

→ 問 12-(3) 現在、地域で活動されていない理由として、どのようなものがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 時間がないから | 2 経済的な余裕がないから |
| 3 一緒に活動する仲間がいないから | 4 健康や体力面で自信がないから |
| 5 活動の内容や方法がわからないから | 6 移動の手段がないから |
| 7 地域の人とのつきあいが面倒だから | 8 参加する気持ちがないから |
| 9 家族の理解が得られないから | |
| 10 その他(具体的に |) |

(問 12 で「2」もしくは「3」を回答された方におたずねします。)

→ 問 12-(4) 今後地域の活動に参加しようと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 そう思う | 2 まあそう思う |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりそう思わない |
| 5 そう思わない | |

問 13 今住んでいる地域社会に満足していますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 満足している | 2 ある程度満足している | 3 あまり満足していない |
| 4 満足していない | 5 わからない | |
| 6 その他(具体的に | |) |

※「地域社会」とは、ある一定の地域に共通した社会的特徴をもって成立している生活共同体(コミュニティ)を示します。

問 14 地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 災害や緊急事態が起きたときの対応 | 2 ごみ収集など日常生活における協力 |
| 3 お年寄りのお世話などの相互扶助 | 4 教育や子育て支援の場 |
| 5 リサイクル活動や自然保護の活動 | 6 お祭りなど住民間の交流の場 |
| 7 特になし | |
| 8 その他(具体的に |) |

問 15 今後、どのようなことを地域社会の目標にしていくべきだと思いますか。

(あてはまるもの 5 つまで○)

- | |
|-------------------------|
| 1 安心・安全に暮らせる地域社会 |
| 2 他人への思いやりがある人が多い地域社会 |
| 3 心にゆとりがある人が多い地域社会 |
| 4 この地域に暮らせてよかったと思える地域社会 |
| 5 生活満足度の高い人が多い地域社会 |
| 6 環境に優しい生き方ができる地域社会 |
| 7 仕事の充実感が高い地域社会 |
| 8 地域の生産力が高く、所得の多い地域社会 |
| 9 生き心地のよい地域社会 |
| 10 全ての方に居場所と出番のある地域社会 |
| 11 自由に発言ができる地域社会 |



裏面もあります

問 16 子ども・高齢者・障害者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(あてはまるもの各 1 つに○)

(1)子どもにとって	1 満足	2 まあまあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
(2)高齢者にとって	1 満足	2 まあまあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
(3)障害者にとって	1 満足	2 まあまあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満

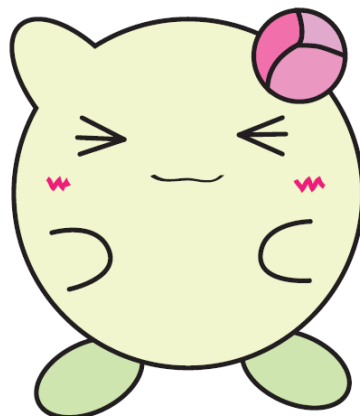
(問 16 でひとつでも「4」又は「5」を選んだ方におたずねします。)

問 16- (1) 不満に思う理由は何ですか。(あてはまるもの 3 つまで○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 地域住民の理解や協力が少ない | 2 交通機関が不便・利用しにくい |
| 3 買い物などが不便 | 4 生活の悩みを相談できる窓口が少ない |
| 5 日常生活を支えるサービスが少ない | 6 利用しやすい公立施設が少ない |
| 7 道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい | |
| 8 身近に働く場所がない | 9 利用しやすい医療機関が少ない |
| 10 リハビリや療養のための施設が少ない | 11 防犯・防災対策が十分ではない |
| 12 親子で遊べる場所がない | 13 その他 () |

問 17 現在、悩んでいること、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1 健康に関すること | 2 家族に関すること |
| 3 子育てや教育に関すること | 4 介護に関すること |
| 5 経済的な問題に関すること | 6 就職に関すること |
| 7 職場内、学校内の問題に関すること | 8 生きがいに関すること |
| 9 隣近所との関係に関すること | 10 防犯に関すること |
| 11 人が少なくなり地域の行事が行えないこと | 12 災害に関すること |
| 13 将来の生活への不安 | |
| 14 生活上の困りごと (ごみ出し、買い物、掃除、食事など) | |
| 15 今のところ悩んでいること、困っていることはない | |
| 16 その他 (具体的に |) |



問 18 悩みや困りごとを誰かに相談しますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 する
- 2 しない

(問 18 で「1」を回答された方におたずねします。)

→ 問 18- (1) 悩みや困りごとを相談するとき誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 1 家族・親戚 | 2 知人・友人 | 3 隣近所の人 |
| 4 職場の同僚 | 5 市の相談窓口や職員 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 自治会の役員 | 8 病院や薬局 | 9 社会福祉協議会 |
| 10 社会福祉施設 | 11 福祉員・友愛訪問グループ員 | |
| 12 地域包括支援センター | 13 その他 () | |

(問 18 で「2」を回答された方におたずねします。)

→ 問 18- (2) 悩みや困りごとを誰にも相談されない理由は何ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|------------------------|
| 1 自分で解決できるから |
| 2 誰にも相談したくないから |
| 3 プライバシーが守られるか心配だから |
| 4 どこに相談したらよいかわからないから |
| 5 相談しても良い内容かどうかわからないから |
| 6 その他 (具体的に) |

問 19 日常生活が不自由になったときに、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ | 2 話し相手 |
| 3 買い物の手伝い | 4 家事の手伝い |
| 5 お弁当の配食 | 6 通院などの外出の手伝い |
| 7 短時間の子どもの預かり | 8 高齢者などの見守り |
| 9 災害時の手助け | 10 ごみの搬出 |
| 11 相談窓口の紹介 | 12 病気等緊急時の手助け |
| 13 その他 () | 14 特にない |

問 20 地域で困っている人がいた場合、どのような手助けができますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ | 2 話し相手 |
| 3 買い物の手伝い | 4 家事の手伝い |
| 5 お弁当の配食 | 6 通院などの外出の手伝い |
| 7 短時間の子どもの預かり | 8 高齢者などの見守り |
| 9 災害時の手助け | 10 ごみの搬出 |
| 11 相談窓口の紹介 | 12 病気等緊急時の手助け |
| 13 その他 () | 14 特にない |

裏面もあります

◎福祉についておたずねします。

問 21 「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。

(あてはまるもの 3 つまで○)

1 助け合い	2 しあわせ	3 ゆたかさ	4 きずな
5 安心	6 協力	7 不自由	8 暗い
9 不安	10 高齢者	11 障害者	12 弱者
13 介護	14 ヘルパー	15 ボランティア	16 バリアフリー
17 健康	18 生活	19 施設	20 制度
21 権利	22 措置	23 募金	24 unnecessaryなもの
25 お金	26 偏見		

問 22 福祉への関心はありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1 とても関心がある

2 ある程度関心がある

3 あまり関心がない

4 まったく関心がない

(問 22 で「1」又は「2」を選んだ方におたずねします。)

→ 問 22－(1) 特にどの福祉の分野に関心をお持ちですか。(あてはまるもの 1 つに○)

1 子どもに関する福祉	2 高齢者に関する福祉
3 障害者(児)に関する福祉	4 生活困窮者に関する福祉
5 その他[1～4 以外の福祉] (具体的に)	

問 23 福祉サービスの情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	2 近所の人・友人・知人
3 民生委員・児童委員	4 学校や職場
5 市広報(ほうふ)やパンフレット	6 市のホームページ
7 市役所の窓口(保健センター等出先機関を含む)	8 社会福祉協議会の窓口や広報・パンフレット
9 地域包括支援センター・介護支援専門員	10 福祉サービスの事業所またはその職員
11 保健所(山口県健康福祉センター)	12 医療機関(医師・看護師等)や薬局
13 NPO やその他の民間団体	14 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等
15 市ホームページ以外のインターネットサイト	16 その他 ()
17 特にない	



問 24 福祉サービスを安心して利用するために、市では今後どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(あてはまるもの 2 つまで○)

- 1 福祉サービスに関する情報提供を充実する
- 2 適切な相談対応やサービスの選択の支援
- 3 苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制
- 4 サービスの内容を評価する仕組みを整える
- 5 行政やサービス事業者の情報公開を進める
- 6 福祉にかかわる法律や制度の学習機会を増やす
- 7 サービス利用者の権利を保護する仕組みを作る
- 8 その他（具体的に _____）
- 9 わからない

問 25 お住まいの地区の民生委員・児童委員をご存知ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 知っている
- 2 知らない

(問 25 で「1」を回答された方におたずねします。)

→ 問 25-(1) 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 日常生活の悩みや心配ごとの相談
- 2 福祉に関する情報の提供
- 3 高齢者など支援が必要な人への訪問
- 4 子どもに関する相談
- 5 関係行政機関の依頼による事実確認
- 6 いずれも知らない



裏面もあります

◎社会福祉協議会についておたずねします。

問 26 地域福祉の推進を図るために諸活動を行っている防府市社会福祉協議会をご存知ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 名前も活動内容もよく知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない
- 3 名前も活動内容も知らない

(問 26 で「1」又は「2」を回答された方におたずねします。)

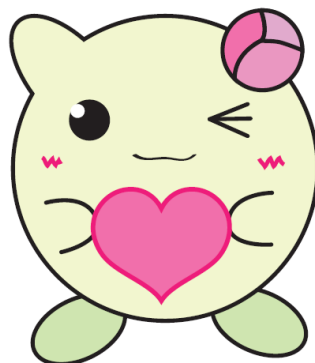
→ 問 26- (1) どのようにして防府市社会福祉協議会を知りましたか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 社会福祉協議会の広報誌を見たことがある
- 2 新聞やテレビで見たり、FMラジオで聞いたことがある
- 3 家族や友人から話を聞いたことがある
- 4 福祉員・友愛訪問グループ員から話を聞いたことがある
- 5 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある
- 6 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある
- 7 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある
- 8 地域の活動やボランティア活動を通じて知った
- 9 その他 (具体的に)

(問 26 で「1」又は「2」を回答された方におたずねします。)

→ 問 26- (2) 防府市社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ
- 2 障害のある人に関する支援をするところ
- 3 子どもに関する支援をするところ
- 4 ボランティア活動を支援するところ
- 5 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ
- 6 福祉に関する研修会を実施するところ
- 7 募金や寄付を集め、いろいろな事業を行っているところ
- 8 その他 (具体的に)



問 27 今後、防府市社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 福祉サービスの提供
(介護保険サービス、金銭管理、移送サービス、買い物支援、福祉サービス利用支援など) |
| 2 ボランティア活動の推進・支援 |
| 3 住民への働きかけ(見守り活動、仲間づくりなど) |
| 4 住民の福祉意識の醸成(福祉に関わる人材の養成など) |
| 5 困った時の相談支援 |
| 6 福祉に関する情報提供 |
| 7 <u>生活困窮者*</u> への生活支援 |
| 8 地域で活動する団体等への資金援助 |
| 9 その他(具体的に |

※ 「生活困窮者」とは、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者をいいます。

問 28 市内の全地区(15 地区)に地区社会福祉協議会がありますが、あなたが住んでいる地区社会福祉協議会の事務局の場所及び活動内容をご存知ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 事務局の場所も活動内容も知っている |
| 2 事務局の場所は知っているが、活動内容は知らない |
| 3 事務局の場所は知らないが、活動内容は知っている |
| 4 事務局の場所も活動内容も知らない |

問 29 地域の助け合い組織としての自治会での福祉活動を推進していることをご存知ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

(活動例：見守り訪問活動、ふれあい・いきいきサロンの開催、会食会などの開催、福祉部だよりの発行など)

- | |
|------------------------|
| 1 知っているし、活動にも参加している |
| 2 知っているし、過去に活動したことがある |
| 3 知っているが、活動には参加したことがない |
| 4 知らない |



裏面もあります

問 30 ボランティア活動に参加していますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加したことはない

(問 30 で「1」又は「2」を回答された方におたずねします。)

→ 問 30-(1) どのようなボランティア活動をしていますか (いましたか)。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| 1 高齢者への支援 | 2 障害者への支援 | 3 子育て支援 |
| 4 保健・医療活動 | 5 社会教育活動 | 6 環境活動 |
| 7 その他 (具体的に) | | |

(問 30 で「3」を回答された方におたずねします。)

→ 問 30-(2) 参加されなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 なかなか時間があわないから | 2 なかなかきっかけがないから |
| 3 体力に自信がないから | 4 どういう活動をするのかよくわからないから |
| 5 知らない人との付き合いが面倒だから | 6 自分に何ができるかわからないから |
| 7 一緒に参加する人がいないから | 8 自分の時間を大切にしたいから |
| 9 なんとなく敷居が高いから | 10 お金がかかるのか不安だから |
| 11 家族の協力・理解が得られないから | |
| 12 その他 (具体的に) | |

◎地域福祉についておたずねします。

地域福祉とは、地域に住んでおられる方々が安心して暮らすことができるように、地域住民や行政、関係機関・団体等が互いに協力しながら住みよい地域づくりを進める取り組みのことです。

問 31 あなたは、「防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」という計画をご存知でしたか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|----------|
| 1 知っていた |
| 2 知らなかった |

問 32 地域福祉を推進するために、あなたご自身の役割として重要だと思われるものは何ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 隣近所との密接な関係を持つ |
| 2 地域内でのボランティア活動に積極的に参加する |
| 3 地域内での趣味を活かした交流活動に積極的に参加する |
| 4 多様な価値観の中で、お互いを尊重し合う |
| 5 地域の課題を自分に当てはめ、共有し合う |
| 6 その他 (具体的に) |

問 33 地域福祉を推進するために、行政の役割として重要だと思われるものは何ですか。
(最も重要視しているもの 1 つに○)

- 1 地域における福祉サービスの向上を図る
- 2 福祉に関するわかりやすい情報を提供する
- 3 地域活動への資金的な支援をもつとする
- 4 地域活動などを行う拠点を確保する
- 5 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する
- 6 お互いに助け合うという意識を醸成する
- 7 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする
- 8 福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する
- 9 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する
- 10 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる
- 11 その他 (具体的に)

問 34 地域福祉を推進するために、社会福祉協議会や社会福祉施設 (例：特別養護老人ホーム、障害者支援施設、保育所等) などの役割として重要だと思われるものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動内容を積極的にアピールする
- 2 専門職員などの人材の確保、育成に努める
- 3 サービスの質の向上に努める
- 4 地域に開かれたサービスを行い、地域との密接な連携を図る
- 5 気軽にサービスが利用できるように努める
- 6 住民からの信頼の確保に努める
- 7 利用しやすい施設などの充実を図る
- 8 その他 (具体的に)

問 35 あなたは、今後 **NPO** やボランティア活動に参加するとしたらどういったものに関することをしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| 1 高齢者への支援 | 2 障害者への支援 | 3 子育て支援 |
| 4 保健・医療活動 | 5 社会教育活動 | 6 環境活動 |
| 7 その他 (具体的に) | | |

問 36 あなたは、どのような条件が整えば **NPO** やボランティア活動に参加しやすくなると思いますか。(あてはまるもの 2 つまで○)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 自分にあった時間や内容 | 2 自分の仕事や特技を生かせるもの |
| 3 活動資金の援助が充実されている | 4 平日夜間や休日にボランティア養成講座を受講できる |
| 5 友人や家族と一緒にできる | 6 家族や職場の理解が得られる |
| 7 自分が所属する学校や職場が行う活動 | 8 ボランティアグループに加入できる |
| 9 身近な団体や活動内容に関する情報提供がある | 10 活動のメリットを感じられる |
| 11 その他 (具体的に) | |

裏面もあります

問 37 次の防災に関する言葉の意味を知っていますか。聞いたことがあるものではなく、ある程度内容がわかっているものすべてに○をしてください。

1 大雨に関する気象情報	2 大雨注意報	3 竜巻注意情報
4 高潮注意報	5 大雨警報	6 土砂災害警戒情報
7 高潮警報	8 記録的短時間大雨情報	9 大雨特別警報
10 避難準備・高齢者避難開始	11 避難勧告	12 避難指示
13 緊急避難場所	14 避難所	15 ハザードマップ
16 土砂災害警戒区域		

問 38 災害に対して何を準備していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 緊急避難場所を決めている	2 いつも水を確保している
3 非常持出品を準備している	4 連絡手段を決めている
5 家具等を固定している	6 家を災害に強くしている(耐震補強や敷地を高くして建てた等)
7 防府市メールサービス(防災メール)を登録している	
8 何もしていない	9 その他()

問 39 避難勧告が出たときや災害発生時、まず、どこに避難しますか。

(あてはまるもの1つに○)

1 親戚・知人宅	2 自治会館(集会所)	3 神社や寺
4 公民館	5 学校	6 その他()

問 40 あなたが周辺で孤独死や児童虐待などに遭遇した時、まず、どこに連絡等をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 警察・交番	2 市・地域包括支援センター・こども相談室
3 近隣の人	4 民生委員・児童委員
5 自治会役員	6 社会福祉協議会
7 直接訪問する	8 何もしない
9 わからない	10 その他()

問 41 子どもに対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)をどのように行うべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 学校教育の中で学ぶ	2 家庭の中で親から学ぶ
3 地域の活動などを通じて学ぶ	4 生活していく中で自然に身につく
5 特に必要ない	6 その他()
7 わからない	



問 42 これからの福祉サービスの水準と費用負担の関係についてどのようにお考えですか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|--|
| 1 サービスを現在の水準に上乘せするには、応分の負担増は仕方ない |
| 2 サービスを現在の水準を維持するためには、負担増は仕方ない |
| 3 サービスの現在の水準は維持すべきだが、不要なサービスを縮小・削減したうえで、
応分の負担を求めるべきである |
| 4 負担増とならないために、サービス水準は下がっても仕方ない |
| 5 その他 (具体的に) |
| 6 わからない |

◎成年後見制度についておたずねします。

問 43 認知症、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない人の権利を守るための「**成年後見制度**」を知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|---------|
| 1 知っている |
| 2 知らない |

(問 43 で「1」を回答された方におたずねします。)

→ 問 43-(1) 成年後見人ができることは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1 身体介護 | 2 本人に代わって契約等 | 3 身元保証人、引受人 |
| 4 医療行為の同意 | 5 財産管理 | 6 買い物等 |
| 7 <u>身上監護*</u> | 8 通院介助 | 9 婚姻・養子縁組の判断 |

※ 「身上監護」とは、被後見人の生活や健康に配慮し、安心した生活が送れるようにおこなう法律行為及び付随する事実行為。(付随する事実行為とは、例えば被成年後見人を入院させるにあたり、どこの病院にするかを決定することなどです。)

問 44 親族以外の市民による後見人である「**市民後見人**」を知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 45 成年後見制度の相談の窓口を知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | |
|---------|
| 1 知っている |
| 2 知らない |



裏面もあります

(あてはまるものすべてに○)

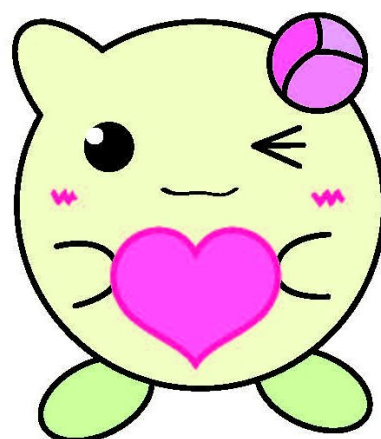
- 1 日常の金銭管理（日常の買い物、支払い等）が出来なくなる
- 2 身の回りの事が出来なくなる
- 3 財産の管理や家（土地）等の処分
- 4 借金問題
- 5 悪徳商法に騙されること
- 6 身体的（病気等）なこと
- 7 契約（施設等）が出来なくなる
- 8 親なき後の子供の将来（生活等）
- 9 相続や遺言について
- 10 その他（具体的に



このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、**10月25日（金）**までに郵便ポストに投函してください。



地区座談会



地区座談会

地域住民が自ら考え、様々な意見をまとめて地域の課題を明確にしていくことを目的とした地区座談会を、市内4か所のモデル地区において開催しました。

地区座談会には、自治会や地区社会福祉協議会を始め地域で活動されている様々な団体の関係者や住民が参加され、自分たちの地域の生活の困り事（生活課題）とそれに対する解決方法について熱心に討論が行われ、KJ法により意見の集約を図りました。

座談会では、1グループ5、6人に分けて討論しています。討論にあたり、あらかじめ10のテーマ（課題）を例示し、この中のテーマ若しくは、これ以外で討論したいテーマ（課題）から2つを選び討論しました。

○テーマ（課題）

- ① 買い物に行く事に困っている人
- ② 日中一人で生活している人
- ③ 引きこもりの子ども（成年、中年）を抱えている高齢者（8050問題）
- ④ 徘徊している高齢者、万引きの絶えない認知症高齢者
- ⑤ 早朝、夜間ほっておかれている子ども（子どもの貧困、親の孤立）
- ⑥ 介護が必要でも放置されている高齢者
- ⑦ 増える外国人労働者、ゴミ出しなどのトラブル
- ⑧ 夏になると国道のトンネルで生活している路上生活者、車上生活者
- ⑨ 商店、医院等の後継者がなく、閉店、医院の閉鎖の増加
- ⑩ 災害時の避難行動要支援者の避難行動支援についての計画はできたが、実効性に乏しい
- ⑪ その他

○地区座談会の開催状況

牟礼地区	：	令和元年	6月22日（土）開催	参加人数	132名
勝間地区	：	令和元年	8月29日（木）開催	参加人数	43名
向島地区	：	令和元年11月22日（金）開催	参加人数	49名	
西浦地区	：	令和2年	1月16日（木）開催	参加人数	49名

【考察】地区座談会実施にみる防府市の住民相互の助け合いについて

防府市地域福祉推進協議会会長 山口県立大学 社会福祉学部 教授 草平 武志

令和元年度に防府市の牟礼、勝間、向島、西浦の4地区で行った地区座談会では、参加した住民の皆さんが予め地域ごとに以下の①～⑪の内、選択した2つ地域課題について、地域の現況と今後の活動に向けての協議を行った。（そのうち、⑦、⑧については選択した地区はなかった）

- ① 買い物に行くことに困っている人
- ② 日中一人で生活している人
- ③ 引きこもりの子ども（成人、中年）を抱えている高齢者（8050問題）
- ④ 徘徊している高齢者、万引きの絶えない認知症高齢者
- ⑤ 早朝、夜間ほっておかれている子ども（子どもの貧困、親の孤立）
- ⑥ 介護が必要でも放置されている高齢者
- ⑦ 増える外国人労働者、ゴミ出しなどのトラブル
- ⑧ 夏になると国道のトンネルで生活している路上生活者、車上生活者
- ⑨ 商店、医院の後継者がなく、閉店・医院の閉鎖の増加
- ⑩ 災害時の避難行動要支援者の避難行動支援についての計画はできたが、実行性に乏しい。
- ⑪ その他



地域社会に諸々の生活上の困りごと等の地域課題があるが、それぞれ、地域課題に対して住民は、自らの工夫で（自助）、住民相互の助け合い（共助もしくは互助）、公的な制度の利用など様々な対応をしていることが分かった。

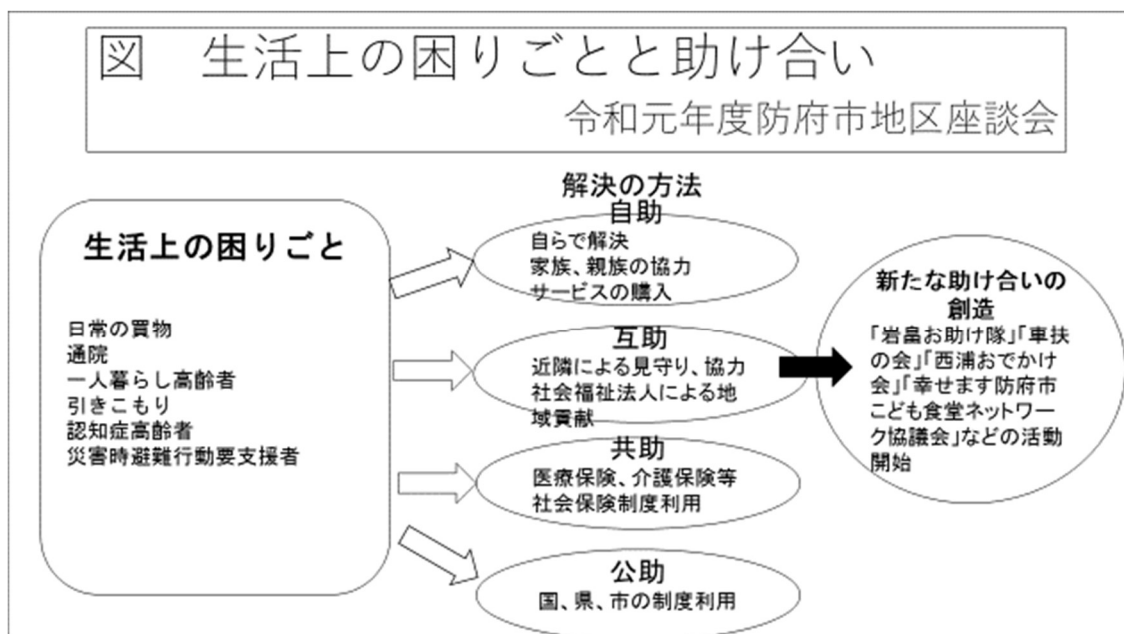
例えば、買物の不便さを補う方法として、住民自身が工夫をする方法として、タクシー利用、スーパーの移動販売車やスーパーやコンビニ、生協による宅配の利用、あるいは他所に住んでいる子ども（別居子）による買物支援などがあげられた。

住民相互の助け合いなど互助の例として、隣近所による買物時の自家用車への同乗があげられるが、牟礼地区の大内自治会では、「車扶の会（高齢者の通院移送ボランティア

ィア)」通院した帰りに商店に寄ってもらうなど、住民参加型助け合いサービスの特徴を生かし、住民の生活上のニーズに柔軟に対応している。西浦地区では、社会福祉サービス事業所の協力を得て、施設所有の送迎車両を活用し、周辺自治会の住民のために、買物の移動の支援が行われている事例があった。（月２回西浦おでかけ会）

共助の例として、介護保険制度による訪問介護員（ホームヘルパー）による買物支援などがあげられる。

公助の例として、防府市高齢者等バス・タクシー運賃助成制度や国制度による地方バス路線維持費補助制度などがあげられる。



地区座談会の議論を通じて判明したことは、住民の生活上の困りごとに関して、介護予防・日常生活支援総合事業等市民活動の支援策により地域住民が協力して課題に取り組む新たな助け合いが徐々に開発されていることである。

そのほか、市内に本社を置くスーパー(株)丸久では、市内のこども食堂や、ふれあいいきいきサロン等の福祉活動に総菜を提供している。また、市社会福祉協議会の呼びかけで、市内の複数のこども食堂の協力のために「幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会」が結成されるなど地域の住民相互の助け合いの輪（互助）が伸展していることも特筆できる。

図 住民相互の助け合い

令和元年度防府市地区座談会

情緒的サポート（共感、傾聴、受容など）

近隣、親族、民生委員、福祉員などによる声掛け、安否確認

手段的サポート（金銭・物資など物質的なサポート、手伝いなど）

親族による支援、公的サービス、商業サービス
社会福祉法人や企業による地域貢献活動（買物送迎、資金援助、ボランティア活動など）
近隣、親族、民生委員、福祉員などによる簡単な手助け

住民相互の助け合いは、「情緒的なサポート」のみならず、簡単な家事支援など「手段的サポート」にまで広がっている。加えて、社会福祉法人や企業により地域貢献活動にも波及してきている。

互助の内容を見ていくとこれまで、近隣、親族、民生委員、福祉員などによる声掛け、安否確認など情緒的サポートが中心であったが、金銭・物資など物質的なサポート、手伝いなどの手段的サポートが組織的に展開されつつあることが地区座談会を通じて判明した。

今後の課題として、住民相互による手段的サポートを組織的に展開する支援が必要といえる。

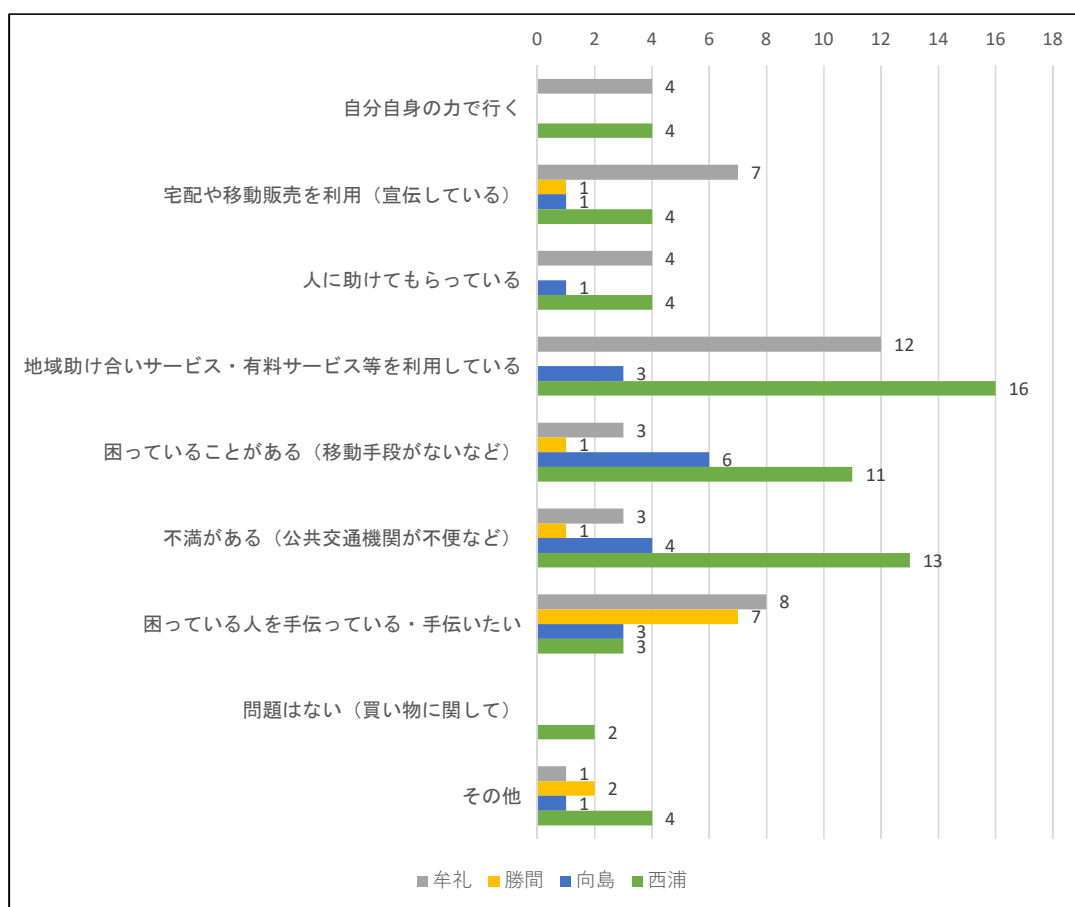
memo



課題の現状

①買い物に行くことに困っている人

現 状	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
自分自身の力で行く	4	0	0	4	8
宅配や移動販売を利用（宣伝している）	7	1	1	4	13
人に助けてもらっている	4	0	1	4	9
地域助け合いサービス・有料サービス等を利用している	12	0	3	16	31
困っていることがある（移動手段がないなど）	3	1	6	11	21
不満がある（公共交通機関が不便など）	3	1	4	13	21
困っている人を手伝っている・手伝いたい	8	7	3	3	21
問題はない（買い物に関して）	0	0	0	2	2
その他	1	2	1	4	8
合 計	42	12	19	61	134



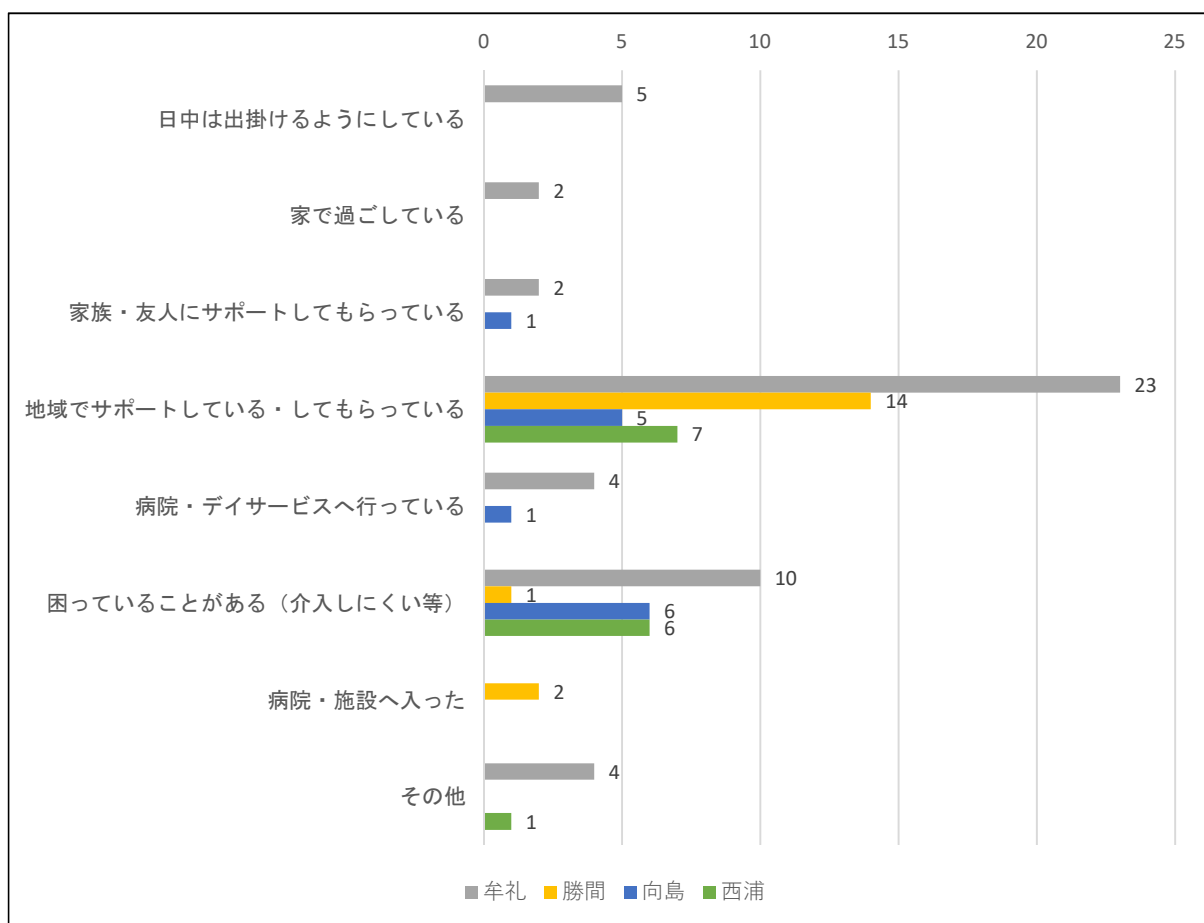
【概要】「有料・無料サービスを利用している（すすめている）」という意見が31と最も多く、次いで「困っていることがある」、「不満がある」、「困っている人を手伝っている・手伝いたい」が21となっている。

（その他）

- ・バスが来るという話がある
- ・今まで運転をされていたが高齢のため危険となり家族から止められているが自分で動きたい（多少認知症がある）
- ・留守宅の雑草引き
- ・支援内容が好みに合うとは限らない(良かれと選んでいる)。
- ・野良犬が多く散歩に行った時逃げないため怖い、夜中の12：30、4：00にほえる
- ・人が少なくなっている
- ・25～29才の男性に多くマツダが関連している
- ・買い物よりは病院通院に困る

②日中一人で生活している人

現 状	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
日中は出掛けるようにしている	5	0	0	0	5
家で過ごしている	2	0	0	0	2
家族・友人にサポートしてもらっている	2	0	1	0	3
地域でサポートしている・してもらっている	23	14	5	7	49
病院・デイサービスへ行っている	4	0	1	0	5
困っていることがある（介入しにくい等）	10	1	6	6	23
病院・施設へ入った	0	2	0	0	2
その他	4	0	0	1	5
合 計	50	17	13	14	94



【概要】「地域でサポートしている・してもらっている」という意見が49と最も多い。次いで「困っていることがある」が23と多くなっている。

（その他）

- ・65歳以上の一人暮らし19人
- ・一人暮らし高齢者25人（全体の32%）
- ・地区人口611人、309世帯、一戸建て222世帯473人、アパート87世帯138人
- ・インドネシアの若者30人を除く、ほとんどの住民が自治会に加入している
- ・空き家

③引きこもりの子ども（成人、中年）を抱えている高齢者(8050問題)

現 状	牟礼	勝間	全体
情報がない・把握が難しい	3	0	3
何とかしてあげたいが介入しにくい	2	1	3
親の方とは交流がある（子供の話はタブー）	0	4	4
合 計	5	5	10

【概要】牟礼地区では「情報がない・把握が難しい」という意見が3、勝間地区は「親の方とは交流がある（子供の話はタブー）」が4と一番多い。

④徘徊している高齢者、万引きの絶えない認知症高齢者

現 状	勝間
声掛けをしている（挨拶、サロンへの誘い）	2
家族への通知や相談をしている	1
サポートしている	2
対処が難しい・その他	4
合 計	9

【概要】意見が出たのは勝間のみ。「対処が難しい・その他」が4と一番多い。

（その他）

- ・妄想の話が95%以上でどう対処していいものか分からない
- ・身内に連絡するように話すのが断られどうしていいか分からない

⑤早朝、夜間ほっておかれている子ども（子どもの貧困、親の孤立）

現 状	勝間
見守り・パトロール・学校との連携	2
対処が難しい（声掛けしにくい、子ども会に入らないなど）	3
その他	1
合 計	6

【概要】 意見が出たのは勝間のみ。「対処が難しい」が3と一番多い。

（その他）

- ・個人情報の管理

⑥介護が必要でも放置されている高齢者

【概要】意見が出たのは向島のみ。

(すべての意見)

- 声掛けへの返事、電気がついているかの確認(おかしい時があるとわかってくる)
- 話し相手(男性はたいぎがるの出でこられなくなる)
- 高齢化が問題
- サービスを使える知識がない→ボランティアもたくさんある
- 一回やると…ほどほどにしないと1件やったらたくさん出てくる人によっては…(好意)

⑨商店、医院の後継者がなく、閉店・医院の閉鎖の増加

現 状	西 浦
もともと商店・医院がないので、今は何も感じない	3
商店・バスが減少していると感じる	2
その他	2
合 計	7

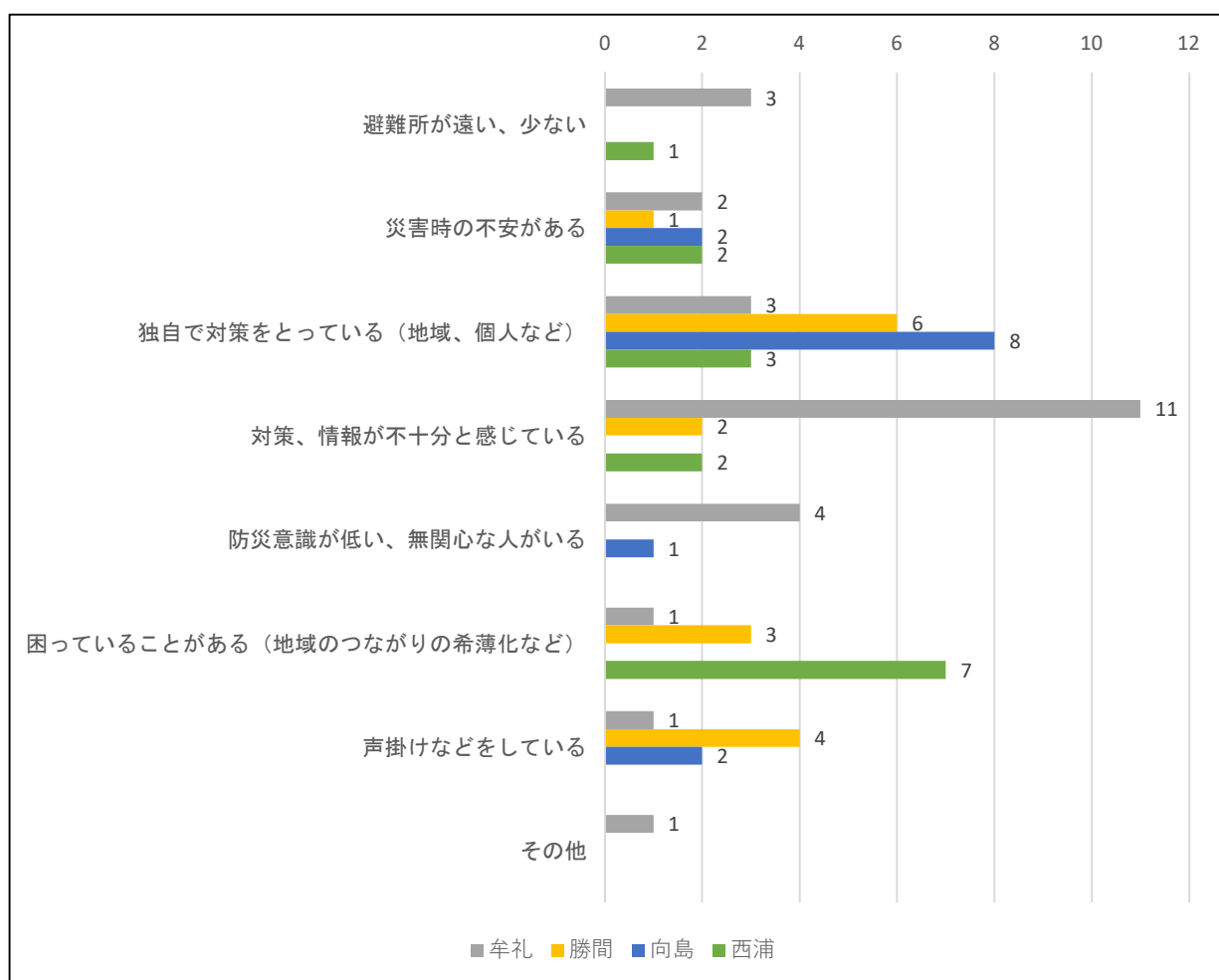
【概要】意見が出たのは西浦のみ。「もともと商店・医院がないので、今は何も感じない」という意見が3となっている。

（その他）

- ・昼間の人通りが少ない
- ・今は感じないが1人になった時が大変だと思う

⑩災害時の避難行動要支援者の避難行動支援についての計画はできたが、実行性に乏しい

現 状	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
避難所が遠い、少ない	3	0	0	1	4
災害時の不安がある	2	1	2	2	7
独自で対策をとっている（地域、個人など）	3	6	8	3	20
対策、情報が不十分と感じている	11	2	0	2	15
防災意識が低い、無関心な人がある	4	0	1	0	5
困っていることがある（地域のつながりの希薄化など）	1	3	0	7	11
声掛けなどをしている	1	4	2	0	7
その他	1	0	0	0	1
合 計	26	16	13	15	70



【概要】全体的に「独自で対策をとっている」という意見が20と一番多く、次に「対策・情報が不十分と感じている」が15となっている。西浦では「困っていることがある」が7と一番多い。

⑪その他

現 状	牟礼・向島
地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった	5
資源ゴミの搬入は困難（ひとり暮らし・高齢夫婦）	7
長期入院・入居所の住居（空き家）の環境問題（植木・猫が住みつく）	4
その他	2
合 計	18

【概要】意見が出たのは牟礼と向島のみ。「資源ゴミの搬入は困難ひとり暮らし・高齢夫婦」という意見が7と一番多く、

次に「地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった」が5となっている。

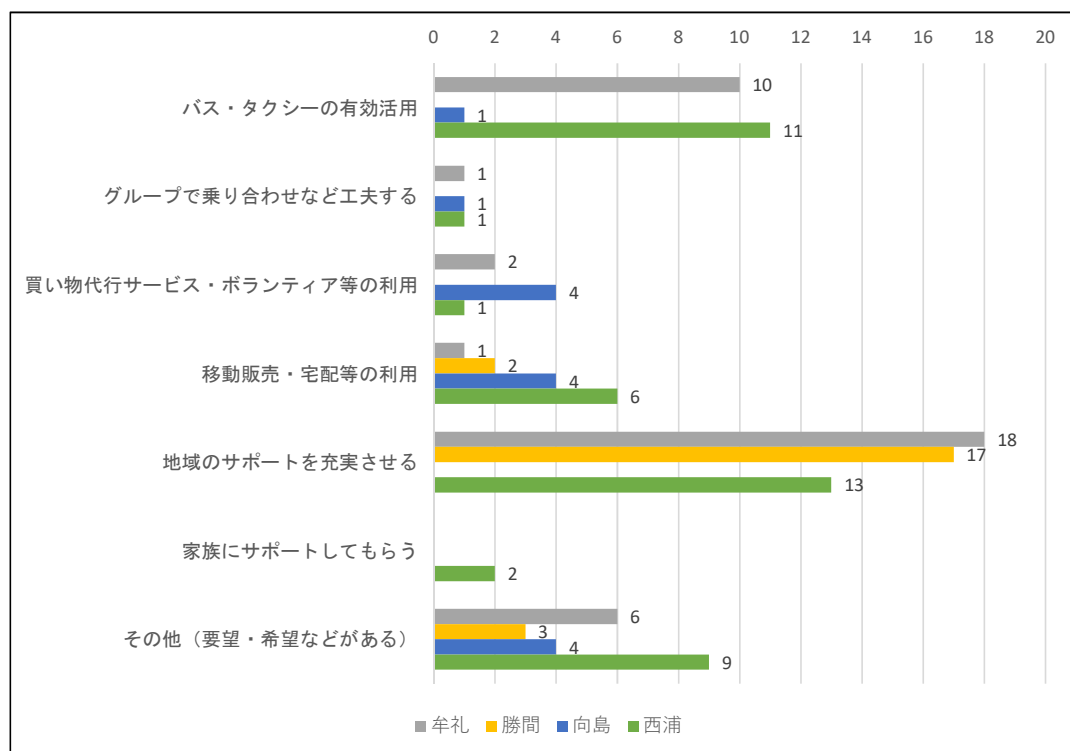
（その他）

- ・地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった
- ・長期入院・入居所の住居（空き家）の環境問題（植木・猫が住みつく）

課題の解決

①買い物に行くことに困っている人

解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
バス・タクシーの有効活用	10	0	1	11	22
グループで乗り合わせなど工夫する	1	0	1	1	3
買い物代行サービス・ボランティア等の利用	2	0	4	1	7
移動販売・宅配等の利用	1	2	4	6	13
地域のサポートを充実させる	18	17	0	13	48
家族にサポートしてもらう	0	0	0	2	2
その他（要望・希望などがある）	6	3	4	9	22
合 計	38	22	14	43	117



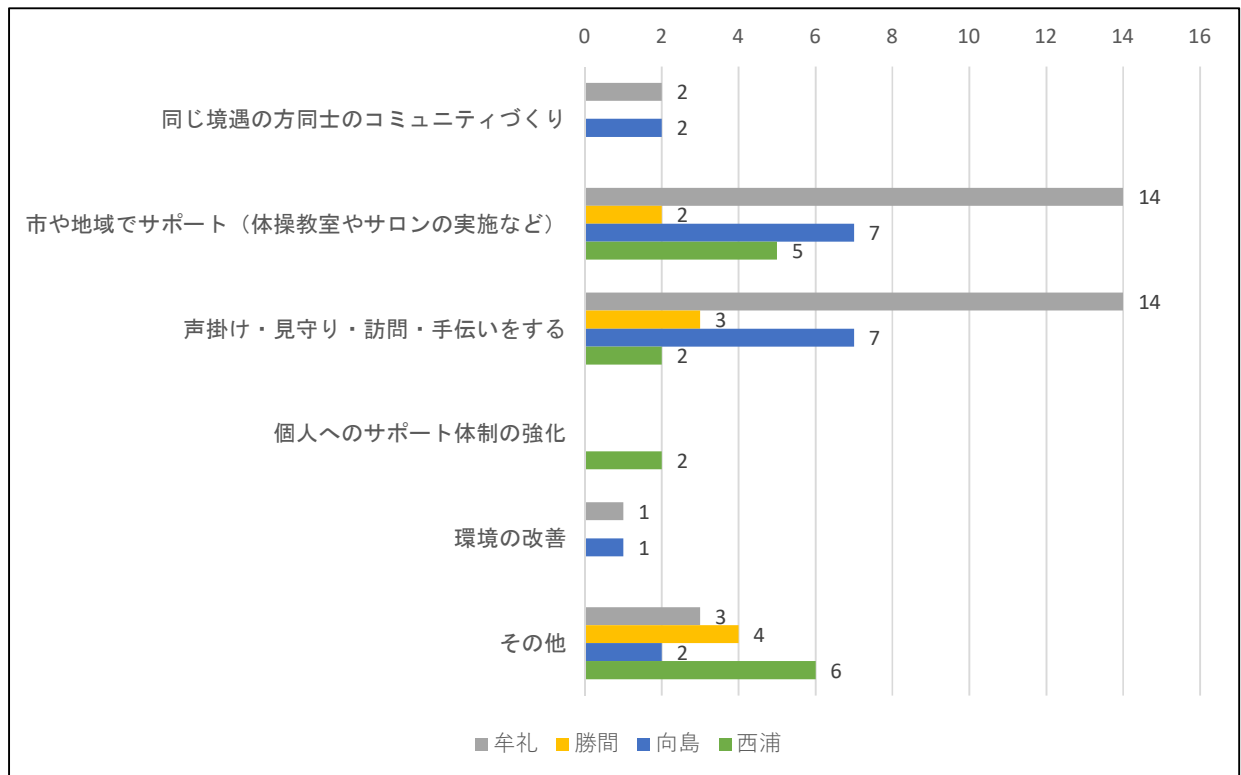
『概要』全体でみると「地域のサポート」についての意見が48と一番多い。次に、「バス・タクシーの有効活用」が続いている。

（その他）

- ・実際にスーパーで食べたいものを見て、自分で買う。
- ・足腰を鍛える、運動がてらという目的で買い物に行くシステム
- ・買い物のための交通手段を増やす一財政面で自治会だけでやるのは無理があるので援助がほしい
- ・近くに病院もあったらいいと思う
- ・子どもと同居されている方の利用は可能であるのか等
- ・隣近所との交流がなく誰が住んでいるか分からずどうしていいかわからない
- ・坂や階段の問題
- ・方法はケースバイケース、最善を尽くす
- ・地区に自由に使える畑スペースがあると、食料確保と集まりの場になるのでは？
- ・同行時の転倒等の事故 個人支援→サービス(ガソリン等支給し住民とマッチング)
- ・タクシーを島内でメーターを切ってほしい。
- ・身内を優先し有料サービス提供
- ・地域によってバスやタクシーチケットの必要な枚数が不平等であると感じるため行政で再検討して欲しい
- ・人口的には難しいが西浦に指定病院を作ってもらえれば、、
- ・農協店舗を再開してほしい
- ・空き家対策
- ・道路の拡大

②日中一人で生活している人

解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
同じ境遇の方同士のコミュニティづくり	2	0	2	0	4
市や地域でサポート（体操教室やサロンの実施など）	14	2	7	5	28
声掛け・見守り・訪問・手伝いをする	14	3	7	2	26
個人へのサポート体制の強化	0	0	0	2	2
環境の改善	1	0	1	0	2
その他	3	4	2	6	15
合 計	34	9	19	15	77



【概要】全体でみると「市や地域でサポート」が一番多く、次に「声掛け・見守り・訪問・手伝いをする」が多い。

（その他）

- ・今後どうなったらよいか「未来」に向けて
- ・住民の多様化
- ・正義の味方がほしい。
- ・マンションには紙を入れる
- ・避難もしやすい高い建物が必要
- ・勝間地区は病院や駅、市役所が近く、買い物も便利であるため以外と住みやすいところである
- ・もっと装置が使いやすくなれば、弁償代がなければ、受け入れてくれれば、、、
- ・100歳人生皆さんが幸せに
- ・全ての人をすくいたい
- ・文句を言う人が多い
- ・みんな幸せに
- ・ピバおせっかい
- ・屋外出することで昼夜逆転を防ぐ
- ・人とかかわりたくない方にどう対応し支援するのか

③引きこもりの子ども（成人、中年）を抱えている高齢者(8050問題)

解決方法	牟礼	勝間	全体
情報の把握と訪問（しかしプライバシーの侵害になるのでは）	1	1	2
声掛け・見守り・地域のイベントへの誘い	0	4	4
専門機関に連絡する	0	1	1
合 計	1	6	7

【概要】意見が出たのは牟礼と勝間のみ。「声掛け・見守り・地域のイベントへの誘い」が4と一番多い。

（すべての意見）

- ・引きこもりの子供がいる世帯を把握し、自宅を訪問する。
- ・町内のイベント等にできるだけ参加してもらうよう促す
- ・声かけをしていく
- ・極力声かけをするよう心がける
- ・日頃から関係をつくりさりげなく見守る
- ・専門機関に連絡する
- ・戸別訪問した方がいいと思うがプライバシーの侵害になるのではと思い遠慮している

④徘徊している高齢者、万引きの絶えない認知症高齢者

解決方法	勝間
声かけ・見守り・サロンへの誘い	2
家族・包括への連絡	2
その他	2
合 計	6

【概要】意見が出たのは勝間のみ。「声かけ・見守り・サロンへの誘い」と「家族・包括への連絡」等の意見が出た。

（すべての意見）

- ・近所に声をかけて見守りを願う
- ・サロンの活動を継続する
- ・身内に連絡
- ・ケアマネ（包括）に連絡
- ・ゴミ出しの連絡は継続して地区で活動していく
- ・活動費がもっと必要（例：スポーツ大会で人集めの為の弁当代が欲しい）

⑤早朝、夜間ほっておかれている子ども（子どもの貧困、親の孤立）

勝 間

【概要】意見が出たのは勝間のみ。

（すべての意見）

- ・ 隣近所・班での見守り
- ・ あいさつ

⑥介護が必要でも放置されている高齢者

解決方法	向島
住民同士のサポート（家事手伝い・買い物援助等）	5
見守り・話し相手をする	1
有償・無料ボランティアを有効活用してもらう	1
合 計	7

【概要】意見が出たのは向島のみ。「住民同士のサポート」が5と一番多い。

（すべての意見）

- ・向島という地域の縁(みんながみんなを知っている)をさらに活かしていく。
- ・お互いにおせっかいをやきあう
- ・買い物の手伝い同行、声掛け
- ・話し相手→誰かが見ている(自然に)
- ・ゴミ出し(生ごみ、プラ)→家の前に出してもらって近所の人に取りに行く
- ・自宅の草取り(例:牟玲のいわばたけお助け隊、あおぞらさん〈なんでもやってくれる〉、有償ボランティア)
- ・買い物の手伝い(同行)→子どもさん(週1回の支援)

⑨商店、医院の後継者がなく、閉店・医院の閉鎖の増加

西 浦

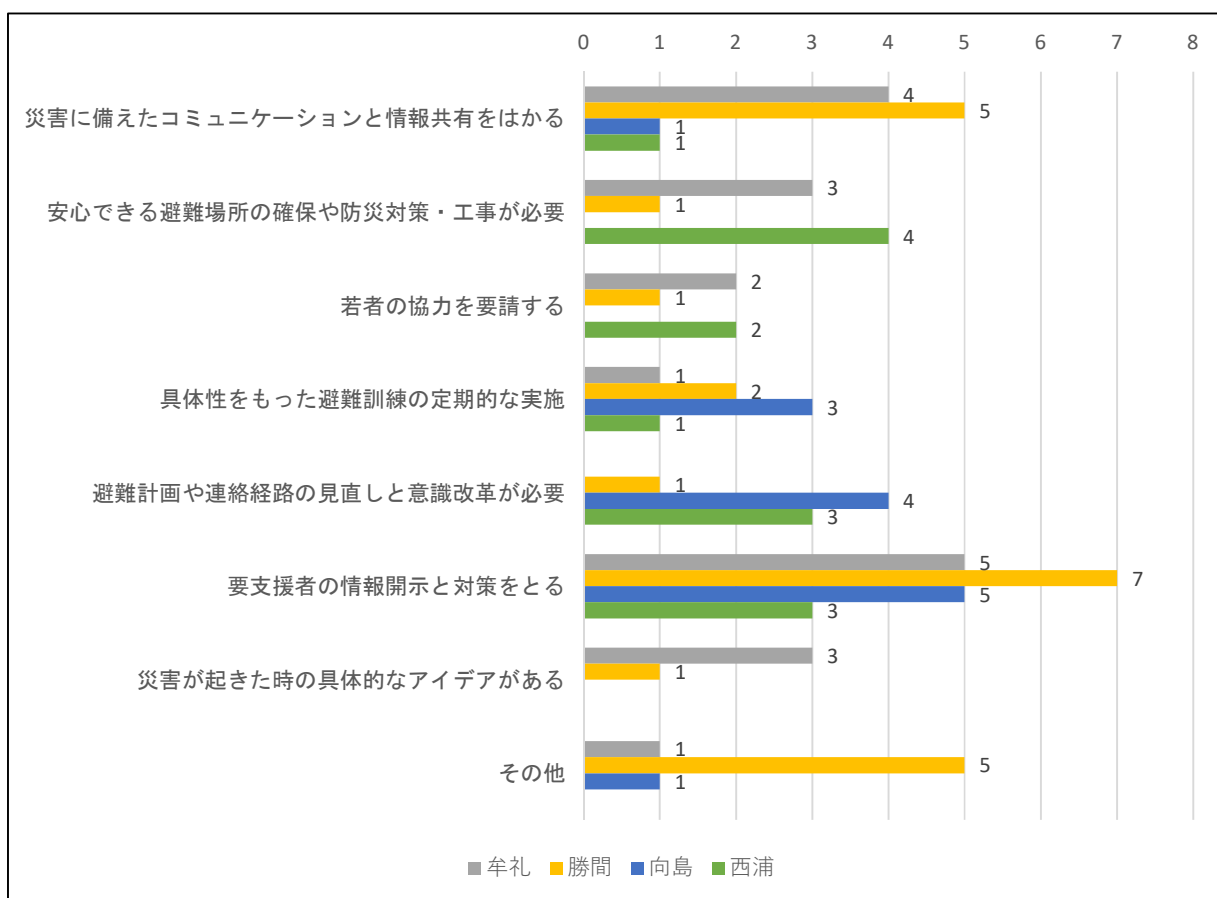
【概要】意見が出たのは西浦のみ。

（すべての意見）

- ・近所とのつながり
- ・電子マネーの基本から教えて欲しい→講習会の開催
- ・郵便局や新聞配達の見守り
- ・南消防署が出来たので少し安心を感じた
- ・もともとないのであきらめている
- ・空き家に犬が住みつくため対策する

⑩災害時の避難行動要支援者の避難行動支援についての計画はできたが、実行性に乏しい

解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
災害に備えたコミュニケーションと情報共有をはかる	4	5	1	1	11
安心できる避難場所の確保や防災対策・工事が必要	3	1	0	4	8
若者の協力を要請する	2	1	0	2	5
具体性をもった避難訓練の定期的な実施	1	2	3	1	7
避難計画や連絡経路の見直しと意識改革が必要	0	1	4	3	8
要支援者の情報開示と対策をとる	5	7	5	3	20
災害が起きた時の具体的なアイデアがある	3	1	0	0	4
その他	1	5	1	0	7
合 計	19	23	14	14	70



【概要】全体でみると「要支援者の情報開示と対策」に関する意見が20と一番多い。次に多いのは「災害に備えたコミュニケーションと情報共有をはかる」が11となっている。

（その他）

- ・ 公的機関で働いた人は地域のことにもっと関心を示してほしい
- ・ 新しい勝間小学校の備蓄庫あり
- ・ 信していく（プライバシーもある）
- ・ 災害が少ないから想像できない
- ・ 近くに大きな川があり水害時不安
- ・ 南海トラフが心配
- ・ 集まれば食物は確保可(ガス、井戸〈発電機〉)

⑪その他

解決方法	牟礼・向島
地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった	3
資源ゴミの搬入は困難（ひとり暮らし・高齢夫婦）	3
長期入院・入居者の住居（空き家）の環境問題（植木・猫が住みつく）	1
その他	4
合計	11

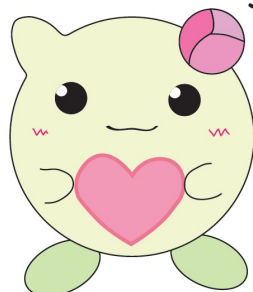
【概要】意見が出たのは牟礼と向島のみ。「地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった」と、資源ゴミの搬入は困難（ひとり暮らし・高齢夫婦）」が3となっている。

（その他）

- ・乗り合いタクシーの要望(退院のため)
- ・来年の総会でもう一度話し合う
- ・ボランティアが欲しい
- ・住民の植木問題は、きちんと手入れを行うように促す。この時に住民の反感を買わないようにさり気なく促す。

memo

だれもがワンボウ



第三次
防府市地域福祉計画
防府市地域福祉活動計画

【別冊】
市民アンケート調査及び
地区座談会報告書

令和3年3月

防府市 健康福祉部 社会福祉課

〒747-8501 防府市寿町7番1号

防府市役所1号館1階

電話 (0835) 25-2349

FAX (0835) 25-2549

E-mail shakai@city.hofu.yamaguchi.jp

社会福祉法人 防府市社会福祉協議会

〒747-0026 防府市緑町一丁目9番2号

防府市文化福祉会館内

電話 (0835) 22-3907

FAX (0835) 25-1388

E-mail fureai-net@hofushishakyo.jp